

令和6年度第1回袖ヶ浦市地域福祉計画策定・推進委員会
及び袖ヶ浦市地域福祉活動計画策定推進委員会

日時：令和6年8月26日（月）午後2時～

会場：袖ヶ浦市役所北庁舎3階 災害対策室

次 第

1. 開 会
2. 福祉部長あいさつ
3. 社会福祉協議会長あいさつ
4. 各委員自己紹介
5. 職員等の紹介
6. 委員長、副委員長の選出
7. 議題
 - （1）袖ヶ浦市地域福祉計画（第3期）令和5年度事業報告について
 - （2）袖ヶ浦市地域福祉活動計画（第4期）令和5年事業報告について
 - （3）次期計画の策定スケジュールについて
 - （4）住民意識調査等の実施について
 - （5）その他
8. 閉 会

袖ヶ浦市地域福祉計画策定・推進委員名簿

令和6年4月 時点

令和6年4月1日～令和9年3月31日

No.	氏名	要綱上の選出区分	性別	備考
1	関口 三枝子	社会福祉団体の代表	女	障がい者団体
2	置田 和子	社会福祉団体の代表	女	高齢者団体
3	石井 啓	社会福祉団体の代表	男	社会福祉施設
4	小島 直子	社会福祉団体の代表	女	袖ヶ浦市社会福祉協議会
5	関 茂	地区社会福祉協議会の代表	男	昭和地区社会福祉協議会
6	森岡 かおり	地区社会福祉協議会の代表	女	長浦地区社会福祉協議会
7	杉山 峰生	地区社会福祉協議会の代表	男	蔵波地区社会福祉協議会
8	苅谷 文介	地区社会福祉協議会の代表	男	根形地区社会福祉協議会
9	井口 清一郎	地区社会福祉協議会の代表	男	平岡地区社会福祉協議会
10	鶴岡 公一	地区社会福祉協議会の代表	男	中川・富岡地区社会福祉協議会
11	石井 美喜男	民生委員・児童委員の代表	男	昭和地区民生委員児童委員協議会
12	小林 芳昭	民生委員・児童委員の代表	男	長浦地区民生委員児童委員協議会
13	後藤 秀美	民生委員・児童委員の代表	男	蔵波地区民生委員児童委員協議会
14	竹元 悦子	民生委員・児童委員の代表	女	東部地区民生委員児童委員協議会
15	齋藤 真理子	民生委員・児童委員の代表	女	袖ヶ浦市民生委員児童委員協議会 (主任児童委員)
16	土屋 則子	ボランティアの代表	女	袖ヶ浦市ボランティア連絡協議会
17	若林 和秀	地域団体の代表	男	袖ヶ浦市自治連絡協議会
18	鈴木 淹民	地域団体の代表	男	地域総合型スポーツクラブ
19	二宮 義文	地域団体の代表	男	青少年育成袖ヶ浦市民会議
20	大島 裕子	学識経験者（家庭教育）	女	
21	磯野 恵美	学識経験者（子育て関係）	女	袖ヶ浦市PTA連絡協議会
22	粕谷 秀夫	一般市民	男	公募
23	今岡 直人	教育機関職員（教育指導主事）	男	
24	君塚 和枝	教育機関職員	女	

令和6年度第1回袖ヶ浦市地域福祉計画策定・推進委員会及び
袖ヶ浦市地域福祉活動計画策定推進委員会

1 開催日時 令和6年8月26日（月） 午後2時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所北庁舎3階 災害対策室

3 出席委員

委員長	石井 啓	委 員	小林 芳昭
副委員長	二宮 義文	委 員	後藤 秀美
委 員	関口 三枝子	委 員	齋藤 眞理子
委 員	置田 和子	委 員	土屋 則子
委 員	小島 直子	委 員	若林 和秀
委 員	関 茂	委 員	磯野 恵美
委 員	森岡 かおり	委 員	粕谷 秀夫
委 員	杉山 峰生	委 員	今岡 直人
委 員	鶴岡 公一	委 員	君塚 和枝
委 員	石井 美喜男		

（欠席委員）

委 員	荻谷 文介	委 員	鈴木 淹民
委 員	井口 清一郎	委 員	大島 裕子
委 員	竹元 悦子		

4 出席職員

福祉部長	金子 則彦	社会福祉協 議会会長	小島 直子
福祉部次長	田中 敦則	社会福祉協 議会常務理事	杉浦 弘樹
高齢者支援課長	川邊 孝昭	同事務局長	山上 拓也
介護保険課長	小幡 久美子	同次長	手島 陽一
障がい者支援課長	森本 芳弘		
地域福祉課 副 参 事	黒氏 良浩		
地域福祉課主幹	鹿嶋 章夫		

地域福祉課 生活支援班長	鹿間 久美子
地域福祉課	出来町 瑛司
地域福祉課	鈴木 雄大

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5 人
傍聴人数	0 人

6 議 題

(1) 袖ヶ浦市地域福祉計画（第3期）令和5年度事業報告について

資料1-1、1-2に基づき、事務局（市地域福祉課）から説明

【質 疑】

粕谷委員：

資料1-1の4ページに「達成度」A、B、Cというランクがあり、「計画の目標」の「5 地域福祉推進への支援」はBとなっていますが、69%以下なのでCに該当するのではないのでしょうか。

事務局：

Cの誤りです。訂正します。

石井委員長：

訂正をお願いします。「2 地域のつながりの充実」も68%なのでCではないかというお声がありますが、そのとおりでよろしいでしょうか。

事務局：

目標2と目標5はCとなります。資料1-2の5ページと19ページもCに訂正します。

石井委員長：

コロナ禍の時期を含んだ計画の推進ということで、目標に到達できなかったものが少なからずあり、こういった評価になったのではないかと思います。

二宮副委員長：

私だけかもしれませんが、説明を受けた時、内容を理解するのに時間がかかりました。資料は数値できちんと表れているので問題はないと思うのですが、自分が携わっている身近なものであればある程度分かるものの、それ以外については分からない事業の説明がたくさんありました。このような視点でこの会議に参加してよろしいのでしょうか。

事務局：

そのような視点で見ていただいて結構です。説明は、昨年度、今年度で数値に変化があったり、改善されている、もしくは改善されていないといったところをピックアップして説明させていただきました。

二宮副委員長：

傾向的にこのように動いていると理解すればいいということですか。

事務局：

はい。説明で触れていない事業についても、ご意見等あればいただきたいと思います。

石井委員長：

その他の質疑、ご意見はいかがでしょうか。質疑が無いようですので、議題1を終了いたします。

(2) 袖ヶ浦市地域福祉活動計画（第4期）令和5年事業報告について

資料2に基づき、事務局（社会福祉協議会）から説明

【質疑】

二宮副委員長：

資料を見て、説明をしていただきましたが、「全体」「広報、啓発活動の充実」をはじめ、ほとんどがA、Bで、非常に問題なく行われていると感じております。そういう見方でよろしいでしょうか。

事務局：

はい。

石井委員長：

その他の質疑、ご意見はいかがでしょうか。質疑が無いようですので、議題2を終了いたします。

(3) 次期計画の策定スケジュールについて

資料3に基づき、事務局（市地域福祉課）から説明

【質疑】

石井委員長：

今年度の会議は、来年の2月17日に第2回の策定・推進委員会が行われ、令和7年度は4回にわたって策定・推進委員会が行われるという説明だったと思います。令和7年度は地域福祉計画の第4期と地域福祉活動計画の第5期の策定が入るのでこういった回数になっていると推察いたしますが、各回の内容の予定がわかれば、簡単で構いませんので説明をお願いします。

事務局：

令和7年度の内容はまだ決まっておりません。今日、このあとジャパン総研さんと打ち合わせを行う予定で、そこでスケジュールの方向性を詰めたいと考えています。前回の計画策定年は年に4回開催していますので、今回もこのようなスケジュールを予定しています。

石井委員長：

スケジュールについて、ご質問等ございませんか。

関委員：

2月17日に第2回策定・推進委員会が予定されているのですが、今日と同じく午後の予定でしょうか。

石井委員長：

開催時間は各委員にとって大事だと思いますので、もし分かれば他の委員にも情報共有をお願いします。

事務局：

午後2時からの開催予定です。

石井委員長：

他にございますでしょうか。質疑が無いようですので、議題3を終了いたします。

(4) 住民意識調査等の実施について

資料4-1、4-2に基づき、事務局（市地域福祉課）から説明

【質疑】

二宮副委員長：

この調査に関しては個人情報に係る部分もあるかと思いますが、実際のもっと深い根っこの部分も聞いていただきたいと思います。例えば、私は平川地区で「いきいきサポート」という病院や買い物に行けない高齢者の移動支援を15人くらいのスタッフで10年間やってまいりましたが、NPO法人「たけのこ」の代表も高齢になられて、たけのこを解散するという話が出ており、来年の3月には活動をやめざるを得ないような状況です。幸い今年の10月から、平川地区も含めて「チョイソコがうら」という移動手段ができます。ただ、いきいきサポートの利用者は80人位おりますが、中には10mくらいしか歩けない方もたくさんおられます。そういう方はおそらくチョイソコがうらの利用は難しいかもしれません。これは1つの例ですが、そういうことも含めて、もう少し複雑なところ、あるいは深刻なところに手を差し伸べなければいけない方々について、その部分をぜひ加えていただいて、意見を聞く手段の一考としていただければ良いと思います。

粕谷委員：

今のご意見は、事業計画のどの部分のことですか。

二宮副委員長：

いきいきサポートは、以前は企画課の事業でしたが、現在は高齢者支援課の事業で活動をさせていただいています。この資料のどこに記載があるのか確認しますので、先に進めていてください。

事務局：

粕谷委員からのご質問について、私から回答させていただきます。二宮委員から話があったいきいきサポートは、資料1-1の2ページ、「4 地域福祉サービス・仕組みの充実」の「(2) 移動手段の確保」の、「①移送サービスの充実」の中の「事業No.66 高齢者移動支援事業」に該当するかと思います。

二宮副委員長：

いきいきサポートでは、資料1-2 9ページの「(2) 地域交流の場づくり」でサロンも関わっており、地域に非常に定着しているのですが、協力するメンバーが成り立たなくなって、やめざるを得ず残念な状況です。

石井委員長：

今は議題4の調査票の内容に関するところですので、調査に直接関係のある部分でお願いします。

二宮副委員長：

わかりました。このアンケートのさらに突っ込んだ部分として地元の課題の実例を述べさせていただきます。

粕谷委員：

資料4-1の2ページの、「12. 地域福祉の役割についておたずねします」の間41「(1) 市民の役割」は、自助・共助・公助の市民の役割についての市民の認識度を高めるために必要なのではないかと思いますが、カットした理由について教えてください。

事務局：

前回アンケートの回収率は50%くらいでした。今回も40%以上を確保するため、極力、市民の皆様が回答しやすいように、選択肢が多いものについて見直しを行いました。間41については、「市民の役割は何か」とか、「福祉事業者の役割は」といった質問は、一般市民が回答するには重いように見受けられましたので外しました。

粕谷委員：

(2)と(3)の削除は理解できますが、(1)の「市民の役割」については、市民を感化する意味で、市民の役割の必要性を聞いてもいいのではないかと思います。

事務局：

参考までに、市民の役割の選択肢は、「1 地域福祉活動への参加」、「2 福祉活動への資金的援助」、「3 相談・指導を担当する専門職員としてのクオリティー」、「4 情報の提供・活用」という形で12番までありました。ページ数もかなり多くなるため、今回は削除しました。

粕谷委員：

承知いたしました。

石井委員長：

市民の役割についてはあった方が良くのではないかというご意見でしたが、このアンケートの趣旨は、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定のための資料としてお尋ねするものであり、少し重い質問内容なので削除したというご説明でした。経年変化を追う意味で、あまり大幅に変えられないということも踏まえてご理解いただければと思います。

よろしいでしょうか。他に質疑等が無いようですので、議題4を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

（５）その他

事務局：

特にありません。

石井委員長：

委員からも何かございますでしょうか。特に無いようですので、議題5を終了します。

すべての議事が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

8 閉会

事務局：

どうもありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度、第1回袖ヶ浦市地域福祉計画 策定・推進委員会及び袖ヶ浦市地域福祉活動計画策定推進委員会を終了いたします。皆様、お疲れさまでした。

袖ヶ浦市地域福祉計画（第3期）

令和5年度 事業報告

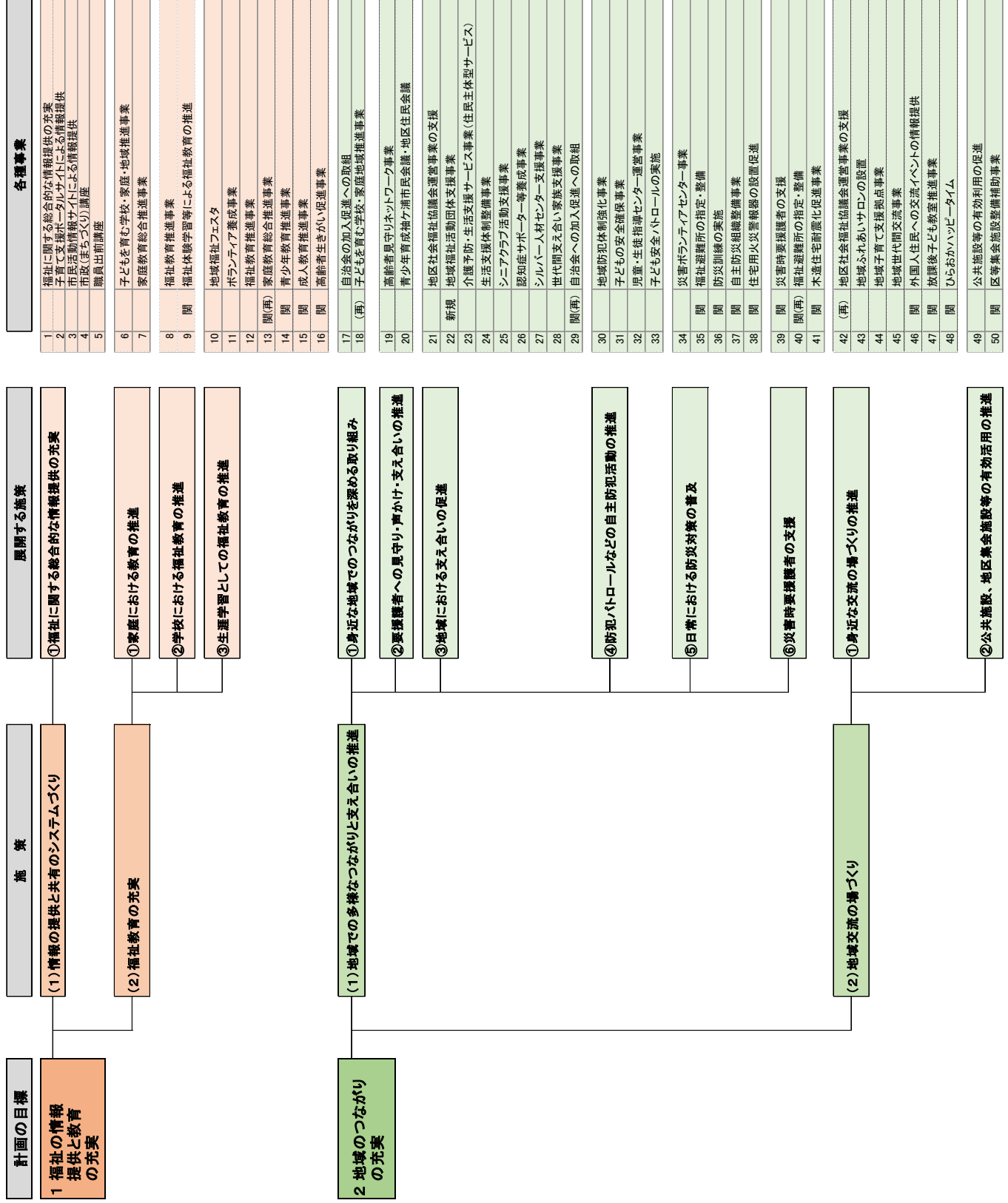
第1	計画の体系.....	1
第2	事業評価にあたって.....	3
1	概要.....	3
2	評価方法.....	3
第3	令和5年度 事業評価結果.....	4
第4	事業担当課の達成度状況.....	6
目標1	福祉の情報提供と教育の充実.....	6
目標2	地域のつながりの充実.....	7
目標3	地域の福祉に関わる人材づくり.....	10
目標4	地域福祉サービス・仕組みの充実.....	11
目標5	地域福祉推進への支援.....	14

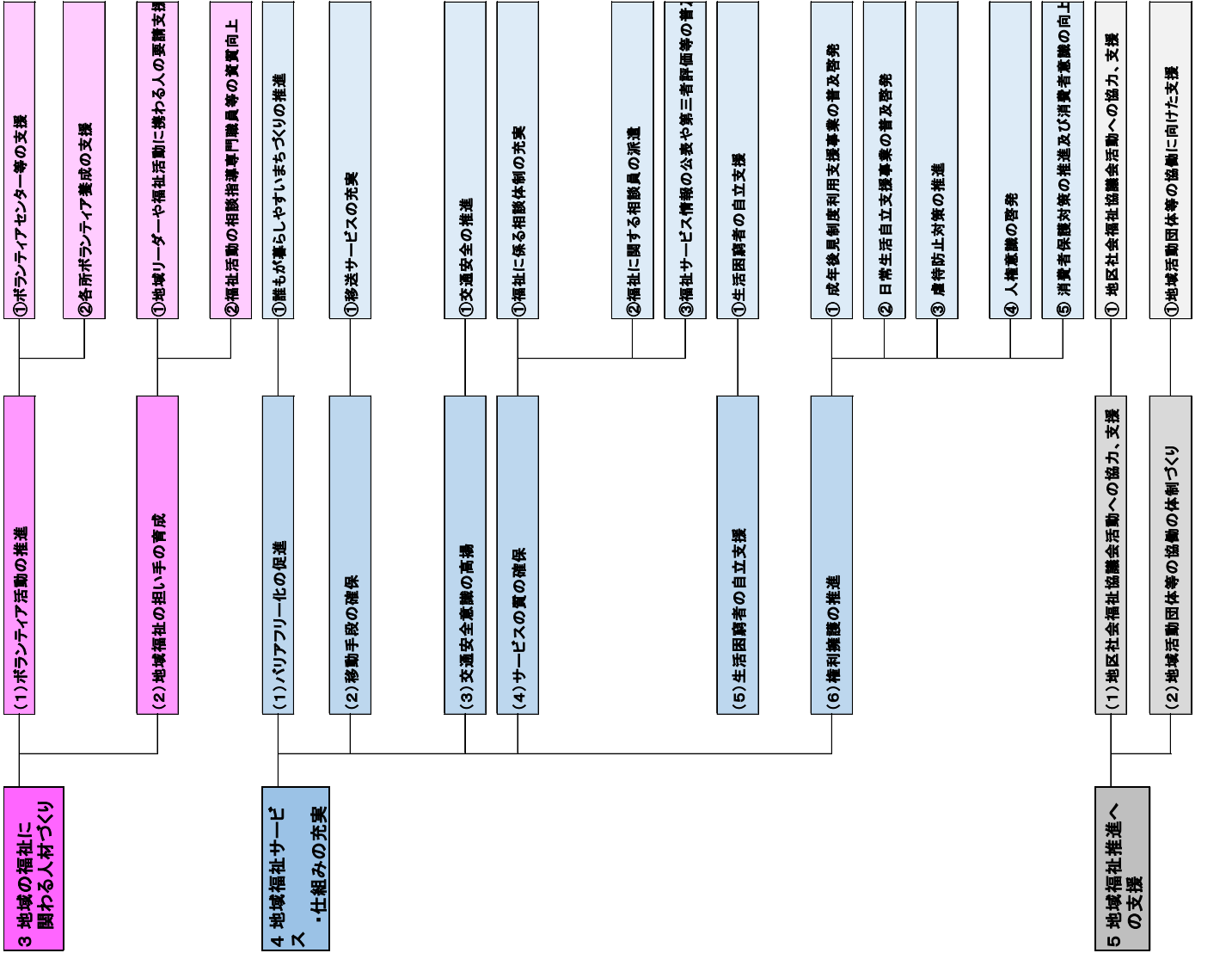
令和6年8月

袖ヶ浦市

第1 計画の体系

第1 計画の体系





51		ボランティアセンターの運営支援
52		ボランティアセンターの運営
53	関(再)	市民活動情報サイトによる情報提供
54	(再)	ボランティア養成事業
55	関	生涯学習ボランティア促進事業
56	関	おはなし会ボランティア推進事業
57		民生委員児童委員活動事業
58		民生委員児童委員協議会活動事業
59	関(再)	市政(まちづくり)講座
60		福祉専門職員等の資質向上の取組
61		高齢者等住宅整備資金貸付事業
62	関	道路・交通安全施設の整備
63	関	公園の整備
64		重度心身障がい者福祉タクシー事業
65		福祉力—管理運営事業
66	新規	高齢者移動支援事業
67		通院送迎(移送)サービス事業
68	関	地域公共交通づくり支援事業
69	関	交通安全対策事業
70	関(再)	児童・生徒指導センター運営事業
71		ながうら・ひらかわ健康福祉支援室運営事業
72		生活困窮者自立支援事業
73		相談支援事業
74		子育て世代包括支援事業
75	(再)	地域子育て支援拠点事業
76		介護相談員派遣等事業
77		福祉サービス情報の公表や第三者評価等の普及・啓発
78	(再)	生活困窮者自立支援事業
79		学習支援事業
80	新(再)	地域福祉活動団体支援事業
81		生活福祉資金貸付
82		成年後見制度利用促進事業
83		日常生活自立支援事業
84		障がい者虐待防止対策支援事業
85		高齢者虐待防止事業
86		虐待防止対策の推進
87		人権擁護事業
88		男女共同参画推進事業
89		消費生活相談・消費者意識啓発事業
90	(再)	地区社会福祉協議会運営事業の支援
91		地区社会福祉協議会の充実
92		地域福祉推進地区懇談会の設置
93	(再)	生活支援体制整備事業
94	関	青少年育成地区住民会議への支援
95	関	総合型地域スポーツクラブ活性化事業

第2 事業評価にあたって

1 概要

令和2年度から令和7年度を計画期間とする袖ヶ浦市地域福祉計画（第3期）（以下、「本計画」という。）は、市民が自ら福祉活動に取り組み、生きがいを持って地域福祉を推進していけるように、地域と市、市社協など関係機関が互いに協力していくという考え方にに基づき、各種事業を実施しています。

本計画では、計画を着実に推進するため、庁内関係部局に事業の進捗状況を毎年度照会し、事業の効果や指標の達成度などの観点から客観的に評価し、事業の効率化等、今後の取組の方向性を示し、評価結果について次期計画へ反映を図るものです。

2 評価方法

本計画の体系は、5つの「計画の目標」を掲げ、その実現に向けて「施策」、「展開する施策」に基づき「事業」及び「指標」を設定しており、78事業と145指標について評価を行いました。

評価は、事業担当課が次の表を参考に目標値に対する実績値から令和5年度の達成度や事業の展開状況、課題、改善事項など事業の評価を行い、地域福祉課において計画の目標ごとに評価を行いました。

【評価の内容】

達成度	内 容
A	目標を上回って達成した（100%以上）
B	目標を達成した（80%以上 100%未満）
C	目標を概ね達成した（80%未満）
D	目標を下回った（50%未満）
E	目標を大きく下回った、若しくは実施しなかった （事業の展開状況等の欄に事由等を記載）

*令和2～4年度の「E」区分は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標を達成できなかったものを「E」表記としております。

第3 令和5年度 事業評価結果

事業担当課による事業評価を基に、次の表を参考に計画の目標ごとの評価を行いました。

【評価の内容】

達成度	内 容
A	目標どおり実施できている（事業実施率 90～100%）
B	概ね実施できている（事業実施率 70～89%）
C	取組が遅れている（事業実施率 69%以下）

*事業実施率 … 事業評価A事業数 / 総取組事業数

■評価の結果

- 地域福祉課による本計画全体の事業実施率は74%となり、達成度はB「概ね実施できている」となっています。
- 計画の目標ごとにみると、いずれもB「概ね実施できている」となっていますが、事業実施率では「1 福祉の情報」が82%の8割台と最も高く、次いで「4 地域福祉サービス・仕組みの充実」が79%、「3 地域の福祉に関わる人材づくり」が78%、と7割台となっています。しかし、「2 地域のつながりの充実」は68%、「5 地域福祉推進への支援」は62%となっています。
- 福祉情報の発信や相談体制など、地域福祉の充実に向けた環境整備が進みつつある一方で、新型コロナウイルス感染症をきっかけに対面・参加型事業が低迷し、回復しきれていない事業もあるため、事業内容や実施方法について検討し、一層の効果的・効率的な運営に取り組んでまいります。

計画の目標	評価		
1 福祉の提供と教育の充実	B	82%	
2 地域のつながりの充実	C	68%	
3 地域の福祉に関わる人材づくり	B	78%	
4 地域福祉サービス・仕組みの充実	B	79%	
5 地域福祉推進への支援	C	62%	
全 体	B	74%	

第4 事業担当課の達成度状況

目標1 福祉の情報提供と教育の充実

概 要

市の地域福祉の総合的な底上げを図るための第一歩として、情報を発信すること、福祉教育への取組や福祉に触れる機会を充実させることで、一人ひとりの福祉への意識を高め、みんながお互い理解し、尊重し合えるように福祉の情報提供と教育の充実に取り組みます。

評 価

目標1 福祉の情報提供と教育の充実				達成度	事業実施率				
				B		82%			
施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果					
				A	B	C	D	E	
(1) 情報の提供と共有のシステムづくり	①福祉に関する総合的な情報提供の充実	5	7	5	1	1	-	-	
(2) 福祉教育の充実	①家庭における教育の推進	2	3	3	-	-	-	-	
	②学校における福祉教育の推進	2	2	-	2	-	-	-	
	③生涯学習としての福祉教育の推進	7	14	6	6	2	-	-	
小 計		16	26	14	9	3	-	-	

(1) 情報の提供と共有のシステムづくり 【資料1-2】 P1~2】

○主な取組

- 「①福祉に関する総合的な情報提供の充実」は、指標数が7で、そのうちAが5つ、Bが1つ、Cが1つとなっています。チラシやホームページなどの情報発信については、概ね計画どおりに事業が展開できました。C評価となった子育て支援ポータルサイトによる情報提供【No. 2 (P2)】は閲覧数のカウント方法の変更も影響しており、引き続き掲載内容を充実させて事業を実施していきます。

(2) 福祉教育の充実 【資料1-2】 P2~4】

- 「①家庭における教育の推進」は、指標数が3で、いずれもAとなり計画どおり事業が展開できました。
- 「②学校における福祉教育の推進」では、指標数が2で、いずれもBとなり、概ね計画どおり事業が展開できました。福祉教育推進事業【No. 8 (P2)】は小中学校からの依頼が増加しました。
- 「③生涯学習としての福祉教育の推進」は、指標数が14で、Aが6つ、Bが6つ、Cが2つとなっています。イベントや講座開催などが主要事業となりますが、概ね計画どおり開催し、参加者数も目標値に近い参加となりました。

目標2 地域のつながりの充実

概 要

核家族化及び少子化に伴う世帯規模の縮小や近隣との関わりの希薄化などによる地域からの孤立を防ぎ、できる限り長く住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくために、地域のことをみんなで考える機会を充実させることや身近な居場所づくりに取り組みます。

評 価

目標2 地域のつながりの充実				達成度		事業実施率			
				C		68%			
施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果					
				A	B	C	D	E	
(1) 地域での多様なつながりと支え合いの推進	①身近な地域でのつながりを深める取組	2	2	1	1				
	②要援護者への見守り・声かけ・支え合いの推進	2	3	2	1				
	③地域における支え合いの促進	9	14	7	3	1	3		
	④防犯パトロールなどの自主防犯活動の推進	4	7	4	3				
	⑤日常における防災対策の普及	5	5	4	1				
	⑥災害時要援護者の支援	3	4	2			2		
(2) 地域交流の場づくり	①身近な交流の場づくりの推進	7	13	6		4	3		
	②公共施設、地区集会施設等の有効活用の推進	2	2	1		1			
小 計		34	50	27	9	6	8	0	

(1) 地域での多様なつながりと支え合いの推進 【資料1-2 P5～8】

○主な取組

- 「①身近な地域でのつながりを深める取組」は、指標数は2で、そのうちAが1つ、Bが1つで、概ね計画どおり事業が展開できました。ただし、自治会加入率 [No. 17] は減少傾向にあるため、今後も自治会への加入に向けた支援を行うとともに、自治会未結成地域へ継続的に働きかけを行います。
- 「②要援護者への見守り・声かけ・支え合いの推進」は、指標数は3で、そのうちAが2つ、Bが1つで、概ね計画どおり事業が展開できました。

- 「③地域における支え合いの促進」は、指標数が14で、そのうちAが7つ、Bが3つ、Cが1つ、Dが3つとなっています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものが多いですが、徐々に再開し、利用・参加は戻りつつあります。しかし、住民主体の生活支援活動等の担い手となる養成研修【No. 23・24 (P6)】は、新規の応募がないなど、計画どおりに進んでいない事業もありました。一方、子ども食堂【No. 22 (P6)】は、令和5年度は2団体に活動費を助成しましたが、子ども食堂の開設に係る相談件数は増加傾向にあったことから、令和6年度は予算を増額し、新規に開設する団体を支援してまいります。
- 「④防犯パトロールなどの自主防犯活動の推進」は、指標数7で、そのうちAが4つ、Bが3つで、概ね計画どおり事業が展開できました。中でも、学区パトロール件数【No. 32 (P7)】、子ども安全パトロールの登録者数【No. 33 (P7)】は、前年度を上回る結果となりました。
- 「⑤日常における防災対策の普及」は、指標数5つのうち、Aが4つ、Bが1つで、概ね計画どおり事業が展開できました。
- 「⑥災害時要援護者の支援」は、指標数4で、そのうちAが2つ、Dが2つとなっています。D評価の木造住宅耐震化促進事業【No. 41 (P8)】は、災害対策についての関心は、個人差が大きく、時間の経過とともに関心は低くなる傾向にあり、希望者も減少傾向にあります。

(2) 地域交流の場づくり 【資料1-2】 P9～10】

○主な取組

- 「①身近な交流の場づくりの推進」は、指標13のうち、Aが6つ、Cが4つ、Dが3つとなっています。対面・参加型の事業が多いため、新型コロナウイルス感染症や天候の影響により、目標値に到達しなかったものが多かったものの、概ね前年度よりも増加し、改善傾向となっています。

目標3 地域の福祉に関わる人材づくり

概 要

地域福祉の担い手の裾野を広げ福祉活動を継続させていけるように、ボランティア活動の場と機会の充実や、地域福祉活動をけん引する人材育成、福祉活動に関わる様々な人たちがスキルアップの体制整備に取り組みます。

評 価

目標3 地域の福祉に関わる人材づくり				達成度		事業実施率		
				B		78%		
施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果				
				A	B	C	D	E
(1) ボランティア活動の推進	①ボランティアセンター等の支援	3	7	2	2	3		
	②各種ボランティア養成の支援	3	6	4	2			
(2) 地域福祉の担い手の育成	①地域リーダーや福祉活動に携わる人の要請支援	3	4	3	1			
	②福祉活動の相談指導専門職員等の資質向上	1	1	1				
小 計		10	18	10	5	3	0	0

(1) ボランティア活動の推進 【資料1-2】 P11～12】

○主な取組

- 「①ボランティアセンター等の支援」は、指標数が7で、そのうちAが2つ、Bが2つ、Cが3つとなっています。ボランティアの参加延人数【No. 51・52 (P11)】は目標値に達していないものの、前年度よりも増加させることができました。一方、登録者数は目標値にはば達しているものの、横ばいで推移しているため、登録者数の増加につながる取組を継続して実施していきます。
- 「②各種ボランティア養成の支援」は、指標数が6で、そのうちAが4つ、Bが2つとなり、概ね計画どおり事業が展開できました。

(2) 地域福祉の担い手の育成 【資料1-2】 P12～13】

○主な取組

- 「①地域リーダーや福祉活動に携わる人の要請支援」は、指標数が4で、そのうちAが3つ、Bが1つとなり、概ね計画どおり事業が展開できました。
- 「②福祉活動の相談指導専門職員等の資質向上」は、指標数が1でAとなり、各種研修への参加は前年度を上回るものも多くみられました。

目標4 地域福祉サービス・仕組みの充実

概 要

施設等の設備におけるハード面と併せて、市民意識のソフト面も含めた福祉のサービス体制、仕組みの充実を進めて、地域住民主体による地域支え合い活動の促進や、各種相談機関の連携による相談支援の充実を図り、必要な人へ必要な支援がつながるように取り組みます。

評 価

目標4 地域福祉サービス・仕組みの充実				達成度	事業実施率				
				B	79%				
施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果					
				A	B	C	D	E	
(1) バリアフリー化の促進	①誰もが暮らしやすいまちづくりの推進	3	3	2	1				
(2) 移動手段の確保	①移送サービスの充実	5	9	5		2	2		
(3) 交通安全意識の高揚	①交通安全の推進	2	4	3	1				
(4) サービスの質の確保	①福祉に係る相談体制の充実	5	7	6		1			
	②福祉に関する相談員の派遣	1	2		1	1			
	③福祉サービスの第三者評価等の普及啓発	1	1	1					
(5) 生活困窮者の自立支援	①生活困窮者の自立支援	4	4	3	1				
(6) 権利擁護の推進	①成年後見制度利用支援事業の普及啓発	1	2	2					
	②日常生活自立支援事業の普及啓発	1	1	1					
	③虐待防止対策の推進	3	5	5					
	④人権意識の啓発	2	2		1	1			
	⑤消費者保護対策の推進及び消費者意識の向上	1	2	1		1			
小 計		29	42	29	5	6	2	0	

(1) バリアフリー化の促進 【資料1-2 P14】

○主な取組

- 「①誰もが暮らしやすいまちづくりの推進」は、指標数が3で、そのうちAが2つ、Bが1つとなり、概ね計画どおり事業が展開できました。

(2) 移動手段の確保 【資料 1-2 P14～15】

○主な取組

- 「①移送サービスの充実」は、指標数が9で、そのうちAが5つ、Cが2つ、Dが2つとなっています。各分野において、事業の周知活動に取り組んでいますが、前年度対比で横ばい、若しくは減少している事業がみられました。

(3) 交通安全意識の高揚 【資料 1-2 P15】

○主な取組

- 「①交通安全の推進」は、指標数が4で、そのうちAが3つ、Bが1つとなり、概ね計画どおりの事業が展開できました。

(4) サービスの質の確保 【資料 1-2 P16～17】

○主な取組

- 「①福祉に係る相談体制の充実」は、指標数が7で、そのうちAが6つ、Cが1つとなっています。実績は上昇しており、概ね計画どおり事業が展開できました。
- 「③福祉サービスの第三者評価等の普及啓発」は、指標数が1でAとなり、計画どおり事業が展開できました。
- 令和5年度に「長浦地区地域包括支援センター」、「平川地区地域包括支援センター」が開設され、相談窓口の体制が整備されたことに伴い、ながうら・ひらかわ健康福祉支援室を閉室し、ながうら・ひらかわ健康福祉支援室運営事業【No. 71 (P16)】は、「完了」となりました。

(5) 生活困窮者の自立支援 【資料 1-2 P17】

○主な取組

- 「①生活困窮者の自立支援」は、指標数が4で、そのうちAが3つ、Bが1つとなり、概ね計画どおり事業が展開できました。学習支援事業【No. 79 (P17)】はB評価ですが、事業周知により利用者数は前年度より増加しました。

【計画事業以外】

- 市民の抱える複雑化・複合化した課題の解決や、制度のはざまにあるニーズに対応できるように重層的支援体制整備事業を令和6年度から実施するにあたり、令和5年度は、重層的支援体制整備事業移行準備事業を実施し、分野横断的な取組についての検討や準備を行いました。

(6) 権利擁護の推進 【資料 1-2】 P17～18】

○主な取組

- 「①成年後見制度利用支援事業の普及啓発」は、指標数が2で、いずれもAとなり、計画どおり事業が展開できました。令和4年度に市と社会福祉協議会において設置した中核機関では、成年後見制度利用支援事業の普及啓発及び相談窓業務に対応しています。
- 「②日常生活自立支援事業の普及啓発」は、指標数が1でAとなり、計画どおり事業が展開できました。
- 「③虐待防止対策の推進」は、指標数が5で、いずれもAとなり、計画どおり事業が展開できました。
- 「④人権意識の啓発」は、指標数が2で、Bが1つ、Cが1となり、概ね計画どおり事業が展開できました。
- 「⑤消費者保護対策の推進及び消費者意識の向上」は、指標数が2で、Aが1つ、Cが1つとなっています。出前講座・消費者教室の開催【No. 89 (P18)】は、C評価であったものの、前年度より開催数は増え、多くの方に参加していただけるように取り組んできました。
- 成年後見制度利用促進事業における中核機関では、相談件数が大きく増加しており、令和6年度予算は前年度より増額して計上し、事業の体制強化を図って実施してまいります。
- 虐待防止対策として子育て世代総合サポートセンターの周知【No. 88 (P18)】については、令和6年度からこども家庭センターに移行します。

目標5 地域福祉推進への支援

概 要

地区社会福祉協議会等と協力して、地域における既存の活動・仕組みを維持・充実させるとともに、定期的な情報共有及び連携強化を図る機会を設けるなどして、地域の課題を地域で支え合い、解決できる基盤を構築・発展に向けて取り組みます。

評 価

目標5 地域福祉推進への支援				達成度		事業実施率		
				C		62%		
施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果				
				A	B	C	D	E
(1) 地区社会福祉協議会活動への協力、支援	①地区社会福祉協議会活動への協力、支援	2	2	2				
(2) 地域活動団体等の協働の体制づくり	①地域活動団体等の協働に向けた支援	4	7	2	2	1	1	1
小 計		6	9	4	2	1	1	1

(1) 地区社会福祉協議会活動への協力、支援【資料1-2 P19】

○主な取組

- 「①地区社会福祉協議会活動への協力、支援」は、指標数が2でいずれもAとなり、計画どおり事業が展開できました。

(2) 地域活動団体等の協働の体制づくり【資料1-2 P19】

○主な取組

- 「①地域活動団体等の協働に向けた支援」は、指標数が7で、Aが2つ、Bが2つ、Cが1つ、Dが1、Eが1つとなっています。達成度がD・Eである、地域福祉推進地区懇談会【No. 92 (P19)】及び生活支援体制整備事業の担い手養成研修【No. 93 (P19)】などは、事業の実施内容の検討を行いながら、引き続き取り組みます。

【目標1】 福祉の情報提供と 教育の 充実

施 策		展開する施策	事業 数	指 標 数	事業の評価結果															施策・事業の取組状況
					【令和3年度】					【令和4年度】					【令和5年度】					
					A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
(1)情報の提供と共有のシステムづくり		①福祉に関する総合的な情報提供の充実	5	7	3		1		3	4	2	1			5	1	1			資料1ー1 6ページ に記載
(2)福祉教育の充実		①家庭における教育の推進	2	3	3					3					3					
		②学校における福祉教育の推進	2	2		1			1		1			1		2				
		③生涯学習としての福祉教育の推進	7	14	3	3			8	4	5	3	1	1	6	6	2			
B (82%)	小 計		16	26	9	4	1		12	11	8	4	1	2	14	9	3			
81.5%								(21.2)						(14.0)		(7.2)				

目標1 福祉情報の提供と教育の充実

【注意 R2～R6 目標値は、事業評価をするための暫定数値となります 】

所管課等	再 掲	新 規	事業名	事業内容	取組	現状値 (H30 年度末)	目標値 (R7 年度末)	目標値等の推移								令和5年度	
(1)情報提供と共有のシステムづくり ①福祉に関する総合的な情報提供の充実								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
【複数課】 地域福祉課 障がい者支援課 介護保険課 高齢者支援課 子育て支援課 保育幼稚園課 社会福祉協議会			【1】 福祉に関する情報提供の充実	福祉に関するチラシ等の配布による制度の周知や市ホームページ等による情報提供を行います。 ・福祉に関する各種チラシの配布 ・日本赤十字社からのチラシの窓口配布 ・社会福祉協議会からのチラシの窓口配布、市ホームページによる情報提供 ・各種義援金に関する広報、市ホームページ等による情報提供 また、福祉に関するより良い情報提供の内容、方法について検討を行います。	チラシ、広報及びホームページ等における福祉に関する各種情報提供回数 【各課ごと】	2回	2回	目標値		2	2	2	2	2	2回		
								実績	2回								
								地福		5	5	5	5			社協・赤十字のチラシを窓口を設置・配布したほか、赤十字の義援金等の募集に関する記事を市ホームページに掲載した。	現在規模で継続実施
								障がい		2	2	2	2			市ホームページによる各種制度の周知（通年）と広報紙による年1回の総合的な周知を行った。（各事業の周知は別途）	現在規模で継続実施
								介護		0	0	2	2			市ホームページや窓口で介護保険制度の周知を行った。	現在規模で継続実施
								高齢者		2	2	2	2			市ホームページや窓口等で高齢者福祉のサービスについて周知を図った。	現在規模で継続実施
								子育て		2	3	2	2			すくすく子育て！ぶっくの改訂、市ホームページによる情報提供、広報紙への掲載を随時実施。	現在規模で継続実施
								保育		2	2	2	2			市ホームページや広報紙で情報提供を行った。	現在規模で継続実施
								社協		13	13	7	7			社協だよりについては、偶数月1日に発行。共同募金については、特集号を1回発行。	現在規模で継続実施
								達成度		A	A	A	A				
子育て支援課			【2】 子育て支援ポータルサイトによる情報提供	子育て支援ポータルサイト「はっぴー、ネット」にて、各種子育て関連団体の情報提供を行います。	年間閲覧数(単年度)	2,674回	4,000回	目標値		3,000	3,200	3,400	3,600	3,800	4,000回	令和5年6月から閲覧数のカウント方法が変更となったため、昨年度までの実績値及び令和5年度の目標値との乖離が生じた。 子育て関係団体の情報提供については、掲載内容を充実させ継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	2,674回	4,759	5,195	3,133	2,091				
								達成度		A	A	B	C				
市民協働推進課			【3】 市民活動情報サイトによる情報提供	市民に対して、市民活動情報サイト「ガウラ・ナビ」により、市内で活動する市民活動団体・ボランティア団体等の情報提供を行います。	市民活動情報サイトへのアクセス数	2,728回	4,100回	目標値		2,900	3,000	3,100	3,200	3,500	4,100回	広報紙や市ホームページでサイトを周知し、市民活動団体への登録促進や市民へ利用を促した。利用促進及び情報発信を継続的に行っていく。なお、前年度と比較した令和5年度のアクセス数の増加については、システム変更に伴い集計方法も変更したことによるもの。	現状規模で継続実施
								実績	2,728回	3,830	1,785	1,857	10,110				
								達成度		A	C	C	A				

(1)情報提供と共有のシステムづくり ①福祉に関する総合的な情報提供の充実								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
市民協働推進課			【4】 市政(まちづくり)講座	地域コミュニティで活動する担い手を養成するため、地域づくりに役立つ知識を学ぶ講座を実施します。	まちづくり講座参加者	14人	16人	目標値		16	16	16	16	16	16人	まちづくり講座については年々参加者が減少しており、令和5年度については目標達成に至っていないが、今後はより多くの参加が見込めるような講座内容を検討し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	14人	24	22	13	15				
								達成度		A	A	B	B				
					まちづくり講座開催数	7回	7回	目標値		7	7	7	7	7	7回	令和5年度は従来通り開催しているが、今後はより多くの参加が見込めるような講座内容を検討し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	7回	1	1	7	7				
								達成度		E	E	A	A				
生涯学習課			【5】 職員出前講座	市民の学習機会の拡大を図り、市政に関する情報を市民に提供します。	開講数	170	180	目標値		120	120	120	130	140	180	コロナ禍前の開講数に戻りつつあり、増加した。事業については継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	170	40	92	125	177				
								達成度		E	E	A	A				
					受講者数	6,182人	6,200人	目標値		2,000	2,000	2,000	2,500	3,000	6,200人	令和5年度は前年度比1,423人増の3,664人が受講したが、コロナ禍前の数値には回復していない。小規模実施の講座が増加したことが要因と考える。事業については継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	6,182人	456	1,659	2,241	3,664				
								達成度		E	E	A	A				

(2)福祉教育の充実 ①家庭における教育の推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
学校教育課			【6】 子どもを育む、 学校・家庭地域 推進事業	学校・家庭・地域が連携しながら子どもを育むため、地域ぐるみで学校を支援する体制づくりを進めるとともに、その指針である「袖ヶ浦市子育ての提言」や基本的生活習慣を身につけさせるための「がうらっ子の心得」を活用し、健全育成のための啓発を行います。	1中学校区あたりの学校支援ボランティア登録者数 ※1…学校として確保したい登録者数を目標値として設定	155人	120人 ※1	目標値		120	120	120	120	120	120人 ※1	各学校ごとに学校支援ボランティアの周知を図り、登録者数の増加に努めた。	現状規模で 継続実施
	実績	155人						148	146	153	195						
	達成度							A	A	A	A						
【複数課】 生涯学習課 市民会館・公民館			【7】 家庭教育総合推進事業	発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供するため、家庭教育支援に関する総合的な取組について検討し、各公民館実施の家庭教育学級により、家庭教育力の向上を図ります。 家庭教育及び子育てに関する施策の充実と情報の共有を図るため、関係課が連携した家庭教育推進協議会を開催します。	子育てに関する悩みや不安を軽減できたとする受講者の割合	—	70.00%	目標値		50	55	60	90	90	70	計画どおり開級ができ、受講者の満足度も高い水準を保つことができた。対象年齢が上がっていくに連れて数値が低下していく傾向にあるため、参加者の満足度の高い講座内容を企画し、継続的に実施していく。	現状規模で 継続実施
	実績	—						99.1	94.9	93.3	96.3						
	生涯学																
	市民会館 公民館							99.1	94.9	93.3	96.3						
	達成度							A	A	A	A						
	家庭教育学級参加人数 ※2…講座内容を精査し、講座回数、参加予定人数の見直しを行い、目標値を設定	1,033人		800人 ※2	目標値		1,000	800	800	800	800	800人 ※2	計画どおりの開級ができ、受講者の満足度が高い水準で、参加者数も増加した。対象年齢が上がってくるにつれて、参加者の足が遠のく傾向にあるため、参加者が「参加してみたい」と思う魅力ある講座内容を企画し、継続的に実施していく。	現状規模で 継続実施			
					実績	1,033人	317	835	1,072	1,213							
					生涯学												
					市民会館 公民館		317	835	1,072	1,213							
					達成度		E	A	A	A							

(2)福祉教育の充実 ②学校における福祉教育の推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
社会福祉協議会			【8】 福祉教育推進事業	多様な生き方を受け入れ共に生きる力を育むとともに、豊かな福祉観を形成して、福祉に対する理解を促進するため、福祉教育を推進します。	福祉教育の実施回数	7回	7回	目標値		7	7	7	7	7	7回	新型コロナウイルス感染症の影響により依頼のない時期があった。福祉教育のPRを広報紙やチラシの配布等を行い、徐々にではあるが小学校、中学校等からの依頼が増加傾向にある。	現状規模で継続実施
								実績	7回	0	2	4	6				
								達成度		E	E	E	B				
学校教育課			【9】 福祉体験学習等による福祉教育の推進	学校において車いすや障がい者・高齢者の疑似体験器具を使用した福祉体験学習等を実施し、児童生徒が地域の一員として、福祉に関する理解を深め、実践的な態度を育てます。	高齢者・障がい者と触れ合う体験的学習をした割合	99.6%	100.0%	目標値		100	100	100	100	100	100%	学校の体験学習内容の精選により、福祉体験学習の実施率は100%とはならなかったが、実施した学校については、福祉に関する理解を深めることができた。	現状規模で継続実施
								実績	99.6%	83.6	83.6	91.7	91.7				
								達成度		B	B	B	B				

(2)福祉教育の充実 ③生涯学習としての福祉教育の推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
社会福祉協議会			【10】 地域福祉フェスタ	各地区の公民館を使用して、地域の特色を活かしたイベントを企画をし、多くの方が地域福祉を身近に感じられる機会を設けるために、各団体と協力し実施します。	地域福祉フェスタ開催回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	令和5年度は開催地区である平川公民館で実施した。今後も地域持ち回りで各地区の特色を活かし、多くの方が一堂に会し、福祉について触れることができるよう各団体と協議し、継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1回	0	1	1	1				
								達成度		E	B	B	A				
社会福祉協議会			【11】 ボランティア養成事業	福祉意識の醸成とボランティアの発掘ため、世代や対象者別等の入門講座を開催します。ボランティアリーダーの養成のため、ボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を行います。	ボランティア入門講座開催回数	2回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少した年もあったが、令和4年度以降は、福祉意識の醸成とボランティアの発掘ため、目標値を上回る講座を開催した。	現状規模で継続実施
								実績	2回	2	2	5	5				
								達成度		B	B	A	A				
					ボランティアリーダー養成講座への参加者数	2人	3人	目標値		3	3	3	3	3	3人	ボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を促すとともに「千葉県ボランティアの集い」参加費用を助成し、ボランティアリーダーの養成を図った。	現状規模で継続実施
								実績	2人	2	3	3	2				
								達成度		B	A	A	C				
社会福祉協議会	再掲		【12】 福祉教育推進事業	多様な生き方を受け入れ共に生きる力を育むとともに、豊かな福祉観を形成して、福祉に対する理解を促進するため、福祉教育を推進します。 【No. 8 再掲】	福祉教育の実施回数	7回	7回	目標値		7	7	7	7	7	7回	新型コロナウイルス感染症の影響により依頼のない時期があった。福祉教育のPRを広報紙やチラシの配布等を行い、徐々にではあるが小学校、中学校等からの依頼が増加傾向にある。	現状規模で継続実施
								実績	7回	0	2	4	6				
								達成度		E	E	E	B				
【複数課】 生涯学習課 市民会館・公民館	再掲		【13】 家庭教育総合推進事業	発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供するため、家庭教育支援に関する総合的な取組について検討し、各公民館実施の家庭教育学級により、家庭教育力の向上を図ります。家庭教育及び子育てに関する施策の充実と情報の共有を図るため、関係課が連携した家庭教育推進協議会を開催します。 【No. 7 再掲】	子育てに関する悩みや不安を軽減できたとする受講者の割合	一	70%	目標値		50	55	60	90	90	70%	計画どおりの開級ができ、受講者の満足度も高い水準を保つことができた。対象年齢が上がっていくに連れて数値が低下していく傾向にあるため、参加者の満足度の高い講座内容を企画し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	一	99.1	94.9	93.3	96.3				
								生涯学									
								市民会館 公民館		99.1	94.9	93.3	96.3				
								達成度		A	A	A	A				
					家庭教育学級参加人数 ※3…講座内容を精査し、講座回数、参加予定人数の見直しを行い、目標値を設定	1,033人	800人 ※3	目標値		1,000	800	800	800	800	800人 ※3	計画どおりの開級ができ、受講者の満足度が高い水準で、参加者数も増加した。対象年齢が上がってくるにつれて、参加者の足が遠のく傾向にあるため、参加者が「参加してみたい」と思う魅力ある講座内容を企画し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1,033人	317	835	1,072	1,213				
								生涯学									
								市民会館 公民館		317	835	1,072	1,213				
								達成度		E	A	A	A				
【複数課】 生涯学習課 市民会館・公民館			【14】 青少年教育推進事業	児童等を対象に体験活動の機会を提供し、社会生活に必要な規範意識や協調性を醸成するため、青少年健全育成団体への支援や講座等を実施します。	講座開催回数	61回	63回	目標値		63	63	63	63	62	63回	令和5年度は、前年度比3回増の62回実施し、様々な学習・体験活動の機会を提供し、学校、学年を超えた参加者同士の交流を図ることができた。また、地域の方々からの協力を得たことで、地域の多世代交流も図られ、心豊かな青少年育成に取り組むことができた。	現状規模で継続実施
								実績	61回	27	46	59	62				
								生涯学									
								市民会館 公民館		27	46	59	62				
								達成度		E	E	B	B				
				参加延べ人数	1,395人	1,500人	目標値		1,270	1,240	1,300	1,090	1,025	1,500人	令和5年度は、前年度比271人増の1,059人が参加した。今後も参加者が「参加してみたい」という満足度が高く、集客数を見込める企画を実施していく。	現状規模で継続実施	
							実績	1,395人	295	642	788	1,059					
							達成度		E	E	C	B					

(2)福祉教育の充実 ③生涯学習としての福祉教育の推進							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等	
生涯学習課			【15】 成人教育推進事業	市民の学習ニーズと地域課題や生活課題に対応した講座等を実施します。	参加者数【三学大学分】 ※4…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	1,800人	1,350人 ※4	目標値		1,350	1,350	1,350	900	900	1,350人 ※4	当日参加者数とオンライン視聴申込者数合わせて令和5年度は、前年度比110人増の1,238人が参加した。 今後もテーマに合わせた啓発活動を継続的に取り組み、参加者数の増加に努めていく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を900人に設定
								実績	1,800人	282	307	1,128	1,238				
								達成度		E	E	B	A				
					年間開催【三学大学分】 ※4…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	4回	3回 ※4	目標値		3	3	3	2	2	3回 ※4	目標値の年間2回開催することができた。 また、予算減少に伴い計画当初の目標より開催数が減少しているが、事業については継続して実施していく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を2回に設定
								実績	4回	1	2	2	2				
								達成度		E	D	D	A				
					講座の延べ開催回数【各公民館分】 ※4…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	100回	83回 ※4	目標値		86	87	85	74	70	83回 ※4	令和5年度は、前年度比9回減の71回開催し、市民の多種多様な学習ニーズに応じた講座を行い、教養の向上と仲間づくりを図ることができた。	現状規模で継続実施
								実績	100回	59	71	80	71				
								達成度		E	E	B	B				
					延べ参加人数【各公民館分】 ※4…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	1,670人	1,380人 ※4	目標値		1,528	1,532	1,607	1,382	1,167	1,380人 ※4	令和5年度は、前年度比106人増の1,337人が参加した。市民の多種多様な学習ニーズに応じた講座を行い、教養の向上と仲間づくりを図ることができた。	現状規模で継続実施
								実績	1,670人	763	1,026	1,231	1,337				
								達成度		E	E	C	B				
市民会館・公民館			【16】 高齢者いきがい促進事業	健康で充実した生活を送ることができるよう、学習や交流活動を通して一人ひとりの生きがいを促進するとともに、仲間づくりを行います。	高齢者学級等の開催回数 ※5…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	45回	44回 ※5	目標値		44	44	44	38	38	44回 ※5	令和5年度は、前年度比1回減の37回開催し、様々な学習・交流活動の機会を提供することができた。事業については継続的に取り組み、一人ひとりの生きがいを促進するとともに、仲間づくりを図っていく。	現状規模で継続実施
								実績	45回	25	31	38	37				
								達成度		E	E	B	B				
					高齢者学級等の延べ参加人数 ※5…講座回数、参加予定人数を見直し、講座内容を充実させる方向で目標値を設定	1,709人	1,670人 ※5	目標値		1,520	1,550	1,580	1,610	1,150	1,670人 ※5	令和5年度は、前年度比87人増の1,173人が参加した。今後も参加者が「参加してみたい」という満足度の高い講座内容を企画し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1,709人	702	845	1086	1,173				
								達成度		E	E	C	C				

【目標2】 地域のつながりの充実

施 策		展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果															施策・事業の取組状況
					【令和3年度】					【令和4年度】					【令和5年度】					
					A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
(1) 地域での多様なつながりと支え合いの推進		①身近な地域でのつながりを深める取組	2	2	1	1				1	1				1	1				資料1ー1 7～8ページに記載
		②要援護者への見守り・声かけ・支え合いの推進	2	3	2	1				2	1				2	1				
		③地域における支え合いの促進	9	14	6	3	1		4	7	2	1		4	7	3	1	3		
		④防犯パトロールなどの自主防犯活動の推進	4	7	2	3		1	1	2	3		1	1	4	3				
		⑤日常における防災対策の普及	5	5	4				1	5					4	1				
		⑥災害時要援護者の支援	3	4	1	1	1		1	2		2			2			2		
(2) 地域交流の場づくり		①身近な交流の場づくりの推進	7	13	4		1		8	5	1	1		6	6		4	3		
		②公共施設、地区集会施設等の有効活用の推進	2	2	1				1		1			1	1		1			
C (68%)	小 計		34	50	21	9	3	1	16	24	9	4	1	12	27	9	6	8		

68.4%

(34.2)

(27.0) (7.2)

目標2 地域のつながりの充実

【注意 R2～R6 目標値は、事業評価をするための暫定数値となります】

所管課等	再掲	新規	事業名	事業内容	取組	現状値 (H30 年度末)	目標値 (R7 年度末)	目標値等の推移								令和5年度	
(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ①身近な地域でのつながりを深める取組								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
市民協働推進課			【17】 自治会の加入 促進への取組	転入の手続きをした市民等に対して、自治会への加入を促すチラシを配付します。また、賃貸住宅等の入居者に対しても、千葉県宅地建物取引業協会南総支部等の協力のもと、チラシを配布していきます。加えて、市ホームページや広報紙を活用して、自治会活動に関する記事を定期的に掲載し、自治会への加入促進に努めます。	自治会加入率(加入世帯数÷常住世帯数)	62.8%	66%	目標値		63.5	64	64.5	60.0	60.3	66%	転入世帯の自治会加入が進んでいないことや高齢化に伴い自治会から退会する世帯が見受けられ、自治会加入率は減少となった。今後も自治会の支援を行うとともに、自治会未結成地域へ継続的に働きかけを実施していく。	現状規模で 継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を 60、5%に設定
	実績	62.8%						61.4	59.3	57.9	56.7						
	達成度							B	B	B	B						
学校教育課	再掲		【18】 子どもを育む、 学校・家庭地 域推進事業	学校・家庭・地域が連携しながら子どもを育むため、地域ぐるみで学校を支援する体制づくりを進めるとともに、その指針である「袖ヶ浦市子育ての提言」や基本的生活習慣を身につけさせるための「がうらっ子の心得」を活用し、健全育成のための啓発を行います。	1中学校区あたりの学校支援ボランティア登録者数 ※6…学校として確保したい登録者数を目標値として設定	155人	120人 ※6	目標値		120	120	120	120	120	120人 ※6	各学校ごとに学校支援ボランティアの周知を図り、登録者数の増加に努めた。	現状規模で 継続実施
		実績						155人	148	146	153	195					
		達成度							A	A	A	A					
【No. 6 再掲】																	

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ②要援護者への見守り・声かけ・支え合いの推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
高齢者支援課			【19】 高齢者見守り ネットワーク事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、協力事業者、関係団体等によるネットワークにより「さりげない見守り」を実施します。	協力事業者数・関係団体数	59団体	65団体	目標値		60	61	62	70	71	65団体	高齢者の安否確認等の対応を行い、協力事業者の増に努めた。 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう協力事業者の増に努め、協力事業者、関係団体等によるネットワークにより「さりげない見守り」を実施した。	現状規模で 継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を 72団体に設定
								実績	59団体	69	69	69	70				
								達成度		A	A	A	A				
				事業の周知回数		2回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	市政協力員会議等により事業の周知を行い協力事業者の拡大に努めた。	現状規模で 継続実施
								実績	2回	3	3	3	3				
								達成度		A	A	A	A				
【複数課】 生涯学習課 市民会館・公民館			【20】 青少年育成袖 ヶ浦市民会 議・地区住民 会議	子ども会、PTA、自治会、青少年相談員、小中学校など青少年健全育成団体で組織された青少年育成袖ヶ浦市民会議、地区住民会議の活動を支援し、安心して生活できる地域づくりを推進します。	子ども安全パトロール登録者数	822人	900人	目標値		900	900	900	900	900	900人	青少年健全育成推進大会を実施した際に周知活動を行うことが出来たが、目標値には届かなかった。 今後は周知方法等について検討していく。	現状規模で 継続実施
								実績	822人	845	835	841	845				
								生涯学		845	835	841	845				
								市民会館 公民館									
								達成度		B	B	B	B				

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ③地域における支え合いの促進										年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課			【21】 地区社会福祉協議会運営事業の支援	地区社会福祉協議会に対し、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や交流の場づくりなどを支援し、地域の住民同士のつながりをつくることで、地域福祉を推進します。	各地区社協の広報紙の自治会回覧(各地区ごと)	1回	1回以上	目標値				1	1	1	1	1	1	各地区社協が作成した広報紙を回覧するため自治会所管課と協議を行い、自治会へ回覧を行った。	現状規模で継続実施
								実績	1回		1回	3	4	6	3				
								達成度				A	A	A	A				
地域福祉課	新規		【22】 地域福祉活動団体支援事業	地域コミュニティの形成を目的として、主に、子ども食堂や学習支援事業など、貧困家庭やひとり親家庭の子ども及び保護者への支援活動を行う団体を支援します。	子ども食堂・学習支援事業開催箇所	1箇所	4箇所	目標値				1	1	2	1	3	4箇所	学習支援事業については、1箇所において実施し、子ども食堂については、2団体(箇所)に活動費を助成した。令和6年度については、1団体増の3団体分の予算を見込んでいる。	予算の規模を拡大して実施
								実績	1箇所		1箇所	1	1	2	3				
								達成度				A	A	A	A				
高齢者支援課			【23】 介護予防・生活支援サービス事業(住民主体型サービス)	住民主体の助け合いによる生活支援活動を行う団体に対し、その活動の維持・拡大に対する支援を行うとともに、新たな活動団体の創出を支援します。(生活支援体制整備事業と一体的なものとして実施)	住民主体の支援活動団体数	4団体	8団体	目標値				5	6	6	8	8	8団体	自治会やシニアクラブ、百歳体操等の自主グループ等、住民団体への働きかけにより、新規に1団体が発足した。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を10団体に設定
								実績	4団体		4団体	7	8	10	11				
								達成度				A	A	A	A				
				担い手養成研修開催回数		0回	12回	目標値				9	12	12	12	12	12回	担い手養成講座の受講者を募集したが、新規の応募がなく開催ができない回があった。	現状規模で継続実施
								実績	0回		0回	8	3	2	3				
								達成度				E	E	E	D				
高齢者支援課			【24】 生活支援体制整備事業	担い手の育成やサービスの創出につながるよう普及啓発を行います。 住民主体の支援活動団体間の連携づくりに努めます。	住民主体の支援活動団体数	4団体	8団体	目標値				5	6	6	8	8	8団体	自治会やシニアクラブ、百歳体操等の自主グループ等、住民団体への働きかけにより、新規団体が発足したことに加え、既存の活動団体への相談対応により、運営の継続を支援した。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を10団体に設定
								実績	4団体		4団体	7	8	10	11				
								達成度				A	A	A	A				
				担い手養成研修開催回数		0回	12回	目標値				9	12	12	12	12	12回	担い手養成講座受講者の募集を社協だよりやチラシ配布により行ったが、新規の応募がなかったため、地区社協の実施するサロンでの事業説明等を行った。	現状規模で継続実施
								実績	0回		0回	8	3	2	3				
								達成度				B	E	E	D				
高齢者支援課			【25】 シニアクラブ活動支援事業	単位シニアクラブ及びシニアクラブ連合会の社会参加活動、文化活動、体力・健康づくり事業などの支援を行います。また、クラブとの連携により会員の加入促進を図ります。	事業の周知回数	2回	2回	目標値				2	2	2	2	2	2回	シニアクラブ連合会及び単位クラブへ補助金を交付し、社会参加活動、文化活動、体力・健康づくり事業の支援及び会員の生きがいと健康づくりの推進を図った。また、自治会へチラシの配布やイベント時のPRなど新規会員の加入促進にも努めた。	現状規模で継続実施
								実績	2回		2回	2	2	2	2				
								達成度				A	A	A	A				
高齢者支援課			【26】 認知症サポーター等養成事業	認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者となる認知症サポーターの養成を、地域住民や企業等幅広く実施していきます。また、認知症サポーターステップアップ研修の開催により、サポーターが地域で自主的に活動できるよう意識付けや情報提供を行っていきます。	認知症サポーター累計数	8,769人	11,769人	目標値				9,625	10,053	10,481	10,909	11,337	11,769人	数年新型コロナウイルス感染症の影響により、養成者数が減少していた。目標値には届かないが、以前開催していた学校等など再開に向け、積極的に開催に向けた取組を進め、徐々に養成者数を増やすことができた。	現状規模で継続実施
								実績	8,769人		8,769人	9,365	9,419	9,654	10,000				
								達成度				E	E	E	B				
				認知症サポーター養成講座開催回数		26回	26回	目標値				26	26	26	26	26	26回	学校等徐々に再開するなど、開催回数を増やす取り組みを行った。	現状規模で継続実施
								実績	26回		26回	6	5	10	14				
								達成度				E	E	E	D				
高齢者支援課			【27】 シルバー人材センター支援事業	高齢者が健康でいきいきとした暮らし、生活の充実を図るため、高齢者の経験と技能を活かした就労の場を確保するシルバー人材センターの運営を支援します。	業務の受託件数	1,482件	1,485件	目標値				1,485	1,485	1,485	1,399	1,399	1,399件	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、受託件数の回復がみられ、高齢者の経験と技能を活かした就労の場を確保することができた。	現状規模で継続実施
								実績	1,482件		1,482件	1,437	1,399	1,321	1,417				
								達成度				B	B	B	A				
				事業の周知回数		3回	3回	目標値				3	3	3	3		3回	高齢者が健康でいきいきとした暮らし、生活の充実を図るため、事業の周知を継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	3回		3回	3	3	3	3				
								達成度				A	A	A	A				

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ③地域における支え合いの促進										年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
高齢者支援課			【28】 世代間支え合い家族支援事業	高齢者と子等が新たに袖ヶ浦市で同居又は近隣に居住するため、住宅の新築、購入、増改築、転居等に要する費用の一部を助成することにより、世代間でお互いに支え合いながら生活する多世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに、家族の絆の再生を図ります。	制度利用者数 ※7…過去の実績値を考慮して目標値を設定	14件	13件 ※7	目標値				13	13	13	13	13	13	世代間でお互いに支え合いながら生活する多世代家族の形成を促進し、高齢者の孤立を防ぐとともに、家族の絆の再生を図ることができた。	現状規模で継続実施
								実績	14件			10	12	15	12				
								達成度				C	B	A	B				
				制度の周知回数 ※7…過去の実績値を考慮して目標値を設定	18回	15回 ※7		目標値				15	15	15	15	15	15	年間一定の申請があるため、今後も周知に努めていく。	現状規模で継続実施
								実績	18回			10	11	10	9				
								達成度				C	C	C	C				
市民協働推進課	再掲		【29】 自治会の加入促進への取組	転入の手続きをした市民等に対して、自治会への加入を促すチラシを配付します。また、賃貸住宅等の入居者に対しても、千葉県宅地建物取引業協会南総支部等の協力のもと、チラシを配布していきます。加えて、市ホームページや広報紙を活用して、自治会活動に関する記事を定期的に掲載し、自治会への加入促進に努めます。	自治会加入率(加入世帯数÷常住世帯数) 【No. 17 再掲】	62.8%	66%	目標値				63.5	64	64.5	60.0	60.3	66%	転入世帯の自治会加入が進んでいないことや高齢化に伴い自治会から退会する世帯が見受けられ、自治会加入率は減少となった。今後も自治会の支援を行うとともに、自治会未結成地域へ継続的に働きかけを実施していく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を60.5%に設定
								実績	62.8%			61.4	59.3	57.9	56.7				
								達成度				B	B	B	B				

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ④防犯パトロールなどの自主防犯活動の推進										年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
防災安全課			【30】 地域防犯体制強化事業	市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、防犯指導員や自主防犯組織の活動を支援するとともに、高齢者を対象とした防犯講習会を実施します。	自主防犯組織の設立数	41団体	46団体	目標値				43	44	44	44	45	46団体	犯罪や不審者の増加等へ対応するため、地域における自主防犯組織の必要性を啓発し、実際の組織設立を促進していくことが課題となっている。	現状規模で継続実施
								実績	41団体			44	42	43	42				
								達成度				A	B	B	B				
				自主防犯組織未結成地区への説明会	1回	2回		目標値				2	2	2	3	3	2回	未結成地区でのイベントや交通防犯講話時にチラシを配布するなどして加入促進を行った。引き続き組織設立の促進を実施し、地域防犯体制の強化を図る。	現状規模で継続実施
								実績	1回			0	0	1	12				
								達成度				E	E	E	A				
学校教育課			【31】 子どもの安全確保事業	登下校時の子どもの安全確保のため、地域住民に協力を仰ぎ、「子ども110番連絡所」を設置します。全児童に持たせる防犯ブザーの購入費の一部を補助します。	「子ども110番連絡所」登録件数	488件	500件	目標値				500	500	500	500		500件	地域の協力があり、維持されている。各学校から防犯対策がより必要な地域を中心に「子ども110番連絡所」の協力への働きかけを行ったが、登録件数は微減の471件となった。	現状規模で継続実施
								実績	488件			488	484	480	471				
								達成度				B	B	B	B				
総合教育センター			【32】 児童・生徒指導センター運営事業	市内小学校新1年生対象に、「いかのおすし」を合言葉にした安全指導(不審者対応の合言葉)を実施します。また、児童生徒の安全を確保するため、警察等の関連機関と連携しながら、パトロール等の安全対策を実施します。	防犯教室実施回数 ※8…実施回数は学校数に基づくため、幽谷分校の廃止に伴い目標値が減少	8回	7回 ※8	目標値				8	8	8	7	7	7回※8	市内小学校全7校の新1年生を対象に、映像や歌を使いながら、登下校中や放課後などに、不審者に会ったときの対応を身につけられるように指導することができた。	現状規模で継続実施
								実績	8回			7	8	7	7				
								達成度				B	A	A	A				
				学区パトロール回数	1,421回	1,020回		目標値				1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020回	児童生徒の下校時等の安全を確保するため、警察等と連携しながら、パトロール等の安全対策を実施した。不審者出没などの情報が入った場合は通常のパトロールに加えて緊急対応のパトロールを数日間実施した。	現状規模で継続実施
								実績	1,421回			1,123	1,313	1,395	1,494				
								達成度				A	A	A	A				
市民会館・公民館			【33】 子ども安全パトロールの実施	地域住民が「オレンジ帽子」を着用し、散歩や買い物時に「ながらパトロール」を実施し、地域で子どもを見守ります。また、協力者への研修や情報交換などの機会を設け、引き続き、協力者の拡充を推進します。	子ども安全パトロールの登録者数	822人	900人	目標値				900	900	900	900	900	900人	地域住民への子ども安全パトロールの活動内容への理解が得られ、継続して「ながらパトロール」が実行されている。今後も協力者を増やしていく取り組みを実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	822人			845	835	841	845				
								達成度				B	B	B	B				
				協力者への研修・情報交換の実施回数	1回	5回		目標値				1	1	1	0	1	5回	子ども安全パトロールの活動内容への理解及び交流を深めるため、研修会を計画のうえ実施することができた。今後も地域で子どもたちを見守るために、協力者への研修・情報交換をより多く実施するよう取り組んでいく。	現状規模で継続実施
								実績	1回			0	0	0	1				
								達成度				D	D	D	A				

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ⑤日常における防災対策の普及								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
社会福祉協議会			【34】 災害ボランティアセンター事業	いつ起こるかわからない災害に備え、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練等を実施し、災害に備えます。	災害ボランティア立上げ・運営訓練	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	令和5年度は、会場を臨海スポーツセンターに変更し、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練等を実施した。 災害に備え、継続的に訓練を実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				
防災安全課			【35】 福祉避難所の指定・整備	福祉避難所の指定整備に努め、災害時要援護者が避難生活を送るために必要となる資機材等をあらかじめ配備するように努めます。	福祉避難所運営訓練回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	福祉避難所運営訓練を実施し、地域防災力の向上を図った。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	0	1	1				
								達成度		A	E	A	A				
防災安全課			【36】 防災訓練の実施	大規模災害に備え、市及び関係機関が連携し、地域住民と一体となった実践的な防災訓練を実施し、防災体制の強化及び防災意識の向上を図ります。	防災訓練の実施	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	地域住民と一体となった実践的な防災訓練を実施し、防災体制の強化及び防災意識の向上を図った。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				
防災安全課			【37】 自主防災組織整備事業	地域において「共助」の中核をなす自主防災組織の結成を促進するとともに、自主防災組織への資機材の貸与や防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図ります。	自主防災組織の結成数	74組織	81組織	目標値		76	77	78	79	80	81組織	自主防災組織の結成を促進し、令和5年度は1団体増の80団体となった。地域防災力の向上を図るため、今後も継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	74組織	76	78	79	80				
								達成度		A	A	A	A				
消防本部予防課			【38】 住宅用火災警報器の設置促進	住宅火災時に発生する死傷者の低減を目的に、市火災予防条例で義務化されている住宅用火災警報器の設置促進を図ります。	袖ヶ浦市内住宅用火災警報器設置率	69%	80%	目標値		70	72	74	79	81	80%	地域により住宅用火災警報器の設置率にばらつきがある。目標値の達成に向けて、継続的に設置促進や設置後の維持管理についても併せて周知していく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を83％に設定
								実績	69%	74	75	78	77				
								達成度		A	A	A	B				

(1)地域での多様なつながりと支え合いの推進 ⑥災害時要援護者の支援								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
防災安全課			【39】 災害時要援護者の支援	災害時に自力又は家族の支援だけでは対応が困難な高齢や障がいのある方を日頃から見守り、災害時に迅速に手を差し伸べられるようにするため、個人情報の保護に配慮した災害時要援護者登録台帳を作成・活用し、地域が連携して災害時要援護者の支援に努めます。	提供情報更新回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	定期的に情報更新を行い、要配慮者の支援に努めていく。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				
防災安全課	再掲		【40】 福祉避難所の指定・整備	福祉避難所の指定整備に努め、災害時要援護者が避難生活を送るために必要となる資機材等をあらかじめ配備するように努めます。	福祉避難所運営訓練回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	福祉避難所運営訓練を実施し、地域防災力の向上を図った。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	0	1	1				
								達成度		A	E	A	A				
都市整備課			【41】 木造住宅耐震化促進事業	木造住宅の耐震化を促進するため、無料耐震相談会を実施し、精密耐震診断や耐震改修工事の補助を行います。 なお、高齢者や障がい者については、耐震診断の結果により一定の条件を満たす場合は補助金を増額します。	耐震診断補助金交付件数	34件	35件	目標値		35	35	35	35	35	35件	継続的に広報活動を行い、事業の展開を行っているが、関心の高い方から工事を実施していくため、事業の経過とともに希望者が減少していく傾向にある。	現状規模で継続実施
								実績	34件	24	21	13	12				
								達成度		C	C	D	D				
					耐震改修補助金交付件数	14件	15件	目標値		15	15	15	15	15	15件	継続的に広報活動を行い、事業の展開を行っているが、関心の高い方から工事を実施していくため、事業の経過とともに希望者が減少していく傾向にある。	現状規模で継続実施
								実績	14件	3	13	9	3				
								達成度		C	B	D	D				

(2)地域交流の場づくり ①身近な交流の場づくりの推進							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課	再掲	【42】 地区社会福祉協議会運営事業の支援	地区社会福祉協議会に対し、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や交流の場づくりなどを支援し、地域の住民同士のつながりをつくることで、地域福祉を推進します。	各地区社協の広報紙の自治会回覧(各地区ごと)	1回	1回以上	目標値		1	1	1	1	1	1回以上	各地区社協が作成した広報紙を回覧するため自治会所管課と協議を行い、自治会へ回覧を行った。	現状規模で継続実施
							実績	1回	3	4	6	3				
							達成度		A	A	A	A				
【複数課】 地域福祉課 社会福祉協議会		【43】 地域ふれあいサロンの設置	身近な地域において、高齢者、子育て中の親子等が孤立しないよう交流できる場(サロン)をつくり、住民、ボランティア等が協力して、地域の特性に合わせた活動を実施し、住み慣れた地域で安心して暮らせるような地域福祉の推進を目指します。	サロン開催箇所数	26箇所	29箇所	目標値		26	27	27	28	28	29箇所	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、各地区において従来通りでの実施や再開に向けての動きだしの傾向がみられ、開催会場についても1箇所増の22箇所となった。 地域の交流の場としての取り組みとして、今後も継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
							実績	26箇所	11	16	21	22				
							達成度		E	E	E	C				
				サロン参加者延べ人数	5,169人	5,350人	目標値		5,200	5,250	5,250	5,300	5,300	5,350人	サロン参加者が大幅に増員し、令和5年度は、1,123人増の3,931人となった。 地域の交流の場としての取り組みとして、目標達成に向けて、今後も継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
							実績	5,169人	643	1,198	2,808	3,931				
							達成度		E	E	E	C				
保育幼稚園課		【44】 地域子育て支援拠点事業	自宅で保育する子育て中の保護者と児童が気軽に利用できる場を設け、親子同士交流を図ります。 また、専門職による相談業務を行い、子育てに関する悩みや不安を解消します。 子育てに関する情報提供や各種イベント・講座を実施し、児童の健全な育成を支援する地域の拠点としていきます。	子育て支援センター延べ利用者数	29,494人	32,000人	目標値		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	32,000人	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、施設の利用制限が緩和されたことで利用者数が増加した。 なお、企画政策課所管の第2期実施計画では、令和5～7年度末の目標値の見直しを行っている。 (R5末：14,000人、R6末：16,000人、R7末：19,000人)	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を19,000人に設定
							実績	29,494人	11,021	12,984	14,938	17,701				
							達成度		E	E	E	C				
				子育て支援センター設置箇所数	6箇所	7箇所	目標値		6	6	6	6	6	7箇所	設置数については増減なし。今後、平川地区の幼保連携に併せて子育て支援センターの設置を検討していく。	現状規模で継続実施
							実績	6箇所	6	6	6	6				
							達成度		A	A	A	A				
保育幼稚園課		【45】 地域世代間交流事業	世代間交流活動を実施し、児童と地域の高齢者との交流を図ります。	世代間交流事業実施箇所数	9箇所	9箇所	目標値		9	9	9	9	9	9箇所	新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの世代間交流事業が中止となり、5類感染症になった後も増加するまでに至らなかった。	現状規模で継続実施
							実績	9箇所	3	2	4	4				
							達成度		E	E	E	D				
				世代間交流実施回数	48回	50回	目標値		50	50	50	50	50	50回	新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの世代間交流事業が中止となったため、目標に対し大幅に減少となっているが、令和5年度は2回増の9回となっている。	現状規模で継続実施
							実績	48回	8	4	7	9				
							達成度		E	E	E	D				

(2)地域交流の場づくり ①身近な交流の場づくりの推進										年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
市民協働推進課		【46】 外国人住民への交流イベントの情報提供	袖ヶ浦市国際交流協会等が開催する交流イベント等の情報を外国人住民に提供し、地域内住民の交流を推進します。	国際交流協会による交流イベントの開催回数	4回	4回	目標値		4	4	4	4	4	4	4	4	4回	令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により交流イベントを実施することができなかったものの、令和4年度以降は感染症の影響を考慮しながら交流イベントを実施し、地域内住民の交流の推進を図った。	現状規模で継続実施
							実績	4回	0	0	3	4							
							達成度		E	E	B	A							
				交流イベントの周知回数	6回	6回	目標値		6	6	6	6	6	6	6	6	6回	令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により交流イベントを実施することができなかったものの、令和4年度以降は感染症の影響を考慮しながら交流イベントを実施するため、必要な周知を行った。	現状規模で継続実施
							実績	6回	0	0	6	8							
							達成度		E	E	A	A							
生涯学習課		【47】 放課後子ども教室推進事業	放課後の学校施設を活用し、子どもの安全・安心な活動場所を提供する。異学年活動、地域住民との世代間交流などを実施し、地域の教育力の向上や心豊かで健やかな児童の育成を図ります。	運営ボランティア参画人数	21人	40人	目標値		30	30	40	40	40	40	40	40	40人	運営ボランティア確保のため、関係団体や保護者へ呼びかけを行った結果、参画人数は増加したものの目標値には至らなかった。今後は各団体等にも呼びかけを行い、さらなる人数の確保に努めていく。	現状規模で継続実施
							実績	21人	0	18	21	28							
							達成度		E	C	C	C							
				参加者数	3,141人	3,600人	目標値		3,200	3,200	3,500	3,500	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600人	雨天や熱中症警戒アラートなどにより中止となり、事業を予定通り実施することができなかった。今後は運営スタッフや学校と連携を図り、熱中症などにも考慮しながら実施することができるよう検討していく。	現状規模で継続実施
							実績	3,141人	0	130	718	1,528							
							達成度		E	E	E	D							
平岡公民館		【48】 ひらおかハッピータイム	住民が主体となって活動できる環境づくりを推進するため、世代間交流などの事業を行い、郷土愛を育みます。	事業実施回数	1回	1回	目標値		0	1	1	1	1	1	1	1	1回	令和5年度は目標通りの回数を実施し、お正月飾りづくり等を通じて三世代が集う事業を実施することができた。	現状規模で継続実施
							実績	1回	0	1	1	1							
							達成度		A	A	A	A							
				事業参加者数	11人	20人	目標値		13	15	15	17	17	17	17	17	20人	令和5年度は、前年度比の10人減の23人が参加した。今後も集客が見込める事業内容を検討していく。	現状規模で継続実施
							実績	11人	0	27	33	23							
							達成度		E	A	A	A							

(2)地域交流の場づくり ②公共施設、地区集会施設等の有効活用の推進										年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
【複数課】 地域福祉課 社会福祉協議会		【49】 公共施設等の有効利用の促進	地域活動団体の交流や活動の場、サロンの会場などとして、公民館、老人福祉会館、社会福祉センター、地域の集会場などの公共施設等の有効利用を促進します。	令和元年度以降のサロン新規開催箇所数	0箇所	3箇所	目標値		1	1	1	1	1	1	1	1	3箇所	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、各地区において従来通りでの実施や再開に向けての動きだしの傾向がみられ、新規開催箇所数も2箇所増の2箇所となった。地域の公共施設の利用促進につながる取り組みとして今後も継続して実施していく。	現状規模で継続実施
							実績	0箇所	0	0	0	2							
							達成度		E	E	E	A							
市民協働推進課		【50】 区等集会施設整備補助事業	自治会活動の拠点となる集会施設の維持管理を目的として、集会施設の建設及び修繕等に要する経費の一部を補助します。	集会施設等の建設、修繕に対する補助金の交付件数	7件	12件	目標値		10	12	12	12	12	12	12	12	12件	目標値を超えることはできなかったが、引き続き区等自治会に補助制度の内容を継続的に周知し、活用の促進を図っていく。	現状規模で継続実施
							実績	7件	55	12	10	6							
							達成度		A	A	B	C							

【目標3】 地域の福祉に関わる人材づくり

施 策		展開する施策	事業 数	指標 数	事業の評価結果															施策・事業の取組状況
					【令和3年度】					【令和4年度】					【令和5年度】					
					A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
(1) ボランティア活動の推進		①ボランティアセンター等の支援	3	7	1	3	1		2	1	3	1		2	2	2	3		資料1ー1 10ページに記載	
		②各種ボランティア養成の支援	3	6	2	2		2	3	2		1	4	2						
(2) 地域福祉の担い手の育成		①地域リーダーや福祉活動に携わる人の要請支援	3	4	3				1	3	1				3	1				
		②福祉活動の相談指導専門職員等の資質向上	1	1	1				1					1						
B (78%)		小 計	10	18	7	5	1		5	8	6	1		3	10	5	3			
77.8%				(14.0)										(10.0)	(4.0)					

目標3 地域の福祉に関わる人材づくり

【注意 R2～R6 目標値は、事業評価をするための暫定数値となります】

所管課等	再掲	新規	事業名	事業内容	取組	現状値 (H30 年度末)	目標値 (R7 年度末)	目標値等の推移								令和5年度	
(1)ボランティア活動の推進 ①ボランティアセンター等の支援								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課			【51】 ボランティアセ ンターの運営 支援	ボランティア活動を通じた地域福祉活動への支援や、地域福祉を推進する人材の育成を目的として、ボランティアセンターの運営やボランティア保険加入促進など活動環境整備を支援し、新規ボランティアの開拓等、活動の拡大につなげます。	ボランティア登録数	1,372人	1,400人	目標値		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400人	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったものの令和5年度の登録者数は、前年度対比で2人減の1,337人となった。各種入門講座など、登録人数の増加につながる取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1,372人	1,396	1,303	1,339	1,337				
								達成度		A	B	B	B				
					ボランティア参加延べ人数	3,085人	3,200人	目標値		3,100	3,120	3,140	3,160	3,180	3,200人	市内施設等において、ボランティア活動が再開され、増加傾向にある。今後も、各種入門講座など、多くの方に参加していただけるよう取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	3,085人	974	986	1,130	1,818				
								達成度		E	E	E	C				
社会福祉協議会		【52】 ボランティアセ ンターの運営	ボランティア活動に興味がある方、ボランティアを求めている方などの相談に応じ、コーディネートするとともにボランティア交流の場を設けボランティア活動を支援します。広報紙やホームページを利用してボランティア情報の提供を図ります。	ボランティア登録数	1,372人	1,400人	目標値		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400人	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったものの令和5年度の登録者数は、前年度対比で2人減の1,337人となった。各種入門講座など、登録人数の増加につながる取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施	
							実績	1,372人	1,396	1,303	1,339	1,337					
							達成度		A	B	B	B					
				ボランティア参加延べ人数	3,085人	3,200人	目標値		3,100	3,120	3,140	3,160	3,180	3,200人	市内施設等において、ボランティア活動が再開され、増加傾向にある。今後も、各種入門講座など、多くの方に参加していただけるよう取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施	
							実績	3,085人	974	986	1,130	1,818					
							達成度		E	E	E	C					
				広報紙及びホームページにおけるボランティア情報提供回数	12回	12回	目標値		12	12	12	12	12	12回	社会福祉協議会のホームページやSNSを活用し、ボランティアに関する情報発信やボランティア募集情報等の記事を掲載した。今後も福祉意識の醸成とボランティア協力員を発掘するため、各種情報提供を継続して実施していく。	現状規模で継続実施	
							実績	12回	12	14	29	39					
							達成度		A	A	A	A					
				ボランティア交流回数	3回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、入門講座開催時に同時開催するなど、参加者が増加するように対応した。また、他事業でも団体交流会等が開催されているため、今後も開催方法については、各種入門講座との同時開催や他事業での交流会の紹介などを進め、参加者の増加に努めていく。	現状規模で継続実施	
							実績	3回	3	2	2	2					
							達成度		A	B	B	C					
市民協働推進課	再掲	【53】 市民活動情報 サイトによる情 報提供	市民に対して、市民活動情報サイト「ガウラ・ナビ」により、市内で活動する市民活動団体・ボランティア団体等の情報提供を行います。	市民活動情報サイトへのアクセス数	2,728回	4,100回	目標値		2,900	3,000	3,100	3,200	3,500	4,100回	広報紙や市ホームページでサイトを周知し、市民活動団体への登録促進や市民へ利用を促した。利用促進及び情報発信を継続的に行っていく。なお、前年度と比較した令和5年度のアクセス数の増加については、システム変更に伴い集計方法も変更したことによるもの。	現状規模で継続実施	
							実績	2,728回	3,830	1,785	1,857	10,110					
							達成度		A	C	C	A					
				【No. 3 再掲】													

(1)ボランティア活動の推進 ②各種ボランティア養成の支援							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等			
社会福祉協議会	再掲		【54】 ボランティア養成事業	福祉意識の醸成とボランティアの発掘ため、世代や対象者別等の入門講座を開催します。 ボランティアリーダーの養成のため、ボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を行います。	ボランティア入門講座開催回数	2回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少した年もあったが、令和4年度以降は、福祉意識の醸成とボランティアの発掘ため、目標値を上回る講座を開催した。	現状規模で継続実施		
								実績	2回	2	2	5	5						
								達成度		B	B	A	A						
						【No. 11 再掲】	ボランティアリーダー養成講座への参加者数	2人	2人	目標値		3	3	3	3	3	3人	ボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を促すとともに「千葉県ボランティアの集い」参加費用を助成し、ボランティアリーダーの養成を図った。	現状規模で継続実施
										実績	2人	2	3	3	2				
										達成度		B	A	A	C				
生涯学習課		【55】 生涯学習ボランティア促進事業	市民の主体的な生涯学習活動を支援するため、地域の人材活用を図ります。 養成講座や各種の研修活動を通してボランティアを養成し、社会教育機関等で実施する事業で活用を図ります。 【生涯学習ボランティア】 ・社会教育推進員 ・保育ボランティア ・ユースボランティア ・アドバイザーバンク	生涯学習ボランティアの人数	126人	130人	目標値		127	127	128	127	130	130人	広報紙や市のSNSを活用し生涯学習活動ボランティアの周知を行い、ボランティアの増員に努めたが、目標値に僅かに達することができなかった。今後も有効な取り組みを検討し、実施していく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を135人に設定			
				実績			126人	129	125	117	120								
				達成度				A	B	B	B								
				保育ボランティア実施件数	37件	40件	目標値		37	38	38	20	20	40件	家庭教育講座については、近年「親」を対象とした講座から「親子」で参加できる講座にニーズが高まっている。その場合、保育を必要としないことも含め、件数は前年度同数の22件にとどまっている。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を25回に設定			
				実績			37件	15	13	22	22								
				達成度				E	E	E	A								
中央図書館		【56】 おはなし会ボランティア推進事業	子どもの読書活動を促進するため、図書館及び保育所・幼稚園・学校等でのおはなし会を実施するためのボランティアを養成します。	おはなし会・ブックスタートボランティア登録数	49名	53名	目標値		53	53	53	53	53	53名	ブックスタートボランティアを募集した結果、増加傾向にある。今後も計画的におはなし会・ブックスタートボランティアの各募集を行うなど、登録人数の増加につながる取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施			
				実績			49名	61	58	68	75								
				達成度				A	A	A	A								
				おはなし会参加者数 ※9…今後の参加対象となる子どもの減少見込みによる	12,516人	10,000人 ※9	目標値		12,500	12,000	11,500	11,000	10,500	10,000人 ※9	令和5年度は、前年度対比で687人増の11,042人の参加があり、コロナ禍前の状況に回復しつつある。今後もおはなし会参加者の増加につながる取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施			
							実績	12,516人	4,058	6,304	10,355	11,042							
							達成度		E	E	B	A							

(2)地域福祉の担い手の育成 ①地域リーダーや福祉活動に携わる人の養成支援							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等		
地域福祉課			【57】 民生委員児童委員活動事業	民生委員・児童委員の活動に必要な環境づくりを推進するため、助成金を交付し支援します。 また、民生委員・児童委員の活動内容を周知することで、各委員が活動しやすい環境づくりを目指します。 民生委員・児童委員の活動に適した活動地区割についても検討します。	広報、ホームページ等による民生委員・児童委員の活動内容の周知	0回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	民生委員・児童委員の活動内容を市ホームページや広報紙等に掲載し周知した。	現状規模で継続実施	
								実績	0回	1	1	1	1					
								達成度		A	A	A	A					
社会福祉協議会			【58】 民生委員児童委員協議会活動事業	民生委員児童委員協議会の事務局として、民生委員児童委員活動が効果的に展開できるよう様々な支援を行います。	広報紙、ホームページ等による民生委員・児童委員の活動内容の周知	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	偶数月に発行している「社協だより」に民生委員児童委員活動の情報を掲載するとともに公民館まつり等で民生委員児童委員活動のPR活動を行い、市民に民生委員児童委員活動の啓発活動を行った。今後も啓発活動を継続的に実施していく。	現状規模で継続実施	
								実績	1回	1	1	1	1					
								達成度		A	A	A	A					
市民協働推進課	再掲		【59】 市政(まちづくり)講座	地域コミュニティで活動する担い手を養成するため、地域づくりに役立つ知識を学ぶ講座を実施します。	まちづくり講座参加者	14人	16人	目標値		16	16	16	16	16	16人	まちづくり講座については年々参加者が減少しており、令和5年度については目標達成に至っていないが、今後はより多くの参加が見込めるような講座内容を検討し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施	
								実績	14人	24	22	13	15					
								達成度		A	A	B	B					
					【No. 4 再掲】	まちづくり講座開催数	7回	7回	目標値		7	7	7	7	7	7回	令和5年度は従来通り開催しているが、今後はより多くの参加が見込めるような講座内容を検討し、継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
									実績	7回	1	1	7	7				
									達成度		E	E	A	A				

(2)地域福祉の担い手の育成 ②福祉活動の相談指導専門職員等の資質向上								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等		
【複数課】 地域福祉課 障がい者支援課 介護保険課 高齢者支援課 子育て支援課 保育幼稚園課 社会福祉協議会			【60】 福祉専門職員 等の資質向上 の取組	適切なサービスの提供や相談支援の充実、対応強化を図るため、研修等への参加を行い、職員の資質向上を図ります。	福祉に関する研修への参加回数	1回	1回以上	目標値		1	1	1	1	1	1回以上				
								実績	1回										
								地福		2	2	2	3			相談支援員を対象とした各種研修会に参加	現状規模で継続実施		
								障がい者		4	4	2	5			各種研修へ参加し、知識の習得に努めた。	現状規模で継続実施		
								介護		2	4	4	4			国県等が主催する研修等に参加し職員の資質向上を図った。	現状規模で継続実施		
								高齢者	10	12	12	12	14			高齢者虐待対応や成年後見関連、世帯内に複数の課題を抱える等の困難事例について、委託包括と連携し定期的に対応進捗管理等を行い知識や対応力の向上を図るほか、県や関係機関の主催する外部研修を受講した。	現状規模で継続実施		
								子育て		8	8	11	15			家庭相談員、母子父子自立支援員、利用者支援員研修に参加し資質向上を図った。	現状規模で継続実施		
								保育		4	8	12	15			各種研修に参加し、保育に関する資質向上を図った。	現状規模で継続実施		
								社協		1	1	1	1			年度研修計画のに基づき、役職員研修会を実施	現状規模で継続実施		
								達成度		A	A	A	A						

【目標 4】 地域福祉サービス・仕組みの充実

施 策		展開する施策	事業 数	指 標 数	事業の評価結果															施策・事業の取組状況
					【令和３年度】					【令和４年度】					【令和５年度】					
					A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
(１)バリアフリー化の促進		①誰もが暮らしやすいまちづくりの推進	3	3	2	1				2	2	1			2	1				資料１－１ １１～１３ページに記載
(２)移動手段の確保		①移送サービスの充実	5	9	4	2			3	4	2	2		1	5		2	2		
(３)交通安全意識の高揚		①交通安全の推進	2	4	2				2	2				2	3	1				
(４)サービスの質の確保		①福祉に係る相談体制の充実	5	7	6				1	6				1	6		1			
		②福祉に関する相談員の派遣	1	2	1				1			1		1		1	1			
		③福祉サービスの第三者評価等の普及啓発	1	1	1					1					1					
(５)生活困窮者の自立支援		①生活困窮者の自立支援	4	4	3				1	3				1	3	1				
(６)権利擁護の推進		① 成年後見制度利用支援事業の普及啓発	1	2	2					2					2					
		② 日常生活自立支援事業の普及啓発	1	1	1					1					1					
		③ 虐待防止対策の推進	3	5	4		1			5					5					
		④ 人権意識の啓発	2	2	1	1				1	1						1	1		
		⑤ 消費者保護対策の推進及び消費者意識の向上	1	2		1			1		1			1	1		1			
B (79%)		小 計	29	42	27	5	1		9	27	5	3		7	29	5	6	2		

78.6%

(33.0)

(29.0) (4.0)

目標4 地域福祉サービス・仕組みの充実

【注意 R2～R6 目標値は、事業評価をするための暫定数値となります】

所管課等	再掲	新規	事業名	事業内容	取組	現状値 (H30 年度末)	目標値 (R7 年度末)	目標値等の推移							令和5年度		
(1)バリアフリー化の促進 ①誰もが暮らしやすいまちづくりの推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
高齢者支援課			【61】 高齢者等住宅 整備資金貸付 事業	高齢者が自宅で日常生活を営むことができるよう浴室やトイレの改修、段差の解消、手すり、スロープの設置等の住宅改修に対し、資金を無利子で貸付けます。	事業の周知回数	2回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	高齢者が自宅で日常生活を営むことができるよう住宅の改修に必要な資金を貸し付けについて、周知を図ることができた。	現状規模で 継続実施
	実績	2回						3	3	3	3						
	達成度							A	A	A	A						
【複数課】 土木建設課 土木管理課			【62】 道路・交通安 全施設の整備	全ての人々が安全で快適に利用できるよう、安全性の高い道路整備を進めます。	市民意識調査(市内の道路が整備されていると思う割合)	55.4%	67%	目標値		-	-	-	-	-	67%	三箇横田線建設事業を進め、安全性の高い道路整備を実施している。 通学路や園児の散歩コースで歩行帯整備や交通安全施設の整備を進めることができた。	現状規模で 継続実施
	実績	55.4%						55.9	49.4	54.1	53.2						
	達成度							A	B	B	B						
都市整備課			【63】 公園の整備	都市公園のバリアフリー化を図ると共に支障となっている樹木の間引きや老朽施設の撤去・改修等環境整備に努め、市民に憩いと安らぎを与える施設となるよう整備を進めます。	老朽施設の改修件数	33件	93件	目標値		43	53	63	73	83	93件	樹木の間引きや剪定など適切な維持管理を指定管理者により実施することができた。 老朽施設の撤去や更新については、予算の範囲内において、優先度が高いものから順に実施した。	現状規模で 継続実施
	実績	33件						66	71	91	99						
	達成度							A	A	A	A						

(2)移動手段の確保 ①移送サービスの充実							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
障がい者支援課		【64】 重度心身障がい者福祉タクシー事業	在宅の重度心身障がい者(児)の社会参加促進のため、タクシー利用料金の一部を助成します。	広報紙による制度周知の実施回数	3回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	4月、8月、12月に広報紙に掲載をし、周知を行うことができた。	現状規模で継続実施
							実績	3回	3	3	2	3				
							達成度		A	A	C	A				
障がい者支援課		【65】 福祉カー管理運営事業	障がい者及びその家族にスロープ付きワゴン車等を貸し出し、社会参加を促進します。	福祉カー貸出件数	48件	48件	目標値		48	48	48	48	48	48件	令和5年度はワゴン車等を借入したい申し出件数が、前年度比で28件少ない36件であった。現状においてはサービスを継続していくが、今後の利用実績を注視していく。	現状規模で継続実施
							実績	48件	20	28	64	36				
							達成度		E	E	A	C				
				福祉カー移送件数	82件	85件	目標値		85	85	85	85	85	85件	令和4年度及び5年度において、利用実績が無かった。現状においてはサービスとして継続していくが、利用実績を見ながら事業の継続を含めた検証をしていく必要がある。	現状規模で継続実施
							実績	82件	26	18	0	0				
							達成度		E	E	D	D				

(2)移動手段の確保 ①移送サービスの充実							年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等	
高齢者支援課		新規	【66】 高齢者移動支援事業	居宅で生活する移動手段を持っていない高齢者に対し、日常生活に必要な移動手段の確保と経済的負担を軽減するため、高齢者移動支援タクシーを利用した場合に、その運賃の一部を助成することにより高齢者の移動を支援します。	高齢者移動支援タクシー利用率(%)	—	60%	目標値		60	60	60	70	70	60%	令和2年7月から開始し、当初75歳以上で構成された市町村民税非課税世帯を対象としていたが、令和3年度から、助成要件を世帯単位の交付から世帯の個人ごとの交付に変更し、令和4年度からは、非課税世帯となる構成員の年齢要件を75歳から65歳に引き下げるなど拡大を図り、高齢者の移動を支援することができた。	現状規模で 継続実施 ※第2期実施計画 R7年度目標値を70%に設定
								実績	—	66	69	72	71				
								達成度		A	A	A	A				
					制度の周知回数	—	3回	目標値		3	3	3	4	4	3回	居宅で生活する移動手段を持っていない高齢者に対し広報紙や市ホームページなどを活用し、周知を図ることができた。	現状規模で 継続実施 ※第2期実施計画 R7年度目標値を4回に設定
								実績	—	3	4	3	4				
								達成度		A	A	A	A				
社会福祉協議会			【67】 通院送迎(移送)サービス事業	一般の交通手段では医療機関への通院等が困難な低所得の方を対象に、ボランティアの協力により近隣医療機関までの送迎サービスを実施します。	利用登録者数	65人	70人	目標値		70	70	70	70	70	70人	利用者の状況を把握するために2年間の更新制に改めたところ、更新の手続きを行わない方もいたことから利用登録者数が減少した。 延べ利用件数は令和4年度から横ばいの状況にあり、今後も周知活動を継続し、地域住民同士の支え合いによる事業運営を行う。	現状規模で 継続実施
								実績	65人	60	59	59	37				
								達成度		B	B	B	C				
					延べ利用件数	207件	220件	目標値		220	220	220	220	220	220件	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生などによる病院の受け入れ停止、オンライン受診などが広まり通院回数が減少した利用者もあり、利用件数が半減した。 延べ利用件数は令和4年度から横ばいの状況にあり、今後も周知活動を継続し、地域住民同士の支え合いによる事業運営を行う。	現状規模で 継続実施
								実績	207件	129	119	80	81				
								達成度		E	E	E	D				
企画政策課(R2-R4) 高齢者支援課(R5)			【68】 地域公共交通づくり支援事業	交通弱者の移動手段について、地域住民・NPO等が主体となった取組に対して支援します。	各団体の平均外出支援者数	15.2人/日	15.5人/日	目標値		15.5	15.5	15.5	14.7	14.7	15.5人/日	交通弱者の移動手段について、地域住民・NPO等が主体となった取組に対して支援することができた。	現状規模で継続実施 ※令和5年度より事業名【66】高齢者移動支援事業で評価を実施。 ※第2期実施計画ではR7目標値14.7人/日に設定
								実績	15.2人/日	10.4	14.7	15.2	15.6				
								達成度		C	B	B	A				
					周知活動回数	2回	2回	目標値		2	2	2	2	2	2回	地域住民・NPO等が主体となった交通弱者への移動手段の取組について、市ホームページや市政協力員への回覧等による周知を図った。	現状規模で継続実施 ※令和5年度より事業名【66】高齢者移動支援事業で評価を実施。 ※第2期実施計画ではR7目標値4回に設定
								実績	2回	2	2	2	2				
								達成度		A	A	A	A				

(3)交通安全意識の高揚 ①交通安全の推進								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
防災安全課			【69】 交通安全対策事業	交通安全意識の向上を図るため、交通安全指導や広報・啓発活動、街頭監視活動等を行うとともに、関係団体の活動を支援します。	交通安全教室・講習会の実施回数 ※10…過去の実績と今後の予定を考慮して目標値を設定	153	133 ※10	目標値		133	133	133	133	133	133 ※10	警察や関係団体の協力を得ながら交通安全指導を行っているが、令和5年度はコロナが5類に移行したものの、指導要請が伸びず、令和4年度と比較して1件の減となった。	現状規模で 継続実施
								実績	153	34	82	110	109				
								達成度		E	E	E	B				
				交通事故防止啓発活動 ※10…過去の実績と今後の予定を考慮して目標値を設定	交通安全教室・講習会の実施回数 ※10…過去の実績と今後の予定を考慮して目標値を設定	109	74 ※10	目標値		74	74	74	74	74 ※10	警察や関係団体の協力を得ながら啓発活動を行った。令和5年度は、高齢者支援課と連携を図り百歳体操時に啓発を実施したため、目標値を超えることができた。	現状規模で 継続実施	
								実績	109	20	37	61	161				
								達成度		E	E	E	A				
総合教育センター	再掲		【70】 児童・生徒指導センター運営事業	市内小学校新1年生対象に、「いかにのすし」を合言葉にした安全指導（不審者対応の合言葉）を実施します。 また、児童生徒の安全を確保するため、警察等の関連機関と連携しながら、パトロール等の安全対策を実施します。	防犯教室実施回数 ※11…実施回数は学校数に基づくため、幽谷分校の廃止に伴い目標値が減少	8回	7回 ※11	目標値		8	8	8	7	7	7回 ※11	市内小学校全7校の新1年生を対象に、映像や歌を使いながら、登下校中や放課後などに、不審者に会ったときの対応を身につけられるように指導することができた。	現状規模で 継続実施
								実績	8回	7	8	7	7				
								達成度		B	A	A	A				
				学区パトロール回数	学区パトロール回数	1,421回	1,020回	目標値		1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020回	児童生徒の下校時等の安全を確保するため、警察等と連携しながら、パトロール等の安全対策を実施した。不審者出没などの情報が入った場合は通常のパトロールに加えて緊急対応のパトロールを数日間実施した。	現状規模で 継続実施
								実績	1,421回	1,123	1,313	1,395	1,494				
								達成度		A	A	A	A				
																</	

【No. 32 再掲】

(4)サービスの質の確保 ①福祉に係る相談体制の充実								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等	
地域福祉課			【71】 ながうら・ひらかわ健康福祉支援室運営事業	身近な地域での保健福祉に関する相談窓口としての健康福祉支援室について、地域包括支援センターを含めた運営体制の検討・見直しを図り、より良い体制を目指します。	運営体制の検討	検討	見直し	目標値		検討	検討	検討	設置・運営	終了	見直し	地域包括支援センターを含めた運営体制の検討・見直しを行った。 令和5年6月に「長浦地区地域包括支援センター」を開設し、令和5年10月に、「平川地区地域包括支援センター」を開設した。両センターの運営は、民間事業者が業務委託により行っている。	完了	
	実績	検討						検討	検討	設置・運営								
	達成度							A	A	A	A							
地域福祉課			【72】 生活困窮者自立支援事業	生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について相談に応じ、必要な情報提供及び助言をし、関係機関との連絡調整を行うとともに、様々な支援を行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ります。	情報発信、チラシ等の作成と配布	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	市ホームページへの掲載やリーフレットを作成し窓口等で配布するなど、啓発活動を実施した。	現状規模で継続実施	
	実績	1回						1	1	1	1							
	達成度							A	A	A	A							
障がい者支援課			【73】 相談支援事業	障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、相談窓口により障がい者や障がいの者の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な支援を行います。	障害者相談支援事業相談件数	768件	1,008件	目標値		1,008	1,008	1,008	1,170	1,210	1,008件	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は利用実績が減少したものの、相談件数は増加傾向となっている。今後も継続して相談体制を維持し、実施していく。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度目標値を1,250件に設定	
	実績	768件						509	1,130	1,338	1,620							
	達成度							E	A	A	A							
		発達障害児等療育支援事業申請件数			79件	103件	目標値		103	103	103	103	103	103件	申請件数は、年度によって若干の増減はあるが、利用は増加傾向にある。今後も支援を継続し実施していく。	現状規模で継続実施		
							実績	79件	138	144	116	147						
							達成度		A	A	A	A						
【複数課】 子育て支援課 健康推進課			【74】 子育て世代包括支援事業	子育て世代の市民が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行います。	センター周知回数	3回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3回	市ホームページに掲載し周知するほか、妊娠届の提出時や、出産届時の面談や関係機関への定期訪問時（年3回）にあわせ、リーフレットを配布し子育て世代総合サポートセンターを周知してきた。令和6年度は母子保健・児童福祉機能を維持した上で体制等を整備し、こども家庭センターへ移行する。	現状規模で継続実施	
	実績	3回						3	3	3	3							
	達成度							A	A	A	A							
保育幼稚園課	再掲		【75】 地域子育て支援拠点事業	自宅で保育する子育て中の保護者と児童が気軽に利用できる場を設け、親子同士交流を図ります。 また、専門職による相談業務を行い、子育てに関する悩みや不安を解消します。 子育てに関する情報提供や各種イベント・講座を実施し、児童の健全な育成を支援する地域の拠点としていきます。	子育て支援センター延べ利用者数	29,494人	32,000人	目標値		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	32,000人	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、施設の利用制限が緩和されたことで利用者数が増加した。 なお、企画政策課所管の第2期実施計画では、令和5～7年度末の目標値の見直しを行っている。 （R5末：14,000人、R6末：16,000人、R7末：19,000人）	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を19,000人に設定	
								実績	29,494人	11,021	12,984	14,938	17,701					
								達成度		E	E	E	C					
						子育て支援センター設置箇所数	6箇所	7箇所	目標値		6	6	6	6	6	7箇所	設置数については増減なし。今後、平川地区の幼保連携に併せて子育て支援センターの設置を検討していく。	現状規模で継続実施
									実績	6箇所	6	6	6	6				
									達成度		A	A	A	A				

(4)サービスの質の確保 ②福祉に関する相談員の派遣								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
介護保険課			【76】 介護相談員派遣等事業	新規で要介護認定を受けた人や施設利用者を介護相談員が訪問し、介護サービスの利用に関する相談等に応じます。 また、相談等の内容を介護サービスの改善に反映させ、介護サービスの質の向上に努めます。	在宅相談訪問件数 ※12…新規の要介護認定数、施設入居者数が年度によりばらつきがあることを考慮	555件	480件 ※12	目標値		480	480	480	480	300	480件 ※12	新規に要介護認定を受けた人を中心に、必要に応じて、相談員が自宅に訪問し、介護サービス等の周知・相談に応じた。	現状規模で継続実施 ※高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画において令和6年度から在宅と施設利用者訪問件数を合わせて600件とする見直しをおこなっている。
								実績	555件	404	486	336	336				
								達成度		E	A	C	C				
					施設利用者相談訪問件数 ※12…新規の要介護認定数、施設入居者数が年度によりばらつきがあることを考慮	430件	420件	目標値		720	420	420	420	300	420件 ※12	相談員が施設に訪問し、利用者から聞き取った要望等を、必要に応じ施設へ伝えサービスの質の向上を図った。 新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、以前から訪問していたすべての施設への訪問が再開し、訪問件数が前年度に比べ増加した。	現状規模で継続実施 ※高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画において令和6年度から在宅と施設利用者訪問件数を合わせて600件とする見直しをおこなっている。
								実績	430件	12	0	62	346				
								達成度		E	E	E	B				

(4)サービスの質の確保 ③福祉サービス情報の公表や第三者評価等の普及・啓発								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
【複数課】 障がい者支援課 介護保険課 子育て支援課			【77】 福祉サービス 情報の公表や 第三者評価等 の普及・啓発	事業者等がサービスの質を高め、市民に良質かつ適正なサービスを提供する一方で、利用者が適正にサービスを選択できるよう、事業所や千葉県の指定する機関等が公表する福祉サービス情報や第三者評価の内容について周知されるよう普及・啓発します。	福祉サービス情報の 公表や第三者評価 等の普及・啓発	必要に応 じて実施	必要に応 じて実施	目標値		1	1	1	1	1	必要に応 じて実施	サービス情報や第三者評価の内容が公表される「介護サービス情報公表システム」について事業者に対し、情報公表制度等の周知を行い、普及・啓発等を行った。 保育所や小規模保育事業所等の指導監査時（原則として年に1回）に利用者アンケートを含む第三者評価の実施状況・公表状況の確認を行い、未実施の事業者に対して指導を行った。	現状規模で 継続実施
								実 績	必要に応 じて実施								
								障がい者		0	0	0	0				
								介護		1	1	1	1				
								子育て		1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				

(5)生活困窮者の自立支援 ①生活困窮者の自立支援								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課	再掲		【78】 生活困窮者自立支援事業	生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について相談に応じ、必要な情報提供及び助言をし、関係機関との連絡調整を行うとともに、様々な支援を行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図ります。	情報発信、チラシ等の作成と配布	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1	市ホームページへの掲載やリーフレットを作成し窓口等で配布するなど、啓発活動を実施した。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				
地域福祉課			【79】 学習支援事業	子どもが将来自立した生活が出来るよう、学習機会及び居場所を提供し、学習習慣や日常生活習慣の形成、社会性の育成等を図ります。	制度の利用者数	20人	30人	目標値		25	30	30	30	30	30人	※目標値は第1期実施計画の値。令和5年度にリーフレットを改訂。児童扶養手当世帯、準要保護世帯へ周知を図り、利用者増につながっている。	現状規模で継続実施
								実績	20人	13	14	14	28				
								達成度		E	E	E	B				
地域福祉課	再掲	新規	【80】 地域福祉活動団体支援事業	地域コミュニティの形成を目的として、主に、子ども食堂や学習支援事業など、貧困家庭やひとり親家庭の子ども及び保護者への支援活動を行う団体を支援します。	子ども食堂・学習支援事業開催箇所	1箇所	4箇所	目標値		1	1	2	2	3	4箇所	学習支援事業については、1箇所において実施し、子ども食堂については、2団体(箇所)に活動費を助成した。令和6年度については、1団体増の3団体分の予算を見込んでいる。	規模を拡大して実施
								実績	1箇所	1	1	2	3				
								達成度		A	A	A	A				
社会福祉協議会			【81】 生活福祉資金貸付	低所得世帯、障がい者世帯などで、経済的な困窮により経済的支援が必要な方に対して、生活福祉資金の貸付窓口となり、生活の安定に必要な資金の貸付を行います。	制度の周知(広報紙掲載回数)	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	経済的支援が必要な世帯対して、安定した生活を営むことができるよう自立に向けた支援を実施した。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				

(6)権利擁護の推進 ①成年後見制度利用支援事業の普及啓発								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等	
【複数課】 地域福祉課 障がい者支援課 高齢者支援課 社会福祉協議会			【82】 成年後見制度 利用促進事業	成年後見制度について普及啓発を図るとともに、袖ヶ浦市地域包括支援センター、基幹相談支援センター「えがお袖ヶ浦」及び袖ヶ浦市社会福祉協議会における個別相談等を通し、制度の利用を促進します。 制度の利用が必要な高齢者・障がい者で申立てを行う親族がいない場合などに市長が申立てを行い、必要に応じて後見人等への報酬費用を助成します。また、親族等による申立てについても、必要に応じて申立て費用や後見人等への報酬を助成します。	中核機関の設置・運営	検討	設置・運営	目標値		検討	検討	設置・運営	設置・運営	設置・運営	設置・運営	成年後見制度利用促進体制整備推進事業として検討を重ね、令和4年度に市と袖ヶ浦市社会福祉協議会に中核機関を設置し、継続的に運営を行った。	規模を拡大して実施	
								実績	検討	検討	設置・運営	設置・運営						
								達成度		A	A	A	A					
						成年後見制度に関する普及のための周知回数	2回	2回	目標値		2	2	2	4	4	2回	中核機関設置までは、高齢者支援課及び障がい者支援課において周知を行っていたが、中核機関設置後は、加えて地域福祉課及び袖ヶ浦市社会福祉協議会において周知を行った。今後も継続的に周知を実施していく。	現状規模で継続実施
									実績	2回	2	2	4	4				
									達成度		A	A	A	A				

(6)権利擁護の推進 ②日常生活自立支援事業の普及啓発									年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
社会福祉協議会			【83】 日常生活自立支援事業	高齢者や障がいのある方が地域で安心して日常の生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービス等の利用援助を行います。	制度の周知回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1	1回	社協だよりに年1回掲載し、成年後見制度出前説明会（R5：10回）において説明を行った。今後も継続的に実施していく。	現状の規模で継続実施
	実績	1回						1	1	1	1							
	達成度							A	A	A	A							

(6)権利擁護の推進 ③虐待防止対策の推進									年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
障がい者支援課			【84】 障がい者虐待防止対策支援事業	高齢者虐待の防止や早期発見に努め、虐待事例に対しては対象者を一時保護し、適切な支援を行います。	相談・通報・届出受理件数	3件	3件	目標値		3	3	3	3	3	3	3件	虐待に対する相談や通報は、増加傾向にあり、各事案に対し適切に対応した。	現状規模で継続実施
								実績	3件	3	2	5	8					
								達成度		A	C	A	A					
高齢者支援課			【85】 高齢者虐待防止事業	高齢者虐待の防止に向けて地域住民や関係機関への普及啓発を行うとともに、虐待に至る可能性のあるハイリスク家庭を早期に把握し、適切な対応を行います。また、虐待発生時には、対象者の保護や養護者の適切な支援を行います。	高齢者虐待防止に関する周知回数	2回	2回	目標値		2	2	2	2	2	2	2回	介護施設、地区民生委員協議会において、地域包括支援センターの権利擁護業務として高齢者虐待の防止と対応について講義を通し啓発を行った。	現状規模で継続実施
								実績	2回	2	2	2	2					
								達成度		A	A	A	A					
				高齢者虐待に関する研修への職員の受講回数	2回	2回	2回	目標値		2	2	2	2	2	2	2回	千葉県高齢者虐待防止対策研修（専門研修）を受講し、虐待発生時における適切な対応方法について学び、業務に生かすことができた。	現状規模で継続実施
								実績	2回	0	2	5	5					
								達成度		D	A	A	A					
子育て支援課			【86】 虐待防止対策の推進	リーフレット等を作成し、虐待防止の啓発活動を行います。また、袖ヶ浦市要保護児童対策地域協議会を定期的かつ状況に応じ随時開催し、各関係機関と連携の充実を図り虐待の未然防止や早期発見、早期対応を行います。	袖ヶ浦市要保護児童対策地域協議会実務者会議開催回数	12回	12回	目標値		12	12	12	12	12	12	12回	児童虐待通告ケースについて、毎月、児童相談所や警察、医療機関等の関係機関における実務担当者レベルでの会議を開催し、ケースの進捗管理をすることで、重篤化の防止を図った。	現状規模で継続実施
								実績	12回	12	12	12	12					
								達成度		A	A	A	A					
				センター周知回数	3回	3回	3回	目標値		3	3	3	3	3	3	3回	市ホームページに掲載し周知するほか、妊娠届の提出時や、出産届時の面談や関係機関への定期訪問時（年3回）にあわせ、リーフレットを配布し子育て世代総合サポートセンターを周知してきた。令和6年度は母子保健・児童福祉機能を維持した上で体制等を整備し、こども家庭センターへ移行する。	現状規模で継続実施
								実績	3回	3	3	3	3					
								達成度		A	A	A	A					

(6)権利擁護の推進 ④人権意識の啓発									年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
市民協働推進課			【87】 人権擁護事業	人権について理解を深め、意識の高揚を図るため、小中学生を対象とした人権教室や広く市民を対象とした啓発活動を実施します。また、人権に関するトラブルや問題の解決に向け、相談体制の充実に努めます。	差別があると感じる市民の割合	39.6%	30%	目標値		38	36	33	30	30	30	30%	人権相談を実施し、相談者が抱える心配ごとの解決に努めるとともに、人権教室等を小中学校で実施し、若い世代における人権意識の高揚を図った。人権侵害のない、全ての人々の人権が尊重される社会のため、啓発活動等の事業を継続して行う。	現状規模で継続実施
								実績	39.60%	39.2	37.6	43.6	39.8					
								達成度		B	B	C	C					
市民協働推進課			【88】 男女共同参画推進事業	男女が共に個性や能力を生かし、自らの選択によって参画できる社会を実現するため、男女共同参画の意識づくりに向けた啓発事業を展開します。	男女が平等だと思う市民の割合	49.5%	55%	目標値		50	51	53	55	55	55	55%	男女共同参画セミナーや中学校での出前講座を実施し、市民や若い世代に対する意識啓発を行うとともに、毎年度情報紙を発行し、男女共同参画に関する情報発信を行った。また、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を創設し、性的少数者の方々等が持つ「生きづらさ」を緩和する環境を整えた。今後も、男女共同参画社会の実現に向けて、事業を継続して行う。	現状規模で継続実施
								実績	49.50%	49.7	50.1	47.2	49.4					
								達成度		B	B	B	B					

(6)権利擁護の推進 ⑤消費者保護対策の推進及び消費者意識の向上									年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
商工観光課			【89】 消費生活相談・消費者意識啓発事業	消費者の利益を保護するため、相談業務を実施するとともに、消費者教室や消費生活相談員による出前講座を開催し、啓発を行います。	消費生活センター開設日数	243日	244日	目標値		244	243	244	243	244	244	244日	計画どおり相談窓口業務を実施した。今後も継続的に実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	243日	243	242	241	243					
								達成度		B	B	B	A					
				出前講座・消費者教室の開催回数	7回	10回	10回	目標値		8	9	10	10	10	10	10回	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、消費者教室や出前講座を開催し、消費生活に関する知識の向上と啓発を行った。目標値を達成するよう事業の啓発を積極的に行い、多くの方に参加いただけるような取り組みを継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	7回	2	4	3	7					
								達成度		E	E	E	C					

【目標5】 地域福祉推進への支援

施 策	展開する施策	事業数	指標数	事業の評価結果															施策・事業の取組状況		
				【令和3年度】					【令和4年度】					【令和5年度】							
				A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E			
(1) 地区社会福祉協議会活動への協力、支援	① 地区社会福祉協議会活動への協力、支援	2	2	2						2						2					資料1ー1 14ページに記載
(2) 地域活動団体等の協働の体制づくり	①地域活動団体等の協働に向けた支援	4	7	1	1			5	2	2			3	2	2	1	1	1			
C (62%)	小 計	6	9	3	1			5	4	2			3	4	2	1	1	1			
				(5.6)					(4.0)					(1.6)							

目標5 地域福祉推進への支援

【注意 R2～R6 目標値は、事業評価をするための暫定数値となります】

所管課等	再掲	新規	事業名	事業内容	取組	現状値 (H30 年度末)	目標値 (R7 年度末)	目標値等の推移								令和5年度	
(1)地区社会福祉協議会活動への協力、支援 ①地区社会福祉協議会活動への協力、支援								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課	再掲		【90】 地区社会福祉協議会運営事業の支援	地区社会福祉協議会に対し、身近な地域の特性に合わせた活動の実施や交流の場づくりなどを支援し、地域の住民同士のつながりをつくることで、地域福祉を推進します。 【No. 21 再掲】	各地区社協の広報紙の自治会回覧(各地区ごと)	1回	1回以上	目標値		1	1	1	1	1	1回以上	各地区社協が作成した広報紙を回覧するため自治会所管課と協議を行い、自治会へ回覧を行った。	現状規模で継続実施
								実績	1回	3	4	6	3				
								達成度		A	A	A	A				
社会福祉協議会			【91】 地区社会福祉協議会活動の充実	地域福祉を地域住民主体で推進するため、6つの地区社会福祉協議会(昭和地区、長浦地区、蔵波地区、根形地区、平岡地区、中川・富岡地区)を設置し、活動の充実に努めています。	各地区社協の広報紙発行(各地区ごと)	1回	1回以上	目標値		1	1	1	1	1	1回以上	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったことに伴い、各地区事業が従来通り実施されている。啓発活動や参加者の増加に繋がる取り組みを継続して実施する。	現状規模で継続実施
								実績	1回	1	1	1	1				
								達成度		A	A	A	A				

(2)地域活動団体等の協働の体制づくり ①地域活動団体等の協働に向けた支援								年度	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R7	事業の展開状況・課題・改善事項等	今後の方向性等
地域福祉課			【92】 地域福祉推進地区懇談会の設置	地区社会福祉協議会や地域で活動している各種団体の協働が促進され、地区内での助け合いを進める仕組みづくりに結び付けられるよう、地域福祉推進地区懇談会を開催し、相互に連携・情報共有できるようにします。	地域福祉推進地区懇談会の開催回数	1回	1回	目標値		1	1	1	1	1	1回	新型コロナウイルス感染症が、5類感染症になったが、懇談会を開催することができず、未開催となりました。令和6年度は、懇親会の開催できるよう準備を進めていく。	現状規模で継続実施
								実績	1回	0	0	0	0				
								達成度		E	E	E	E				
高齢者支援課	再掲		【93】 生活支援体制整備事業	担い手の育成やサービスの創出につながるよう普及啓発を行います。 住民主体の支援活動団体間の連携づくりに努めます。	住民主体の支援活動団体数	4団体	8団体	目標値		5	6	6	8	8	8団体	自治会やシニアクラブ、百歳体操等の自主グループ等、住民団体への働きかけにより、新規団体が発足したことに加え、既存の活動団体への相談対応により、運営の継続を支援した。	現状規模で継続実施 ※第2期実施計画 R7年度 目標値を10団体に設定
								実績	4団体	7	8	10	11				
								達成度		A	A	A	A				
					担い手養成研修開催回数	0回	12回	目標値		9	12	12	12	12	12回	担い手養成講座受講者の募集を社協だよりやチラシ配布により行ったが、新規の応募がなかったため、地区社協の実施するサロンでの事業説明等を行った。	現状規模で継続実施
								実績	0回	8	3	2	3				
								達成度		E	E	E	D				
【複数課】 生涯学習課 市民会館・公民館			【94】 青少年育成地区住民会議への支援	身近な地域で青少年の健全育成に取り組むため、子ども会、PTA、自治会、青少年相談員、小中学校など青少年健全育成団体で組織された市内5地区の地区住民会議を支援します。 ・世代間交流事業(昭和地区住民会議) ・通学合宿(長浦及び平岡地区住民会議) ・デイキャンプ(根形及び中富地区住民会議) ・子ども安全パトロール(全地区住民会議)	子どもパトロール登録者	822人	900人	目標値		900	900	900	900	900	900人	青少年健全育成推進大会を実施した際に啓発活動を行ったが、令和5年度の登録者数は、前年度対比で4人増の845人でした。今後は登録者数の増加につながる方法等について検討していく。	現状規模で継続実施
								実績	822人	845	835	841	845				
								達成度		B	B	B	B				
					愛のパトロール回数	24回	25回	目標値		25	25	25	25	25	25回	雨天等により実施できないことがあり、令和4年度の実績数と同回数となった。今後も継続的に愛のパトロールを実施出来るよう計画していく。	現状規模で継続実施
								実績	24回	14	17	21	21				
								達成度		E	E	B	B				
スポーツ振興課			【95】 総合型地域スポーツクラブ活性化事業	スポーツ、レクリエーション等の活動を通して、地域の子どもから高齢者まで共に活動できる市内5地区の総合型地域スポーツクラブの活性化を図り、地域住民の交流促進を目指します。 ・5地区の連携を目的とした連絡協議会の運営 ・スポーツイベントの実施(スポーツ教室、交流大会、ウォーキングフェスタ) ・クラブマネージャーの育成	クラブ会員数(5クラブの総合計)	1,296人	1,540人	目標値		1,340	1,380	1,420	1,460	1,500	1,540人	各クラブ会員の高齢化が進み、離脱者が増えている一方、会員外でも参加できるイベントを複数企画した結果、子どもの参加者の累計数は500人を超え、子どもの会員数の増加の一助となった。今後も会員数の増加に向け、広報活動を継続して実施していく。	現状規模で継続実施
								実績	1,296人	968	922	870	879				
								達成度		E	E	E	C				
					PR活動回数	5回	5回	目標値		5	5	5	5	5	5回	若い世代に総合型地域スポーツクラブの認知を広げるために、総合型地域スポーツクラブ主催で小中学校のポッチャ体験会を実施していく。今後も幼児から中学生の参加できるイベントを継続的に実施し、広報活動を充実させていく。	現状規模で継続実施
								実績	5回	0	2	9	8				
								達成度		E	E	A	A				

袖ヶ浦市地域福祉活動計画（第4期）【抜粋】

基本理念

「市民誰もが活躍し、それぞれの地域でその人らしい
安心で充実した生活をおくれるまちづくり」

基本目標

施策

主な事業

1 広報、啓発活動の充実

(1) 多様な情報の発信

- 社協だより事業
- ホームページ事業
- 【新】SNS等情報発信事業
- 声の広報事業

(2) 福祉への理解促進

- (再掲) 社協だより事業
- (再掲) ホームページ事業
- 地域福祉フェスタ事業
- 地域福祉標語事業
- 福祉教育推進事業
- ボランティア養成事業

2 地域活動の活性化

(1) 担い手の育成

- ボランティアセンター事業
- (再掲) ボランティア養成事業
- 【新】生活支援体制整備事業

(2) 地域活動の促進

- 地区社会福祉協議会事業
- (再掲) ボランティアセンター事業
- (再掲) 【新】生活支援体制整備事業

(3) 地域活動団体の連携・協働の推進

- 各種団体事務局（民協、シニア、遺族、V連）
- 団体助成事業（当事者団体）
- 【新】社会福祉施設等連絡協議会との協働
- (再掲) 地区社会福祉協議会事業

(4) 非常時の活動

- 災害ボランティアセンター事業
- 【新】災害対策コーディネーターとの連携事業

3 生活課題にこえる支援の充実

(1) 相談機能の充実

- 心配ごと相談事業
- 関係機関と連携した相談

(2) 権利擁護の推進

- 日常生活自立支援事業
- 【新】成年後見支援事業

(3) 支援体制の充実

- サロン事業（地区社会福祉協議会事業）
- 貸付事業
- 歳末たすけあい事業
- 移送サービス事業
- (再掲) 【新】生活支援体制整備事業
- 【新】フードバンク事業の協力
- 【新】居場所づくり活動支援事業

年度別比較表

◆ 全体

年度評価	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
A	2	1	4	4		
B	4	8	5	5		
C	3	0	0	0		
D	0	0	0	0		
E	0	0	0	0		
合 計	9	9	9	9		

◇ 基本目標1 広報、啓発活動の充実

年度評価	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
A	0	0	1	1		
B	1	2	1	1		
C	1	0	0	0		
D	0	0	0	0		
E	0	0	0	0		
合 計	2	2	2	2		

◇ 基本目標2 地域活動の活性化

年度評価	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
A	1	0	2	2		
B	2	4	2	2		
C	1	0	0	0		
D	0	0	0	0		
E	0	0	0	0		
合 計	4	4	4	4		

◇ 基本目標3 生活課題に応える支援の充実

年度評価	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
A	1	1	1	1		
B	1	2	2	2		
C	1	0	0	0		
D	0	0	0	0		
E	0	0	0	0		
合 計	3	3	3	3		

袖ヶ浦市地域福祉活動計画（第4期）令和5年度事業報告

地域福祉活動計画は、社会福祉法第109条において「地域福祉の推進を図る団体」として位置づけられた袖ヶ浦市社会福祉協議会が、住民や地域の社会福祉関係者などと相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした行動計画です。

また、社会福祉法第107条の規定により袖ヶ浦市が策定した袖ヶ浦市地域福祉計画と連携・協働を図っており、「市民誰もが活躍し、それぞれの地域でその人らしい安心で充実した生活をおくるまちづくり」を基本理念として、3つの基本目標で構成されています。

地域福祉活動計画の進捗状況の内部年度評価は下記のとおりとなっており、Aが44.4%、Bが55.6%となり、新型コロナウイルス感染の影響が残り、感染拡大前（令和元年度）の水準までボランティア活動をはじめとした地域活動は回復していませんが、計画はほぼ順調に進行できています。

また、各基本目標別では、「基本目標1 広報、啓発活動の充実」ではAが50.0%Bが50.0%、「基本目標2 地域活動の活性化」ではAが50.0%Bが50.0%、「基本目標3 生活課題に応える支援の充実」ではAが33.3%、Bが66.7%となっています。

進捗状況

◆全体

内部評価	基準	説明	施策数	割合
A	計画どおり	計画どおりに進行し、計画どおりの結果（成果）があった。	4	44.4%
B	概ね計画どおり	計画どおりに進行したが、まだ計画どおりの結果（成果）に至っていない。	5	55.6%
C	一部遅延	一部遅延があるが進行した。【事業実施が5割～8割程度】	0	0.0%
D	遅延	遅延があるが進行した。【事業実施が5割に満たない】	0	0.0%
E	未実施	実施しなかった。または計画を変更した。	0	0.0%
合計			9	100.0%

◇基本目標1 広報、啓発活動の充実

内部評価	基準	説明	施策数	割合
A	計画どおり	計画どおりに進行し、計画どおりの結果（成果）があった。	1	50.0%
B	概ね計画どおり	計画どおりに進行したが、まだ計画どおりの結果（成果）に至っていない。	1	50.0%
C	一部遅延	一部遅延があるが進行した。【事業実施が5割～8割程度】	0	0.0%
D	遅延	遅延があるが進行した。【事業実施が5割に満たない】	0	0.0%
E	未実施	実施しなかった。または計画を変更した。	0	0.0%
合計			2	100.0%

◇基本目標 2 地域活動の活性化

内部評価	基 準	説 明	施策数	割 合
A	計画どおり	計画どおりに進行し、計画どおりの結果（成果）があった。	2	50.0%
B	概ね計画どおり	計画どおりに進行したが、まだ計画どおりの結果（成果）に至っていない。	2	50.0%
C	一部遅延	一部遅延があるが進行した。【事業実施が5割～8割程度】	0	0.0%
D	遅延	遅延があるが進行した。【事業実施が5割に満たない】	0	0.0%
E	未実施	実施しなかった。または計画を変更した。	0	0.0%
合 計			4	100.0%

◇基本目標 3 生活課題に応える支援の充実

内部評価	基 準	説 明	施策数	割 合
A	計画どおり	計画どおりに進行し、計画どおりの結果（成果）があった。	1	33.3%
B	概ね計画どおり	計画どおりに進行したが、まだ計画どおりの結果（成果）に至っていない。	2	66.7%
C	一部遅延	一部遅延があるが進行した。【事業実施が5割～8割程度】	0	0.0%
D	遅延	遅延があるが進行した。【事業実施が5割に満たない】	0	0.0%
E	未実施	実施しなかった。または計画を変更した。	0	0.0%
合 計			3	100.0%

袖ヶ浦市地域福祉活動計画（第4期）進行管理表【令和5年度決算】

基本目標1 広報、啓発活動の充実

施策1 多様な情報の発信

施策の目的と概要	「社協（地域福祉）の認知（理解）度が低い」ことから広報活動を行い認知（理解）度の向上を図ります。 その中心となる事業は社協だより事業やホームページ事業となりますが、多様な情報発信をするため、SNSやタウン誌、コミュニティーFMなどの新たな媒体の検討をするとともに、従前からの声の広報事業や会員募集の際に自治会加入世帯に毎戸回覧しているチラシなども活用して情報の発信に努めます。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社協だより事業	継続 実施					
	（概要） 社協だよりを年12回発行し、福祉意識の醸成と社協の認知度向上を図ります。 （継続） 年1回新規事業等を取り上げる特集号を発行し福祉意識の浸透と制度の理解促進を図ります。					
ホームページ事業	継続 実施					
	（概要） ホームページを作成し、福祉意識の醸成と社協の認知度向上を図ります。 （継続） 随時ホームページを更新し、情報を発信します。より見やすいホームページにするための見直しを検討します。					
【新】SNS等情報発信事業	検討		SNS の運用			
	（概要） SNSやタウン誌、コミュニティーFMなど、情報の受け手の特性に合わせた情報発信を行い、福祉意識の醸成と社協の認知度向上を図ります。 （令和4年度） SNSの運用を開始します。					

				最終評価	
取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
社会福祉協議会の認知度		23.1%		27.3%	
年度評価					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
B	B	A	A		

事業実績					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社協だよりを年12回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行した。	社協だよりを年12回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行した。 市広報そでがうらが1月から15日号を廃止したことに伴い発行回数について検討した。	毎月発行していた社協だよりの発行を偶数月の1日に変更して年6回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行するとともにSNSでの情報発信を強化した。	社協だよりを年6回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行したり、ホームページやX（旧Twitter）での情報発信を強化した。		
ホームページを随時更新し情報発信を行った。	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：44回	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：54回	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：55回		
近隣市社協のSNSの運用状況を調査するなどの検討を進め令和3年度から試験的に運用することとなった。	Twitterを試験運用しホームページの新着情報の更新に併せ発信した。	正式に運用を始めたTwitterやホームページで新着情報を発信するとともにタウン誌（びびなび・房総ファミリア）にも情報を掲載いただいた。	X（旧Twitter）やホームページで新着情報を発信するとともにタウン誌（びびなび・房総ファミリア）にもイベント情報などを掲載いただいた。		

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
声の広報事業	継続 実施					
						
	(概要) ボランティアの協力により、広報紙（社協だより・広報そでがうら等）を音訳し目の不自由な方にCDの貸出しを行い情報の発信に努めます。 (継続) 情報の提供を行うためのボランティアの確保が必要となるため、音訳講座を開催（1回/年）					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
音訳ボランティアグループやまゆりの協力により、広報紙を音訳し目の不自由な方にCDの貸出しを行った。	音訳ボランティアグループやまゆりの協力により、広報紙を音訳し目の不自由な方にCDの貸出しを行った。	音訳ボランティアグループやまゆりの協力により、広報紙を音訳し目の不自由な方にCDの貸出しを行った。	音訳ボランティアグループやまゆりの協力により、広報紙を音訳し目の不自由な方にCDの貸出しを行った。		
音訳講座 開催数 1回 参加者数 7名 音訳ボランティアグループやまゆり会員数 19人	音訳講座 開催数 1回 参加者数 3人 音訳ボランティアグループやまゆり会員数 16人	音訳講座 開催数 1回 参加者数 9人 音訳ボランティアグループやまゆり会員数 20人	音訳講座 開催数 1回 参加者数 5人 音訳ボランティアグループやまゆり会員数 17人		

施策2 福祉への理解促進

施策の目的と概要	「福祉に触れる機会が少ない」ことから、地域福祉フェスタ事業、地域福祉標語事業、福祉教育推進事業、ボランティア養成事業などを通じて、福祉に触れる機会の提供（福祉の心を育むこと）に努めます。					
----------	---	--	--	--	--	--

事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 社協だより事業 (再掲)	継続 実施					
	(概要) 社協だよりを年12回発行し、福祉意識の醸成と社協の認知度向上を図ります。 (継続) 年1回新規事業等を取り上げる特集号を発行し福祉意識の浸透と制度の理解促進を図ります。					
○ ホームページ事業 (再掲)	継続 実施					
	(概要) ホームページを作成し、福祉意識の醸成と社協の認知度向上を図ります。 (継続) 随時ホームページを更新し、情報を発信します。より見やすいホームページにするための見直しを検討します。					
地域福祉フェスタ 事業	継続 実施					
	(概要) 各地区の公民館を使用して、地域の特色を活かしたイベントを企画し、多くの方が地域福祉を身近に感じられる機会を設けます。 (継続) 各団体の協力を得て福祉意識の醸成を図ります。					

最終評価

取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
地域福祉フェスタの開催回数		1回		1回	
福祉教育の実施回数		7回		7回	
ボランティア養成講座の開催回数		2回		3回	
ボランティアリーダー養成講座への参加者数		2人		3人	
年度評価					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
C	B	B	B		

事業実績					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
社協だよりを年12回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行した。	社協だよりを年12回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行した。 市広報そでがうらが1月から15日号を廃止したことに伴い発行回数について検討した。	毎月発行していた社協だよりの発行を偶数月の1日に変更して年6回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行するとともにSNSでの情報発信を強化した。	社協だよりを年6回発行するとともに社会福祉協議会会費を特集した社協だよりを発行したり、ホームページやX(旧Twitter)での情報発信を強化した。		
ホームページを随時更新し情報発信を行った。	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：44回	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：54回	ホームページを随時更新し情報発信を行った。 更新回数：55回		
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、例年と形を変え、記念講演、福祉関係団体等掲示物展示などを通じて市民の福祉意識の醸成を図った。	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、開催時間を短縮し、講演会及び団体発表(2団体)、福祉関係団体等掲示物展示などを通じて市民の福祉意識の醸成を図った。	平川公民館を会場とし開催地区の小中学校や自治会等による発表や各福祉関係団体等によるPRブース出展など多くの人に地域福祉に触れて頂く機会を設けた。		
来場者数 0人 出演者数 0人 合 計 0人	来場者数 268人 出演者数 0人 合 計 268人	来場者数 476人 出演者数 62人 合 計 538人	来場者数 632人 出演者数 156人 合 計 788人		

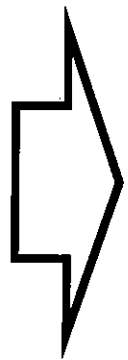
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域福祉標語事業	継続 実施					
	(概要) 市内小学校から福祉標語を募集し、地域福祉フェスタの会場で入賞者を表彰するとともに、広報等を通じて市民の福祉意識の醸成を図ります。 (継続) 月1回社協だよりに入賞者作品を掲載し、福祉意識の醸成を図ります。					
福祉教育推進事業	継続 実施					
	(概要) 多様な生き方を受け入れ、共に生きる力を育むことを目標に、福祉教育を推進します。 (継続) 福祉体験を通じて、福祉意識・福祉活動の理解促進に繋がります。					
ボランティア養成事業	継続 実施					
	(概要) 福祉意識の醸成とボランティアの発掘のため、世代や対象者別等の入門講座を開催します。 ボランティアリーダーの養成のためボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を行います。 (継続) ボランティア講座の開催 ボランティアリーダー養成講座への参加					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新型コロナウイルス感染症の影響で学校のカリキュラムが変更されたことに伴い、事業を中止した。 応募数 0 作	入賞者の作品を表彰するとともに表彰作品を広報紙に掲載することで市民の福祉意識の醸成を図った。 応募数 754 作	入賞者の作品を表彰するとともに表彰作品を広報紙に掲載することで市民の福祉意識の醸成を図った。 応募数 499 作	入賞者の作品を表彰するとともに表彰作品を広報紙に掲載することで市民の福祉意識の醸成を図った。 応募数 612 作		
社協だよりで事業PR及び募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け福祉教育の申込みはなかった。 実施回数 0 回	新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、車椅子体験、アイマスク体験を通じて福祉意識の醸成を図った。 今年度より3年間の福祉教育推進指定を受け、各指定校、団体と連携し、今後の取り組みについて協議し、実施した。各指定校から敬老祝いの手紙をいただき、地区社協にて実施している見守り訪問事業にて地区の高齢者へ配布した。 実施回数 2 回	新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、車椅子体験、アイマスク体験を通じて福祉意識の醸成を図った。 福祉教育推進指定2年目では、1年目同様に手紙の配布や、地区社協主催の敬老会への各指定校に出演いただいた。 実施回数 4 回	車椅子体験、アイマスク体験を通じて福祉の醸成を図った。徐々にではあるが依頼が増加傾向にある。 福祉教育推進指定最終年では、千葉県福祉教育研究大会にて実践発表を行った。福祉教育推進指定終了後も、各指定校、団体が連携し続けていけるよう協議し、実施していけるよう図った。 実施回数 6 回		
ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。 ボランティア交流会開催回数 3回 ボランティア講座開催回数 2回 ボランティアリーダー養成講座への参加者数 2人	ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。 ボランティア交流会開催回数 2回 ボランティア講座開催回数 2回 ボランティアリーダー養成講座への参加者数 3人	ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。 ボランティア交流会開催回数 2回 ボランティア講座開催回数 5回 ボランティアリーダー養成講座への参加者数 3人	ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。 ボランティア交流会開催回数 2回 ボランティア講座開催回数 5回 ボランティアリーダー養成講座への参加者数 2人		

基本目標 2 地域活動の活性化

施策 1 担い手の育成

施策の目的と概要	「ボランティア（地域活動者）が固定化・高齢化」していることから、地域活動をする方（担い手）を増やす必要があります。 コーディネート業務を含めたボランティアセンター事業、ボランティアの発掘などを行うボランティア養成事業、地域の支え合い活動を推進する生活支援体制整備事業などを通じて活動の裾野の拡大やリーダーの養成など、担い手の育成に努めます。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ボランティアセンター事業	継続 実施					
	（概要） ボランティア活動に興味がある方、ボランティアを求めている方などの相談に応じコーディネートするとともにボランティア交流の場を設けボランティア活動を支援します。 （継続） 随時、登録ボランティアへ活動先の紹介を行います。					
ボランティア養成事業（再掲）	継続 実施					
	（概要） 福祉意識の醸成とボランティアの発掘のため、世代や対象者別等の入門講座を開催します。 ボランティアリーダーの養成のためボランティアグループの役員等へ研修会の情報提供及び参加の促進を行います。 （継続） ボランティア講座の開催 ボランティアリーダー養成講座への参加					



			最終評価		
取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
ボランティア登録数		1,372人		1,400人	
ボランティア参加延べ人数		3,085人		3,200人	
ボランティア交流会開催回数		3回		3回	
ボランティア講座の開催回数		2回		3回	
ボランティアリーダー養成講座への参加者数		2人		3人	
住民主体の生活支援活動団体数		4団体		8団体	
生活支援活動担い手養成研修開催回数		0回		12回	
年度評価					
令和2年度		令和3年度		令和4年度	
令和5年度		令和6年度		令和7年度	
B		B		B	

事業実績					
令和2年度		令和3年度		令和4年度	
令和5年度		令和6年度		令和7年度	
ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。		ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。		ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。	
ボランティア登録数 1,396人		ボランティア登録数 1,303人		ボランティア登録数 1,339人	
ボランティア参加延べ人数 974人		ボランティア参加延べ人数 986人		ボランティア参加延べ人数 1,130人	
ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。		ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。		ボランティア講座を通じ、福祉意識の醸成を図った。また、研修会等の情報提供を行った。	
ボランティア交流会開催回数 3回		ボランティア交流会開催回数 2回		ボランティア交流会開催回数 2回	
ボランティア講座開催回数 2回		ボランティア講座開催回数 2回		ボランティア講座開催回数 5回	
ボランティアリーダー養成講座への参加者数 2人		ボランティアリーダー養成講座への参加者数 3人		ボランティアリーダー養成講座への参加者数 3人	

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【新】生活支援体制整備事業	継続 実施					
	(概要) 住民主体の助け合いによる生活支援活動を行う団体に対し、その活動の維持・拡大に対する支援を行うとともに、新しい団体の創出を支援し、地域における支え合いの体制づくりを進めます。 (継続) 第1層及び第2層圏域の生活支援コーディネーターとして、身近な地域の助け合い活動を推進します。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																																		
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から少人数短時間開催や書面開催等感染対策を取り実施した。 地域住民のご協力のもとニーズ調査や資源調査を実施した。 協議体の開催が予定回数を上回った。	今年度より圏域協議体は、市内3圏域から5圏域に細分化して取り組んだ。 講座や勉強会を地域の集会場等で開催したことでスマホ勉強会、移動支援の検討、移動スーパーの誘致等、住民主体の取組みにつながった。 協議体のSNS活用やおたすけ手帳のweb公開など地域活動の促進と支援の充実に図った。	地域の集会場を活用し講座等を開催したことで、より詳細な地域情報が得られた。 各協議体では、得られた情報をもとに困りごとや高齢者の特技を活した活躍の場の創出等に取り組んだ。 協議体のSNSの活用やおたすけ手帳のweb公開が周知され、地域活動の促進と支援の充実につながった。	社会資源を掲載した「おたすけ手帳」を専門職の研修会や地域の集いの場で紹介し、住民主体の取り組みについて周知した。 短期集中予防サービス（サービスC）の卒業後の在宅生活のために地域資源を紹介し、リエイブルメント（再びできるようになる）に取り組んだ。																																																																																				
<table><tr><td>協議体の開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>9回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>4回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>3地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>1回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>2回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	16回	地域ケア会議	9回	啓発活動	4回	アンケート実施	3地区	団体交流会	1回	講座開催	2回	広報掲載	12回					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>15回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>8回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>8地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>43回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>8団体</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	15回	啓発活動	8回	アンケート実施	8地区	団体交流会	2回	講座開催	43回	広報掲載	12回	住民主体の活動団体	8団体					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>22回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>1回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>3回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>3回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>10団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>156件</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	20回	啓発活動	22回	アンケート実施	1回	団体交流会	3回	講座開催	16回	広報掲載	3回	住民主体の活動団体	10団体	ニーズ・地域資源情報	156件					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>8回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>48回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>4回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>11回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>4回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>11団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>253件</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	8回	地域ケア会議	20回	啓発活動	48回	アンケート実施	4回	団体交流会	2回	講座開催	11回	広報掲載	4回	住民主体の活動団体	11団体	ニーズ・地域資源情報	253件						
協議体の開催	16回																																																																																						
地域ケア会議	9回																																																																																						
啓発活動	4回																																																																																						
アンケート実施	3地区																																																																																						
団体交流会	1回																																																																																						
講座開催	2回																																																																																						
広報掲載	12回																																																																																						
協議体の開催	17回																																																																																						
地域ケア会議	15回																																																																																						
啓発活動	8回																																																																																						
アンケート実施	8地区																																																																																						
団体交流会	2回																																																																																						
講座開催	43回																																																																																						
広報掲載	12回																																																																																						
住民主体の活動団体	8団体																																																																																						
協議体の開催	17回																																																																																						
地域ケア会議	20回																																																																																						
啓発活動	22回																																																																																						
アンケート実施	1回																																																																																						
団体交流会	3回																																																																																						
講座開催	16回																																																																																						
広報掲載	3回																																																																																						
住民主体の活動団体	10団体																																																																																						
ニーズ・地域資源情報	156件																																																																																						
協議体の開催	8回																																																																																						
地域ケア会議	20回																																																																																						
啓発活動	48回																																																																																						
アンケート実施	4回																																																																																						
団体交流会	2回																																																																																						
講座開催	11回																																																																																						
広報掲載	4回																																																																																						
住民主体の活動団体	11団体																																																																																						
ニーズ・地域資源情報	253件																																																																																						

施策2 地域活動の促進

施策の目的と概要	「地域ごとの特性に合わせ、地域の住民を中心とした活動が広く行われること」を目指し、地区社会福祉協議会事業や生活支援体制整備事業などの地域活動を促進できるよう支援に努めます。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地区社会福祉協議会事業	継続					
	実施					
	(概要) 各地域の状況、地域性をもとに、地域に必要な地域福祉活動を展開します。 (継続) 地域の様々な団体、地域住民等と協力し、地域福祉活動の促進を図ります。					
ボランティアセンター事業（再掲）	継続					
	実施					
	(概要) ボランティア活動に興味がある方、ボランティアを求めている方などの相談に応じコーディネートするとともにボランティア交流の場を設けボランティア活動を支援します。 (継続) 随時、登録ボランティアへ活動先の紹介を行います。					



				最終評価	
取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
ボランティア登録数		1,372人		1,400人	
ボランティア参加延べ人数		3,085人		3,200人	
ボランティア交流会開催回数		3回		3回	
住民主体の生活支援活動団体数		4団体		8団体	
生活支援活動担い手養成研修開催回数		0回		12回	
年度評価					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
B	B	B	B		

事業実績																					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から6地区社協において、対策を講じ、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から6地区社協において、対策を講じ、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	コロナ感染拡大防止の観点から昨年度まで実施を見合わせていた敬老会やバスハイクなど、新型コロナウイルス感染予防対策を講じ実施したとともに、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	新型コロナウイルス感染症が第5類移行後も引き続き予防対策を講じ、6地区社協において、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。																		
ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。	ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。	ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。	ボランティアに関する相談に応じ、コーディネートを行った。																		
<table><tr><td>ボランティア登録数</td><td>1,396人</td></tr><tr><td>ボランティア参加延べ人数</td><td>974人</td></tr></table>	ボランティア登録数	1,396人	ボランティア参加延べ人数	974人	<table><tr><td>ボランティア登録数</td><td>1,303人</td></tr><tr><td>ボランティア参加延べ人数</td><td>986人</td></tr></table>	ボランティア登録数	1,303人	ボランティア参加延べ人数	986人	<table><tr><td>ボランティア登録数</td><td>1,339人</td></tr><tr><td>ボランティア参加延べ人数</td><td>1,130人</td></tr></table>	ボランティア登録数	1,339人	ボランティア参加延べ人数	1,130人	<table><tr><td>ボランティア登録数</td><td>1,337人</td></tr><tr><td>ボランティア参加延べ人数</td><td>1,818人</td></tr></table>	ボランティア登録数	1,337人	ボランティア参加延べ人数	1,818人		
ボランティア登録数	1,396人																				
ボランティア参加延べ人数	974人																				
ボランティア登録数	1,303人																				
ボランティア参加延べ人数	986人																				
ボランティア登録数	1,339人																				
ボランティア参加延べ人数	1,130人																				
ボランティア登録数	1,337人																				
ボランティア参加延べ人数	1,818人																				

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【新】生活支援体制整備事業（再掲）	継続 実施					
	（概要） 住民主体の助け合いによる生活支援活動を行う団体に対し、その活動の維持・拡大に対する支援を行うとともに、新しい団体の創出を支援し、地域における支え合いの体制づくりを進めます。 （継続） 第1層及び第2層圏域の生活支援コーディネーターとして、身近な地域の助け合い活動を推進します。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																										
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から少人数短時間開催や書面開催等感染対策を取り実施した。 地域住民のご協力のもとニーズ調査や資源調査を実施した。 協議体の開催が予定回数を上回った。	今年度より圏域協議体は、市内3圏域から5圏域に細分化して取り組んだ。 講座や勉強会を地域の集会場等で開催したことでスマホ勉強会、移動支援の検討、移動スーパーの誘致等、住民主体の取り組みにつながった。 協議体のSNS活用やおたすけ手帳のweb公開など地域活動の促進と支援の充実に図った。	地域の集会場を活用し講座等を開催したことで、より詳細な地域情報が得られた。 各協議体では、得られた情報をもとに困りごとや高齢者の特技を活した活躍の場の創出等に取り組んだ。 協議体のSNSの活用やおたすけ手帳のweb公開が周知され、地域活動の促進と支援の充実に繋がった。	社会資源を掲載した「おたすけ手帳」を専門職の研修会や地域の集いの場で紹介し、住民主体の取り組みについて周知した。 短期集中予防サービス（サービスC）の卒業後の在宅生活のために地域資源を紹介し、リエイブルメント（再びできるようになる）に取り組んだ。																																																																												
<table><tr><td>協議体の開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>9回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>4回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>3地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>1回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>2回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	16回	地域ケア会議	9回	啓発活動	4回	アンケート実施	3地区	団体交流会	1回	講座開催	2回	広報掲載	12回					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>15回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>8回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>8地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>43回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>8団体</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	15回	啓発活動	8回	アンケート実施	8地区	団体交流会	2回	講座開催	43回	広報掲載	12回	住民主体の活動団体	8団体					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>22回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>1回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>3回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>3回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>10団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>156件</td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	20回	啓発活動	22回	アンケート実施	1回	団体交流会	3回	講座開催	16回	広報掲載	3回	住民主体の活動団体	10団体	ニーズ・地域資源情報	156件	<table><tr><td>協議体の開催</td><td>8回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>48回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>4回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>11回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>4回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>11団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>253件</td></tr></table>	協議体の開催	8回	地域ケア会議	20回	啓発活動	48回	アンケート実施	4回	団体交流会	2回	講座開催	11回	広報掲載	4回	住民主体の活動団体	11団体	ニーズ・地域資源情報	253件		
協議体の開催	16回																																																																														
地域ケア会議	9回																																																																														
啓発活動	4回																																																																														
アンケート実施	3地区																																																																														
団体交流会	1回																																																																														
講座開催	2回																																																																														
広報掲載	12回																																																																														
協議体の開催	17回																																																																														
地域ケア会議	15回																																																																														
啓発活動	8回																																																																														
アンケート実施	8地区																																																																														
団体交流会	2回																																																																														
講座開催	43回																																																																														
広報掲載	12回																																																																														
住民主体の活動団体	8団体																																																																														
協議体の開催	17回																																																																														
地域ケア会議	20回																																																																														
啓発活動	22回																																																																														
アンケート実施	1回																																																																														
団体交流会	3回																																																																														
講座開催	16回																																																																														
広報掲載	3回																																																																														
住民主体の活動団体	10団体																																																																														
ニーズ・地域資源情報	156件																																																																														
協議体の開催	8回																																																																														
地域ケア会議	20回																																																																														
啓発活動	48回																																																																														
アンケート実施	4回																																																																														
団体交流会	2回																																																																														
講座開催	11回																																																																														
広報掲載	4回																																																																														
住民主体の活動団体	11団体																																																																														
ニーズ・地域資源情報	253件																																																																														

施策3 地域活動団体の連携・協働の推進

施策の目的と概要	「地域住民や自治会等の地域組織、ボランティア（民生委員・児童委員等も含む）、福祉関係団体（福祉施設、当事者団体、NPO等）の連携や協働は不可欠」であることから、事務局を担っている各種団体や助成団体、社会福祉施設等連絡協議会などと連携・協働を推進します。					
----------	--	--	--	--	--	--

事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
継続						
実施						

（概要） 団体の事務局として活動を支援します。						
各種団体事務局						

					最終評価	
取組						
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）		
地域福祉フェスタ開催回数		1回		1回		
年度評価						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
C	B	A	A			

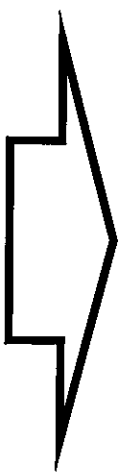
事業実績						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
【民児協】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議や事業を中止した。年間9回（総会含む）の会議予定の内書面決議1回、会議4回、中止4回 【シニアクラブ】 年間12回の会議を実施。内2回を書面決議で実施した。広報紙を1回発行。また、作品展、クラブ大会、料理教室を新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施した。 【遺族会】 年間5回の会議（総会含む）の内1回実施。また、県戦没者追悼式、市戦没者追悼式は新型コロナウイルス感染症対策のため人数を制限し参列した。 【V連】 ボランティアチャリティーショー中止 総会は書面決議で実施し、運営委員会を1回開催した。 また、V連協だよりを発行した。	【民児協】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議や事業を中止、規模を縮小して実施した。年間9回（総会含む）の会議の内、開催8回、中止1回。 【シニアクラブ】 年間12回（総会を含む）の会議を実施。広報紙を2回発行。また、各種スポーツ大会、作品展、クラブ大会、料理教室を新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施した。 【遺族会】 総会を書面で実施し、役員会を2回実施。全国戦没者追悼式は感染症対策のため参列中止。また、県戦没者追悼式、市戦没者追悼式は例年より参加者数を減らし参列した。 【V連】 ボランティアチャリティーショー中止 総会は書面決議で実施し、運営委員会を1回開催した。 また、V連協だよりを発行した。	【民児協】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会議や事業を感染対策をとりながら実施した。総会2回（4月・12月） 昭和地区会議9回 蔵波地区会議9回 長浦地区会議9回 東部地区会議9回 【シニアクラブ】 年間19回（総会を含む）の会議を実施。広報紙を2回発行。また、各種スポーツ大会、作品展、クラブ大会、料理教室、芸能発表会を新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施した。 【遺族会】 総会を書面で実施し、役員会を4回実施。全国戦没者追悼式については参列を計画したが、コロナの影響のため参列を見合せた。また、県戦没者追悼式、市戦没者追悼式は例年より参加者数を減らし参列した。 【V連】 運営委員会6回開催（総会・ボランティアチャリティーショー実行委員会を含む） V連だより発行 各種事業を新型コロナウイルス感染症対策のうえ実施した。 ・ゆりりいのボランティア講座（ボランティアセンター共催） ・ボランティアチャリティーショー ・40周年記念大会及び記念誌を発行した。	【民児協】 単位民児協ごとの会議を実施したと共に、コロナで実施を見送っていた、公民館祭りの民生委員児童委員の啓発活動を実施した。総会1回（4月） 昭和地区会議8回 蔵波地区会議8回 長浦地区会議8回 東部地区会議8回 【シニアクラブ】 年間23回（総会を含む）の会議を実施。広報紙を1回発行。また、各種スポーツ大会、作品展、クラブ大会、料理教室等を実施した。 【遺族会】 4年ぶりに、総会を行った。役員会を6回実施。全国戦没者追悼式に1名出席。また、県戦没者追悼式、市戦没者追悼式に参列した。 また、第3ブロック遺族大会がかずさアカデミアホールにて開催され、理事、評議員16名が出席した。 【V連】 運営委員会4回開催（総会・ボランティアチャリティーショー実行委員会を含む）した。 各種事業を実施した。 ・視察研修 ・忘年会 ・ゆりりいのボランティア講座（ボランティアセンター共催） ・ボランティアチャリティーショー ・V連だより発行			

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
団体助成事業（当事者団体）	継続 実施					
	（概要） 当事者団体等の活動へ助成をし、支援します。					
【新】社会福祉施設等連絡協議会との協働	継続 実施					
	（概要） 相互理解と連携を目的に市内の社会福祉施設等で組織された社会福祉施設等連絡協議会へ助成するとともに協働で公益事業を推進します。 （継続） 地域福祉フェスタ					
地区社会福祉協議会事業（再掲）	継続 実施					
	（概要） 各地域の状況、地域性をもとに、地域に必要な地域福祉活動を展開します。 （継続） 地域の様々な団体、地域住民等と協力し、地域福祉活動の促進を図ります。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																								
<table><tr><th>団体名</th><th>助成額</th></tr><tr><td>手をつなぐ育成会</td><td>32,500円</td></tr><tr><td>聴覚障害者福祉協会</td><td>33,500円</td></tr><tr><td>社会福祉施設等連絡協議会</td><td>-</td></tr><tr><td>シニアクラブ連合会</td><td>188,750円</td></tr><tr><td>遺族会</td><td>361,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>615,750円</td></tr></table>	団体名	助成額	手をつなぐ育成会	32,500円	聴覚障害者福祉協会	33,500円	社会福祉施設等連絡協議会	-	シニアクラブ連合会	188,750円	遺族会	361,000円	合計	615,750円	<table><tr><th>団体名</th><th>助成額</th></tr><tr><td>手をつなぐ育成会</td><td>32,500円</td></tr><tr><td>聴覚障害者福祉協会</td><td>30,741円</td></tr><tr><td>社会福祉施設等連絡協議会</td><td>-</td></tr><tr><td>シニアクラブ連合会</td><td>176,250円</td></tr><tr><td>遺族会</td><td>130,000円</td></tr><tr><td>合計</td><td>369,491円</td></tr></table>	団体名	助成額	手をつなぐ育成会	32,500円	聴覚障害者福祉協会	30,741円	社会福祉施設等連絡協議会	-	シニアクラブ連合会	176,250円	遺族会	130,000円	合計	369,491円	<table><tr><th>団体名</th><th>助成額</th></tr><tr><td>手をつなぐ育成会</td><td>32,500円</td></tr><tr><td>聴覚障害者福祉協会</td><td>32,500円</td></tr><tr><td>社会福祉施設等連絡協議会</td><td>40,000円</td></tr><tr><td>シニアクラブ連合会</td><td>165,000円</td></tr><tr><td>遺族会</td><td>126,750円</td></tr><tr><td>合計</td><td>396,750円</td></tr></table>	団体名	助成額	手をつなぐ育成会	32,500円	聴覚障害者福祉協会	32,500円	社会福祉施設等連絡協議会	40,000円	シニアクラブ連合会	165,000円	遺族会	126,750円	合計	396,750円	<table><tr><th>団体名</th><th>助成額</th></tr><tr><td>手をつなぐ育成会</td><td>32,750円</td></tr><tr><td>聴覚障害者福祉協会</td><td>32,500円</td></tr><tr><td>社会福祉施設等連絡協議会</td><td>38,750円</td></tr><tr><td>シニアクラブ連合会</td><td>172,500円</td></tr><tr><td>遺族会</td><td>121,250円</td></tr><tr><td>合計</td><td>397,750円</td></tr></table>	団体名	助成額	手をつなぐ育成会	32,750円	聴覚障害者福祉協会	32,500円	社会福祉施設等連絡協議会	38,750円	シニアクラブ連合会	172,500円	遺族会	121,250円	合計	397,750円		
団体名	助成額																																																												
手をつなぐ育成会	32,500円																																																												
聴覚障害者福祉協会	33,500円																																																												
社会福祉施設等連絡協議会	-																																																												
シニアクラブ連合会	188,750円																																																												
遺族会	361,000円																																																												
合計	615,750円																																																												
団体名	助成額																																																												
手をつなぐ育成会	32,500円																																																												
聴覚障害者福祉協会	30,741円																																																												
社会福祉施設等連絡協議会	-																																																												
シニアクラブ連合会	176,250円																																																												
遺族会	130,000円																																																												
合計	369,491円																																																												
団体名	助成額																																																												
手をつなぐ育成会	32,500円																																																												
聴覚障害者福祉協会	32,500円																																																												
社会福祉施設等連絡協議会	40,000円																																																												
シニアクラブ連合会	165,000円																																																												
遺族会	126,750円																																																												
合計	396,750円																																																												
団体名	助成額																																																												
手をつなぐ育成会	32,750円																																																												
聴覚障害者福祉協会	32,500円																																																												
社会福祉施設等連絡協議会	38,750円																																																												
シニアクラブ連合会	172,500円																																																												
遺族会	121,250円																																																												
合計	397,750円																																																												
新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、社会福祉施設等連絡協議会の活動が中止となり、協働事業（地域福祉フェスタ）も中止となった。 その為、助成も無かった。	地域福祉フェスタにおいて社会福祉施設等連絡協議会加盟団体のパネル展示や出店などで協働した。 社会福祉施設等連絡協議会へ助成をしたが、コロナ禍により事業が実施できなかったため返金された。	地域福祉フェスタにおいて社会福祉施設等連絡協議会加盟団体のパネル展示や出店などで協働した。 社会福祉施設等連絡協議会へ40,000円助成をした。	地域福祉フェスタにおいて社会福祉施設等連絡協議会加盟団体のパネル展示や出店などで協働した。 社会福祉施設等連絡協議会へ38,750円助成をした。																																																										
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から6地区社協において、対策を講じ、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から6地区社協において、対策を講じ、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	コロナ感染拡大防止の観点から昨年度まで実施を見合わせていた敬老会やバスハイクなど、新型コロナウイルス感染予防対策を講じ実施したとともに、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。	新型コロナウイルス感染症が第5類移行後も引き続き予防対策を講じ、6地区社協において、見守り訪問事業等の地域福祉活動を展開した。																																																										

施策4 非常時の活動

施策の目的と概要	市と連携し、発災時に迅速な対応ができる体制づくりを進めます。 また、平常時には、災害対策コーディネーターなどと連携し、訓練を実施する など関係構築及び連携強化を図ります。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 						



					最終評価		
取組							
項 目		現状値（H30年度末）			目標値（R7年度末）		
災害ボランティアセンター立上げ運営訓練実施回数			1回		1回		
年度評価							
令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
A		B		A		A	
事業実績							
令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
災害ボランティアセンター運営訓練を災害対策コーディネーターと協働で実施した。また、災害用備蓄品の整備を行った。		袖ヶ浦市と「災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定」を締結した。 また、災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂を行った。 災害ボランティアセンター運営訓練を災害対策コーディネーターと協働で実施した。 また、社協だより等で災害ボランティア協力者登録制度の周知を行った。		災害ボランティアセンター運営訓練を災害対策コーディネーターと協働で実施した。今年度は、ボランティア役として社会福祉協議会理事・監事、災害ボランティア協力者登録者制度における登録者に参加依頼し、災害VCの周知を図った。 また、社協だより等で災害ボランティア協力者登録制度の周知を行った。		災害ボランティアセンター運営訓練を袖ヶ浦市災害対策コーディネーター連絡会と協働で実施した。今年度は、ボランティア役として社会福祉協議会理事・監事、災害ボランティア協力者登録者、民生委員児童委員やボランティア連絡協議会などに参加依頼し、災害VCの周知及び体制整備を図った。 また、社協だより等で災害ボランティア協力者登録制度の周知を行った。 市総合防災訓練に協力を行った	
災害ボランティアセンター運営訓練	1回	災害ボランティアセンター運営訓練	1回	災害ボランティアセンター運営訓練	1回	災害ボランティアセンター運営訓練	1回
運営訓練ボランティア数 （災害対策コーディネーター・社会福祉協議会理事監事・災害ボランティア登録者）		21名		運営訓練ボランティア数 （災害対策コーディネーター・社会福祉協議会理事監事・災害ボランティア登録者）		25名	
				運営訓練ボランティア数 （災害対策コーディネーター・社会福祉協議会理事監事・災害ボランティア登録者）		43名	
				運営訓練ボランティア数 （災害対策コーディネーター・社会福祉協議会理事監事・災害ボランティア登録者・地区社協事業推進委員・民生委員児童委員・ボランティア連絡協議会）		89名	
災害ボランティアセンター運営訓練を協働で実施した。また、災害対策コーディネーター養成講座に協力を行った。		災害ボランティアセンター運営訓練を協働で実施した。災害対策コーディネーター養成講座は、新型コロナウイルス感染者数急増に伴い感染予防の観点から中止となった。		災害ボランティアセンター運営訓練を協働で実施した。また、災害対策コーディネーター養成講座に協力を行った。		災害ボランティアセンター運営訓練を協働で実施した。また、災害対策コーディネーター養成講座に協力を行った。	

基本目標3 生活課題に応える支援の充実

施策1 相談機能の充実

施策の目的と概要	日常生活上の「あらゆる相談」に応じ、心配ごと相談員が適切な助言を行うとともに、関係機関との連携を図るなど、相談者の悩みの解消に向けて対応します。 また、各事業等を通じて把握した、住民の悩みや困りごとを専門相談支援機関に繋ぐとともに必要に応じて相談に出向き、安心して生活することができるように対応します。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
心配ごと相談事業	継続 実施					
	(概要) 日常生活上の「あらゆる相談」に応じ、適切な助言を行うとともに、関係機関と連携を図るなど、相談者の悩みの解消に向けて対応します。 (継続) 設置場所：相談所を市役所内、平川公民館内、長浦公民館内の3か所に設置					
関係機関と連携した相談	継続 実施					
	(概要) 把握した住民の悩みや困りごとを専門相談支援機関へ繋ぐとともに必要に応じて相談に出向き、安心して生活することができるように対応します。 (継続) 地域の関係機関と相談連携できるよう良好な関係づくりに努めます。					

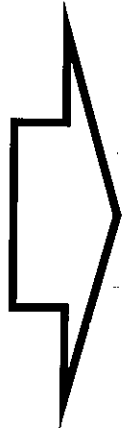


				最終評価	
取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
心配ごと相談事業の認知度		15.0%		19.0%	
年度評価					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
C	B	B	B		
					
事業実績					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
102回相談予定日のうち、77回が感染拡大防止の観点により中止となった。開催時は相談場所を変更するなど感染症対策を講じ、開催した。	年度内103回の相談予定日のうち15回（実施は62回）が感染拡大防止の観点により中止となった。開催時は相談場所を変更するなど感染症対策を講じ、開催した。	年度内で91回の相談所を開設した。 今年度は相談員の意見交換会を行うなど、市民の方々の悩みに寄り添えるよう努めた。	87回の相談所を開設した。 相談員の意見交換会を行うなど、市民の方々の悩みに寄り添えるよう努めた。		
相談件数 15件	相談件数 67件	相談件数 57件	相談件数 48件		
相談内容に応じて地域包括支援センター等の関係機関へ繋いだ。	相談内容に応じて地域包括支援センターや市役所所管課等へ繋いだ。 なお、今年度は生活困窮や離職の相談なども増えてきている。	生活困窮や離職等の相談に関しては、市役所各課やハローワーク等と連携し、相談者の支援を行うなど、相談内容に応じて関係機関へと繋いだ。	相談内容に応じて地域包括支援センターや自立相談支援室等の関係機関へ繋いだ。		

施策2 権利擁護の推進

施策の目的と概要	成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行され、全国どの地域においても必要な人が必要な時に成年後見制度を利用できるよう、各地域において権利擁護支援のネットワーク作りが求められています。今後も認知症を有する高齢者などの支援を必要とする方の増加が見込まれる中、住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、日常生活自立支援事業や成年後見支援事業を通じて、権利擁護の推進に努めます。					
----------	---	--	--	--	--	--

事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【新】成年後見支援事業	法人後見事業実施	中核機関実施			市民後見人養成開始	
	(概要) 本会が法人として成年後見人等になり、判断能力が不十分な方の身上監護・財産管理を行います。また、中核機関を受託し、制度や相談窓口として周知を図り、市民後見人養成講座を開講します。 (令和2年度) 法人後見事業の運用を開始します。 (令和3年度) 中核機関(成年後見支援センター)を受託し、開始します。 (令和6年度) 令和6年度を目途に市民後見人養成講座を開講します。					



最終評価

取組		
項目	現状値 (H30年度末)	目標値 (R7年度末)
日常生活自立支援事業の認知度	12.7%	15.0%
成年後見制度の認知度	32.2%	40.0%
年度評価		
令和2年度	令和3年度	令和4年度
A	A	A

事業実績					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【新規】 ・法人後見事業開始		【新規】 ・中核機関(権利擁護係)設置			
	①相談対応	①相談対応	①相談対応		
	実人数 47人 延べ人数 102人 延べ件数 257件	実人数 56人 延べ人数 154件 延べ件数 363件	実人数 100人 延べ人数 249件 延べ件数 727件		
②法人後見受任調整会議 (18件/9回)	②法人後見受任調整会議 (14件/7回)	②【新規】支援方針の検討 会議(10件/8回)	②【強化】権利擁護支援定 例会議 (7月開始 20件/8回)		
新規 5件 後見: 1 保佐: 4 補助: 0 継続 0件 後見: 0 保佐: 0 補助: 0 終了 0件 後見: 0 保佐: 0 補助: 0 合計 5件 後見: 1 保佐: 4 補助: 0	新規 4件 後見: 3 保佐: 1 補助: 0 継続 5件 後見: 1 保佐: 4 補助: 0 終了 1件 後見: 0 保佐: 1 補助: 0 合計 8件 後見: 4 保佐: 4 補助: 0	新規 2件 後見: 2 保佐: 0 補助: 0 継続 8件 後見: 4 保佐: 4 補助: 0 終了 0件 後見: 0 保佐: 0 補助: 0 合計 10件 後見: 6 保佐: 4 補助: 0	新規 10件 後見: 9 保佐: 1 補助: 0 継続 10件 後見: 6 保佐: 4 補助: 0 終了 4件 後見: 4 保佐: 0 補助: 0 合計 16件 後見: 11 保佐: 5 補助: 0		
・中核機関の受託に向け て、市関係機関と調整中	・令和4年度の中核機関の 受託に向けて、市関係機関 と調整中	④【新規】権利擁護支援推 進会議(地域連携ネット ワークの構築) 11/16	④7/21、10/26、1/26		
		⑤【新規】市民後見人養成 講座開講(全11日間) ・説明会 8/6、16 ・17名受講 (次回は令和7年度)	⑤【新規】成年後見制度の 個別法律相談会 (7月開始 19件/9回)		
		⑥【新規】成年後見制度講 演会(市民向け) 8/6	⑥【新規】市民後見人養成 講座修了生が会員となる 「市民後見そでがうら」の 設置と活動支援		
			⑥-1【新規】フォローアッ プ研修会 6/10、9/7、12/2、2/8		
			⑥-2【新規】市民後見そで がうら会員による出前説明 会(11回)		
			⑥-3【新規】実務経験の取 得支援 ・支援員活動 8人		
			⑦【新規】成年後見制度 研修会(福祉従事者向) ・9/21 介護保険関係者 48人 ・2/20 障がい福祉関係者 23名		
		⑦【新規】ホームページ作 成/チラシ・パンフレット	⑦【強化】ホームページ作 成/チラシ・パンフレット 市内の福祉関係施設(事業 者)・病院・薬局・金融機 関等		

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
日常生活自立支援事業	継続 実施					
	(概要) 定期的な訪問により、福祉サービスを利用するお手伝いや、日常的な金銭管理をお手伝いすることで、高齢者や障がいのある方が地域で安心して日常生活を送れるよう、県社会福祉協議会から受託して行います。 (継続) 利用者との契約に基づいた「福祉サービス利用援助」「財産管理サービス」「財産保全サービス」を行い、日常生活を支援します。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																												
①県社協等が主催する研修会に参加し、知識向上に努めた。 ②利用者数及び生活支援員数	①県社協等が主催する研修会に参加し、知識向上に努めた。 ②利用者数及び生活支援員数	①県社協等が主催する研修会に参加し、知識向上に努めた。 ②利用者数及び生活支援員数	①県社協等が主催する研修会に参加し、知識向上に努めた。 ②利用者数及び生活支援員数																																																														
<table><tr><td></td><td>利用者</td><td>支援員</td></tr><tr><td>新規</td><td>6人</td><td>0人</td></tr><tr><td>継続</td><td>9人</td><td>25人</td></tr><tr><td>解約/退任</td><td>0人</td><td>3人</td></tr><tr><td>合計</td><td>15人</td><td>22人</td></tr></table>		利用者	支援員	新規	6人	0人	継続	9人	25人	解約/退任	0人	3人	合計	15人	22人	<table><tr><td></td><td>利用者</td><td>支援員</td></tr><tr><td>新規</td><td>8人</td><td>1人</td></tr><tr><td>継続</td><td>15人</td><td>22人</td></tr><tr><td>解約/退任</td><td>5人</td><td>4人</td></tr><tr><td>合計</td><td>18人</td><td>19人</td></tr></table>		利用者	支援員	新規	8人	1人	継続	15人	22人	解約/退任	5人	4人	合計	18人	19人	<table><tr><td></td><td>利用者</td><td>支援員</td></tr><tr><td>新規</td><td>7人</td><td>18人</td></tr><tr><td>継続</td><td>18人</td><td>19人</td></tr><tr><td>解約/退任</td><td>6人</td><td>7人</td></tr><tr><td>合計</td><td>19人</td><td>30人</td></tr></table>		利用者	支援員	新規	7人	18人	継続	18人	19人	解約/退任	6人	7人	合計	19人	30人	<table><tr><td></td><td>利用者</td><td>支援員</td></tr><tr><td>新規</td><td>14人</td><td>2人</td></tr><tr><td>継続</td><td>19人</td><td>30人</td></tr><tr><td>解約/退任</td><td>13人</td><td>2人</td></tr><tr><td>合計</td><td>20人</td><td>30人</td></tr></table>		利用者	支援員	新規	14人	2人	継続	19人	30人	解約/退任	13人	2人	合計	20人	30人		
	利用者	支援員																																																															
新規	6人	0人																																																															
継続	9人	25人																																																															
解約/退任	0人	3人																																																															
合計	15人	22人																																																															
	利用者	支援員																																																															
新規	8人	1人																																																															
継続	15人	22人																																																															
解約/退任	5人	4人																																																															
合計	18人	19人																																																															
	利用者	支援員																																																															
新規	7人	18人																																																															
継続	18人	19人																																																															
解約/退任	6人	7人																																																															
合計	19人	30人																																																															
	利用者	支援員																																																															
新規	14人	2人																																																															
継続	19人	30人																																																															
解約/退任	13人	2人																																																															
合計	20人	30人																																																															

施策3 支援体制の充実

施策の目的と概要	生活支援体制整備事業や地区社会福祉協議会でのサロン事業などの地域での支援活動と貸付事業等の第2のセーフティーネット、歳末たすけあい事業等を通じ顔の見える関係（連携・協働して継続支援）での支援体制の充実に努めるとともに地域での孤立を防ぐため、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援します。					
事業計画						
事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
サロン事業（地区社会福祉協議会事業）	継続 実施					
	（概要） 市民が集い顔の見える関係づくりができる場を設けます。 （継続） 地域住民と協力し、地域性に合わせた継続的な運営を図ります。					
貸付事業	継続 実施					
	（概要） 低所得世帯などに対して、生活福祉資金の貸付や相談支援を行い、自立に向けた支援をします。 （継続） 県社会福祉協議会から受託し、世帯の生活の安定や経済的自立を図るため実施します。					



最終評価

取組					
項 目		現状値（H30年度末）		目標値（R7年度末）	
サロン開催箇所数		26箇所		29箇所	
サロン参加者延べ利用者数		5,169人		5,350人	
移送サービス利用登録者数		65人		70人	
移送サービス延べ利用件数		207件		220件	
住民主体の生活支援活動団体数		4団体		8団体	
生活支援活動担い手養成研修開催回数		0回		12回	
年度評価					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
B	B	B	B		

事業実績					
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対策を講じ、可能な範囲で集いの場を開催した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対策を講じ、可能な範囲で集いの場を開催した。	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、すでに実施している地域は、継続的に実施し、開催を見合わせていた地域も、再開に向け検討を行い再開できると判断した地域は実施をした。	新型コロナウイルス感染症が第5類移行後も引き続き予防対策を講じ、6地区社協において、工夫を凝らし展開した。また、開催を見合わせしていた地域も再開した。平岡・中富地区で新たに1箇所ずつ立ち上げた。		
延べ人数+スタッフ数 643人 開催回数 45回 開催箇所 11箇所	延べ人数+スタッフ数 1,198人 開催回数 78回 開催箇所 16箇所	延べ人数+スタッフ数 2,808人 開催回数 63回 開催箇所 21箇所	延べ人数+スタッフ数 3,931人 開催回数 212回 開催箇所 22箇所		
新型コロナウイルス感染症による減収及び失業に対応するために緊急小口資金等特例貸付が実施された。	新型コロナウイルス感染症による減収及び失業に対応するために緊急小口資金等特例貸付が年度末まで延長された。	新型コロナウイルス感染症による減収及び失業に対応するために緊急小口資金等特例貸付が令和4年9月末まで延長された。（緊急小口資金等特例貸付は令和4年9月末で申請受付終了）	低所得世帯などへ生活福祉資金の貸付や相談支援を実施した。自立相談機関や市役所各課とも連携し、世帯の生活の安定につながるよう支援を行った。		
相談件数 687件 貸付件数 182件	相談件数 379件 貸付件数 84件	相談件数 300件 貸付件数 20件	相談件数 186件 貸付件数 6件		

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
歳末たすけあい事業	継続 実施					
	(概要) 地域で集められた歳末たすけあい募金を使用して、明るい正月を迎えられるように必要な方へ見舞金品を配布します。 (継続) 民生委員の協力を得て生活困窮世帯などへ見舞金品を配布し、顔の見える関係づくりをします。					
移送サービス事業	継続 実施					
	(概要) 低所得の方を対象に、ボランティアの協力を得て近隣医療機関まで送迎します。 (継続) ボランティアの協力を得てひとり暮らし高齢者などの移動を支援します。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見舞金は銀行振込で対応した。その他に市内で行われた地域福祉活動への助成を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見舞金は銀行振込で対応した。また、見舞品の対象者を拡充した。その他に市内で行われた地域福祉活動への助成を行った。	明るいお正月を迎えられるよう支援が必要な方々に対して、民生委員を通じて見舞金品を配布し、顔が見える地域づくりに努めた。その他に市内で行われた地域福祉活動への助成を行った。	明るいお正月を迎えられるよう支援が必要な方々に対して、見舞金品を配布し、顔が見える地域づくりに努めた。その他に市内で行われた地域福祉活動への助成を行った。		
見舞金件数 221件	見舞金件数 241件	見舞金件数 209件	見舞金件数 226件		
見舞品件数 554件	見舞品件数 567件	見舞品件数 529件	見舞品件数 503件		
地域福祉活動助成 2件	地域福祉活動助成 2件	地域福祉活動助成 3件	地域福祉活動助成 7件		
合 計 777件	合 計 810件	合 計 741件	合 計 736件		
ボランティアの協力を得て移動支援を行った。実施件数については、コロナの感染予防の観点から、電話受診を利用される方もおり、減少した。	新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、利用者、ボランティアの体温確認、アルコール消毒など感染対策をとり、ボランティアの協力を得て移動支援を行った。	新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、利用者、ボランティアの体温確認、アルコール消毒など感染対策をとり、ボランティアの協力を得て移動支援を行った。	利用者・ボランティアの体温確認、アルコール消毒など感染対策をとり、ボランティアの協力を得て移動支援を行った。		
利用会員数 60名	利用会員数 59名	利用会員数 59名	利用会員数 37名		
実施件数 129件	実施件数 119件	実施件数 80件	実施件数 81件		

事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【新】生活支援体制整備事業（再掲）	継続 実施					
	（概要） 住民主体の助け合いによる生活支援活動を行う団体に対し、その活動の維持・拡大に対する支援を行うとともに、新しい団体の創出を支援し、地域における支え合いの体制づくりを進めます。 （継続） 第1層及び第2層圏域の生活支援コーディネーターとして、身近な地域の助け合い活動を推進します。					
【新】フードバンク事業への協力	継続 実施					
	（概要） 企業や個人などから食品を寄贈いただき、支援の必要な生活困窮世帯へ食糧を提供することで安定した生活を営めるように支援をします。 （継続） フードバンク千葉に協力し、食品回収や食糧支援をします。					
【新】居場所づくり活動支援事業	継続 実施					
	（概要） 高齢者、障がい者、子育て中の親子等が、地域社会においていきいきと住み続けられるよう、サロン活動、子ども食堂等の世代間交流、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援します。					

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																										
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から少人数短時間開催や書面開催等感染対策を取り実施した。 地域住民のご協力のもとニーズ調査や資源調査を実施した。 協議体の開催が予定回数を上回った。	今年度より圏域協議体は、市内3圏域から5圏域に細分化して取り組んだ。 講座や勉強会を地域の集会場等で開催したことでスマホ勉強会、移動支援の検討、移動スーパーの誘致等、住民主体の取組みにつながった。 協議体のSNS活用やおたすけ手帳のweb公開など地域活動の促進と支援の充実を図った。	地域の集会場を活用し講座等を開催したことで、より詳細な地域情報が得られた。 各協議体では、得られた情報をもとに困りごとや高齢者の特技を活かした活躍の場の創出等に取り組んだ。 協議体のSNSの活用やおたすけ手帳のweb公開が周知され、地域活動の促進と支援の充実につながった。	社会資源を掲載した「おたすけ手帳」を専門職の研修会や地域の集いの場で紹介し、住民主体の取組みについて周知した。 短期集中予防サービス（サービスC）の卒業後の在宅生活のために地域資源を紹介し、リエイブルメント（再びできるようになる）に取り組んだ。																																																																												
<table><tr><td>協議体の開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>9回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>4回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>3地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>1回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>2回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	16回	地域ケア会議	9回	啓発活動	4回	アンケート実施	3地区	団体交流会	1回	講座開催	2回	広報掲載	12回					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>15回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>8回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>8地区</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>43回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>12回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>8団体</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	15回	啓発活動	8回	アンケート実施	8地区	団体交流会	2回	講座開催	43回	広報掲載	12回	住民主体の活動団体	8団体					<table><tr><td>協議体の開催</td><td>17回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>22回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>1回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>3回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>16回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>3回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>10団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>156件</td></tr></table>	協議体の開催	17回	地域ケア会議	20回	啓発活動	22回	アンケート実施	1回	団体交流会	3回	講座開催	16回	広報掲載	3回	住民主体の活動団体	10団体	ニーズ・地域資源情報	156件	<table><tr><td>協議体の開催</td><td>8回</td></tr><tr><td>地域ケア会議</td><td>20回</td></tr><tr><td>啓発活動</td><td>48回</td></tr><tr><td>アンケート実施</td><td>4回</td></tr><tr><td>団体交流会</td><td>2回</td></tr><tr><td>講座開催</td><td>11回</td></tr><tr><td>広報掲載</td><td>4回</td></tr><tr><td>住民主体の活動団体</td><td>11団体</td></tr><tr><td>ニーズ・地域資源情報</td><td>253件</td></tr></table>	協議体の開催	8回	地域ケア会議	20回	啓発活動	48回	アンケート実施	4回	団体交流会	2回	講座開催	11回	広報掲載	4回	住民主体の活動団体	11団体	ニーズ・地域資源情報	253件		
協議体の開催	16回																																																																														
地域ケア会議	9回																																																																														
啓発活動	4回																																																																														
アンケート実施	3地区																																																																														
団体交流会	1回																																																																														
講座開催	2回																																																																														
広報掲載	12回																																																																														
協議体の開催	17回																																																																														
地域ケア会議	15回																																																																														
啓発活動	8回																																																																														
アンケート実施	8地区																																																																														
団体交流会	2回																																																																														
講座開催	43回																																																																														
広報掲載	12回																																																																														
住民主体の活動団体	8団体																																																																														
協議体の開催	17回																																																																														
地域ケア会議	20回																																																																														
啓発活動	22回																																																																														
アンケート実施	1回																																																																														
団体交流会	3回																																																																														
講座開催	16回																																																																														
広報掲載	3回																																																																														
住民主体の活動団体	10団体																																																																														
ニーズ・地域資源情報	156件																																																																														
協議体の開催	8回																																																																														
地域ケア会議	20回																																																																														
啓発活動	48回																																																																														
アンケート実施	4回																																																																														
団体交流会	2回																																																																														
講座開催	11回																																																																														
広報掲載	4回																																																																														
住民主体の活動団体	11団体																																																																														
ニーズ・地域資源情報	253件																																																																														
年2回（秋・冬）の食品回収に協力した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け1回（春）は中止となった。	年3回（春・秋・冬）の食品回収に協力した。食糧支援の必要な窓口へ食品提供も行った。	年3回（春・秋・冬）の食品回収に協力した。食糧支援を必要とする窓口へ食品提供を行い、市内団体にも提供し、地域活動に活用頂いた。	年3回（春・秋・冬）の食品回収に協力した。食糧支援を必要とする支援機関等に食品提供を行った。																																																																												
<table><tr><td>寄付件数</td><td></td></tr><tr><td>個人</td><td>60件</td></tr><tr><td>企業</td><td>2件</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>9件</td></tr></table>	寄付件数		個人	60件	企業	2件	申請件数	9件	<table><tr><td>寄付件数</td><td></td></tr><tr><td>個人</td><td>44件</td></tr><tr><td>企業</td><td>5件</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>7件</td></tr></table>	寄付件数		個人	44件	企業	5件	申請件数	7件	<table><tr><td>寄付件数</td><td></td></tr><tr><td>個人</td><td>81件</td></tr><tr><td>企業</td><td>4件</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>16件</td></tr></table>	寄付件数		個人	81件	企業	4件	申請件数	16件	<table><tr><td>寄付件数</td><td></td></tr><tr><td>個人</td><td>44件</td></tr><tr><td>企業</td><td>5件</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>7件</td></tr></table>	寄付件数		個人	44件	企業	5件	申請件数	7件																																												
寄付件数																																																																															
個人	60件																																																																														
企業	2件																																																																														
申請件数	9件																																																																														
寄付件数																																																																															
個人	44件																																																																														
企業	5件																																																																														
申請件数	7件																																																																														
寄付件数																																																																															
個人	81件																																																																														
企業	4件																																																																														
申請件数	16件																																																																														
寄付件数																																																																															
個人	44件																																																																														
企業	5件																																																																														
申請件数	7件																																																																														
世代間交流、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援した。	世代間交流、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援した。	世代間交流、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援した。	世代間交流、地域交流の拠点となる居場所づくり活動を支援した。																																																																												
<table><tr><td>件数</td><td>2件</td></tr><tr><td>金額</td><td>108,000円</td></tr></table>	件数	2件	金額	108,000円	<table><tr><td>件数</td><td>2件</td></tr><tr><td>金額</td><td>120,000円</td></tr></table>	件数	2件	金額	120,000円	<table><tr><td>件数</td><td>2件</td></tr><tr><td>金額</td><td>120,000円</td></tr></table>	件数	2件	金額	120,000円	<table><tr><td>件数</td><td>4件</td></tr><tr><td>金額</td><td>240,000円</td></tr></table>	件数	4件	金額	240,000円																																																												
件数	2件																																																																														
金額	108,000円																																																																														
件数	2件																																																																														
金額	120,000円																																																																														
件数	2件																																																																														
金額	120,000円																																																																														
件数	4件																																																																														
金額	240,000円																																																																														

袖ヶ浦市地域福祉計画（第 4 期）策定及び袖ヶ浦市地域福祉活動計画
（第 5 期）策定に伴うスケジュールについて

◎令和 6 年度スケジュール（予定）

令和 6 年 8 月 2 6 日 令和 6 年度第 1 回策定・推進委員会

9 月下旬～1 0 月下旬 地域福祉に関する意識調査

【一般市民・事業所・福祉関係団体】

令和 7 年 1 月中旬 第 1 回地区懇談会（市内 6 地区）

2 月中旬 第 2 回地区懇談会（市内 6 地区）

2 月 1 7 日 令和 6 年度第 2 回策定・推進委員会

◎令和 7 年度スケジュール（予定）

令和 7 年 5 月下旬 令和 7 年度第 1 回策定・推進委員会

8 月上旬 令和 7 年度第 2 回策定・推進委員会

1 0 月下旬 令和 7 年度第 3 回策定・推進委員会

1 2 月下旬～令和 8 年 1 月下旬 パブリックコメント実施

令和 8 年 2 月下旬 令和 7 年度第 4 回策定・推進委員会

3 月 計画書完成予定

前 回		今 回		備考
1. あなたご自身についておたずねします。		1. あなたご自身についておたずねします。		
問 1	性別	問 1	性別	
問 2	職業	問 2	職業	
問 3	居住地区	問 3	居住地区	
問 4	年齢	問 4	年齢	
問 5	居住年数	問 5	居住年数	
問 6	居住意向	問 6	居住意向	
問 7	居住形態	問 7	居住形態	
問 8	家族構成	問 8	家族構成	
問 9	主な交通手段	問 9	主な交通手段	
問 10	経済的なゆとり	問 10	経済的なゆとり	
2. 地域での暮らしについておたずねします。		2. 地域での暮らしについておたずねします。		
問 11	地域の暮らしやすさ	問 11	地域の暮らしやすさ	
問 12	大切なこと	選択肢見直し 問 12	大切なこと	リストラ・ホームレスの問題の解決を削除
3. 地域の助け合いやボランティア活動についておたずねします。		3. 地域の助け合いやボランティア活動についておたずねします。		
問 13	隣近所の人とのつきあい	問 13	隣近所の人とのつきあい	
問 13-1	近所づきあいをしない理由	問 13-1	近所づきあいをしない理由	
問 14	地域の行事や活動への参加状況	問 14	地域の行事や活動への参加状況	
問 14-1	参加している行事や活動	問 14-1	参加している行事や活動	
問 14-2	行事や活動に参加したきっかけ	問 14-2	行事や活動に参加したきっかけ	
問 14-3	行事や活動に参加している理由	問 14-3	行事や活動に参加している理由	
問 14-4	参加している活動の課題	問 14-4	参加している活動の課題	
問 14-5	行事や活動に参加していない理由	選択肢見直し 問 14-5	行事や活動に参加していない理由	現在の活動内容に不満を削除
問 15	ボランティアに参加する上で必要な条件	問 15	ボランティアに参加する上で必要な条件	
問 16	ボランティア活動の謝礼について	問 16	ボランティア活動の謝礼について	
問 17	①【現在】連携・協働関係にある機関等	問 17	①【現在】連携・協働関係にある機関等	
//	②【今後】連携・協働関係を築きたい機関等	//	②【今後】連携・協働関係を築きたい機関等	
問 18	地域住民が支え合っていくうえで大切なこと	選択肢見直し 問 18	地域住民が支え合っていくうえで大切なこと	子どもを一時的に預かるを追加
4. 情報入手手段や相談についておたずねします。		4. 情報入手手段や相談についておたずねします。		
問 19	保健福祉サービスなどの情報入手手段	選択肢見直し 問 19	保健福祉サービスなどの情報入手手段	S N Sを追加し、公的施設をまとめ削除
問 20	保健福祉に関する相談相手	選択肢見直し 問 20	保健福祉に関する相談相手	公的施設等を追加
-	-	【新規】 問 21	保健福祉に関連する専門機関の認知	専門機関の認知度把握

前 回	今 回	備考
5. 権利擁護についておたずねします。	5. 権利擁護についておたずねします。	
問 2 1 福祉サービスや高額商品の購入・契約時の内容理解	【削除】	
問 2 2 日常生活自立支援事業の認知度	問 2 2 日常生活自立支援事業の認知度	
問 2 3 成年後見制度の認知	問 2 3 成年後見制度の認知	
問 2 3-1 成年後見制度を利用する際にお願いしたい相手	【新規】 問 2 4 成年後見制度に関する相談先	
6. 防災対策についておたずねします。	6. 防災対策についておたずねします。	
問 2 4 普段から行っている防災対策	選択肢見直し 問 2 5 普段から行っている防災対策	災害時に危険な場所や区域の確認を追加
問 2 5 災害に備えた個人情報の開示意向	【削除/新規】 問 2 6 災害時に必要な住民同士の支援	一般市民対象のため共助の観点から見直し
問 2 6 身近な地域の援助を受けることへの意向	【削除】	
問 2 7 災害時、あれば安心できると思う支援	【削除】	
問 2 8 避難支援に関するボランティアについての考え	問 2 7 避難支援に関するボランティアについての考え	
7. 防災対策についておたずねします。	7. 再犯防止対策についておたずねします。	
問 2 4 普段から行っている防災対策	【新規】 問 2 8 防犯に関する全国的な運動についての認知度	
問 2 5 災害に備えた個人情報の開示意向	【新規】 問 2 9 犯罪等を犯した人たちの社会復帰のための支援	
8. 地域共生社会についておたずねします。	8. 地域共生社会についておたずねします。	
問 2 9 地域共生社会という言葉や意味を聞いた経験の有無	問 3 0 地域共生社会という言葉や意味を聞いた経験の有無	
問 3 0 地域共生社会の実現に向けて取り組むべき活動	選択肢見直し 問 3 1 地域共生社会の実現に向けて取り組むべき活動	バリアフリーなど文言の変更
問 3 1 取り組みそうな活動	問 3 2 取り組みそうな活動	
問 3 2 地域福祉の推進に向けて重要だと思うこと	問 3 3 地域福祉の推進に向けて重要だと思うこと	
(1) 自助で重要だと思うこと	(1) 自助で重要だと思うこと	
(2) 共助（互助）で重要だと思うこと	(2) 共助（互助）で重要だと思うこと	
(3) 公助で重要だと思うこと	選択肢見直し (3) 公助で重要だと思うこと	文言の変更
9. 袖ヶ浦市の地域福祉の取組についておたずねします。	9. 袖ヶ浦市の地域福祉の取組についておたずねします。	
問 3 3 袖ヶ浦市における福祉施策に対する満足度	問 3 4 袖ヶ浦市における福祉施策に対する満足度	
問 3 4 地域福祉計画の主要施策に対する満足度・重要度	問 3 5 地域福祉計画の主要施策に対する満足度・重要度	
10. 地域福祉の推進についておたずねします。	10. 地域福祉の推進についておたずねします。	
問 3 5 社会福祉協議会の認知度	問 3 6 社会福祉協議会の認知度	
問 3 6 社会福祉協議会の主な事業・活動の認知	選択肢見直し 問 3 7 社会福祉協議会の主な事業・活動の認知	事業の変更
問 3 7 社会福祉協議会に期待すること	問 3 8 社会福祉協議会に期待すること	
問 3 8 社会福祉協議会の活動の充実を図る上で重要なこと	選択肢見直し 問 3 9 社会福祉協議会の活動の充実を図る上で重要なこと	文言の変更
11. 民生委員・児童委員についておたずねします。	11. 民生委員・児童委員についておたずねします。	
問 3 9 民生委員・児童委員の活動の認知度	問 4 0 民生委員・児童委員の活動の認知度	
問 4 0 居住地区の民生委員・児童委員の認知度	問 4 1 居住地区の民生委員・児童委員の認知度	
12. 地域福祉の役割についておたずねします。	12. 地域福祉の役割についておたずねします。	
問 4 1 それぞれの担うべき役割	【削除】	一般市民にとって専門性が高い質問のため見直し
(1) 市民の役割		
(2) 福祉事業者の役割		
(3) 社会福祉協議会の役割		
問 4 2 市への要望・意見	問 4 2 市への要望・意見	

[事業所用]

前 回
1. 貴事業所の概要について
問1 法人組織
問2 活動分野
問3 活動年数
問4 従業員等の人数と平均年齢
問5 主な活動範囲
2. 事業所の運営について
問6 運営上の課題
問7 課題等の原因とその解決策
問8 必要としている支援
問9 職員等がボランティアに参加しやすくなる取組
問10 具体的な取組
3. 他機関との連携について
問11 他の団体や機関と連携の必要性
問12 連携の必要性を感じる時
問13 (1) 【現在】連携・協働関係にある機関等
(2) 【今後】連携・協働関係を築きたい機関等
問14 ボランティアとの連携や支援で実施していること
問15 ボランティアを受け入れて良いと感じたこと
問16 他機関等との連携・協働関係を築く際の課題
問17 具体的な課題内容
4. 地域福祉について
問18 地域や地域住民との交流
問19 具体的な交流内容
問20 利用者から聞く困りごとや、取り組めること
問21 地域や地域住民との交流意向
問22 市民と連携・協働する際に必要だと思うこと
問23 地域での福祉活動活性化に必要だと思う取組
問24 地域福祉計画・地域福祉活動計画への意見

[事業所用]

調査票目次（新旧比較表）

今 回	備考
1. 貴事業所の概要について	
問1 法人組織	
問2 活動分野	
問3 活動年数	
問4 従業員等の人数と平均年齢	
問5 主な活動範囲	
2. 事業所の運営について	
問6 運営上の課題	
問7 課題等の原因とその解決策	
問8 必要としている支援	
問9 職員等がボランティアに参加しやすくなる取組	
問10 具体的な取組	
【新規】問11 ICTの導入もしくは拡充予定	国のICTの活用 の推進
【新規】問12 ICTを導入もしくは拡充するうえでの課題	
3. 他機関との連携について	
問13 他の団体や機関と連携の必要性	
問14 連携の必要性を感じる時	
選択肢見直し 問15 (1) 【現在】連携・協働関係にある機関等	こども園を追加
選択肢見直し 〃 (2) 【今後】連携・協働関係を築きたい機関等	こども園を追加
問16 ボランティアとの連携や支援で実施していること	
問17 ボランティアを受け入れて良いと感じたこと	
問18 他機関等との連携・協働関係を築く際の課題	
問19 具体的な課題内容	
4. 地域福祉について	
問20 地域や地域住民との交流	
問21 具体的な交流内容	
問22 利用者から聞く困りごとや、取り組めること	
問23 地域や地域住民との交流意向	
問24 市民と連携・協働する際に必要だと思うこと	
【新規】問25 権利擁護支援の地域連携ネットワーク中核機関の認知	
【新規】問26 袖ヶ浦市重層的支援体制整備事業についての意見等	
選択肢見直し 問27 地域での福祉活動活性化に必要だと思う取組	成人向けの福祉教育の充実を追加
問28 地域福祉計画・地域福祉活動計画への意見	

〔福祉関係団体用〕

調査票目次（新旧比較表）

前 回	今 回	備考
1. 貴団体の概要について	1. 貴団体の概要について	
問 1 組織形態	問 1 組織形態	
問 2 活動分野	問 2 活動分野	
問 3 活動年数	問 3 活動年数	
問 4 団体の構成員と平均年齢	問 4 団体の構成員と平均年齢	
問 5 主な活動範囲	問 5 主な活動範囲	
2. 団体等の活動について	2. 団体等の活動について	
問 6 活動を行う中で困っていること	問 6 活動を行う中で困っていること	
問 7 活動を行う中で困っていることの原因	問 7 活動を行う中で困っていることの原因	
問 8 必要としている支援	問 8 必要としている支援	
問 9 今後の活動予定	問 9 今後の活動予定	
問 10 具体的理由	問 10 具体的理由	
3. 他機関との連携について	3. 他機関との連携について	
問 11 他の団体や機関と連携の必要性	問 11 他の団体や機関と連携の必要性	
問 12 連携の必要性を感じる時	問 12 連携の必要性を感じる時	
問 13 (1) 【現在】連携・協働関係にある機関等	選択肢見直し 問 13 (1) 【現在】連携・協働関係にある機関等	こども園を追加
(2) 【今後】連携・協働関係を築きたい機関等	選択肢見直し (2) 【今後】連携・協働関係を築きたい機関等	こども園を追加
問 14 他機関等との関係を築く際の課題	問 14 他機関等との関係を築く際の課題	
問 15 課題の具体的内容	問 15 課題の具体的内容	
4. 地域福祉について	4. 地域福祉について	
問 16 地域や地域住民との交流	問 16 地域や地域住民との交流	
問 17 具体的な交流内容	問 17 具体的な交流内容	
問 18 利用者から聞く困りごとや、取り組めること	問 18 利用者から聞く困りごとや、取り組めること	
問 19 地域や地域住民との交流を意向	問 19 地域や地域住民との交流意向	
問 20 市民と連携・協働する際に必要だと思うこと	問 20 市民と連携・協働する際に必要だと思うこと	
-	【新規】 問 21 地域共生社会の実現に向けての意見や要望	地域共生社会の普及・浸透を図るため。
問 21 地域での福祉活動活性化に必要だと思う取組	選択肢見直し 問 22 地域での福祉活動活性化に必要だと思う取組	成人向けの福祉教育の充実を追加
問 22 地域福祉計画・地域福祉活動計画への意見	問 23 地域福祉計画・地域福祉活動計画への意見	

地域福祉に関する住民意識調査のお願い

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、袖ヶ浦市では地域福祉の充実と福祉サービスの利用促進に向けて、第4期地域福祉計画の、袖ヶ浦市社会福祉協議会では第5期地域福祉活動計画の策定準備を進めております。

つきましては、地域福祉や支え合いに対する皆様のお考えやご意向を調査させていただき、その状況を踏まえ、よりよい地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定を行います。

なお、この調査は令和6年●月において袖ヶ浦市に在住している18歳以上の方、約1,000人を対象としています。

皆様からいただいた回答は、本調査の目的以外に使用することはなく、統計的に処理し有効に活用いたします。また回答については記名の必要がなく、プライバシー保護に関しては万全を期しますので、ご安心ください。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、本調査にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年●月

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩
袖ヶ浦市社会福祉協議会
会長 小島 直子

《この調査票のご記入にあたって》

- この調査票では、あて名のご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。ただし、ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。回答内容により、次に答える問を案内していますので、それに沿ってください。
- ご記入は、黒または青のボールペンかサインペンをお使いください。
- 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。質問文にある（○は1つだけ）（○は3つまで）（あてはまるものすべてに○）等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで（ ）内になるべく具体的にその内容も記入してください。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ

●月●日（●）までに、ポストに投函してください。

※調査票や返信用封筒には、住所、氏名を記入する必要はありません。

- 調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。
袖ヶ浦市福祉部地域福祉課（地域福祉班） 電話 0438-62-3157
袖ヶ浦市社会福祉協議会 電話 0438-63-3888

※あて名のご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。

あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問2 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|------------|--------------|
| 1. 会社員 | 2. 公務員 | 3. 自営業 |
| 4. 専業主婦 | 5. 学生 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

問3 あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. 昭和地区 | 2. 長浦地区 | 3. 根形地区 |
| 4. 平岡地区 | 5. 中川・富岡地区 | |

問4 あなたの年齢はおいくつですか。令和6年●月1日現在の年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75～79歳 |
| 10. 80歳以上 | | |

問5 あなたは、袖ヶ浦市に何年お住まいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～20年未満 | 5. 20年以上 | |

問6 あなたは、今後も袖ヶ浦市に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 住みたい | 2. しばらくは住みたい |
| 3. できれば移りたい | 4. ぜひ移りたい |

問7 あなたのお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 持ち家（一戸建て）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 民間の賃貸住宅（一戸建て）
4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）
5. 公営住宅
6. 社宅（アパートなどの借り上げ住宅も含む）・公務員住宅・寮
7. 有料老人ホーム・グループホーム
8. その他（)

問8 あなたの家族構成は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 単身
2. 夫婦のみ
3. 夫婦と子、または夫婦と親など（2世代）
4. 母と子、または父と子
5. 親・子・孫（3世代）
6. その他（)

問9 あなたの主な交通手段は、次のうちどれですか。(○は2つまで)

- | | | |
|-----------------|---------|---------|
| 1. 電車 | 2. バス | 3. 自家用車 |
| 4. 自動二輪車・原付・自転車 | 5. タクシー | 6. 徒歩 |
| 7. その他（) | | |

問10 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 十分ある | 2. ある程度ある | 3. あまりない |
| 4. ほとんどない | 5. わからない | |

地域での暮らしについておたずねします。

問 1 1 あなたが現在お住まいの地域の暮らしやすさはいかがですか。次のア～タの各項目について、満足度をそれぞれおうかがいします。

(○はそれぞれの項目で1つつ)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
記入例 -----▶	1	②	3	4	5
ア. 隣近所などのおつきあい	1	2	3	4	5
イ. 近隣の生活マナー	1	2	3	4	5
ウ. 自治会や町内会の活動（地域でのボランティア活動など）	1	2	3	4	5
エ. 健康づくり	1	2	3	4	5
オ. 福祉サービスや相談体制	1	2	3	4	5
カ. 病院など医療関連施設	1	2	3	4	5
キ. 買物などの便利さ	1	2	3	4	5
ク. 保育サービスや子育て支援・相談体制	1	2	3	4	5
ケ. 教育	1	2	3	4	5
コ. 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5
サ. 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
シ. 公民館での活動	1	2	3	4	5
ス. 公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4	5
セ. 地域の雰囲気やイメージ	1	2	3	4	5
ソ. 文化・スポーツ活動、生涯学習の機会	1	2	3	4	5
タ. 就業の機会、就業に関する情報や相談体制	1	2	3	4	5

問12 地域社会の中で安心して暮らしていくには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 福祉・保健サービスの充実
2. 地域医療体制の充実、警察や消防の充実
3. 防犯・交通安全・防災のための地域の見守り・パトロールの充実
4. 日用品(生鮮品・日常生活用品)の購入の容易さ
5. 高齢者・障がい者にもやさしいバリアフリーのまちづくり
6. 交通の便の改善
7. 自然環境保護・不法投棄防止のための地域の協力
8. 学校教育の充実といじめ・不登校など学校に関連した問題の解決
9. 保育所や託児所など施設の充実
10. 出産・育児など子育てへの支援の充実
11. 地域を単位とした世代間交流活動
12. 学習機会や生涯学習の充実
13. 自治会・町内会など隣近所による助け合い
14. ボランティア活動やNPO(民間非営利組織)による助け合い
15. 経済的な面での生活保障の充実(生活保護など)
16. その他()
17. わからない

地域の助け合いやボランティア活動についておたずねします。

問13 あなたは、隣近所の人とどのようにおつきあいされていますか。(〇は1つだけ)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
4. ほとんど近所づきあいをしない

➡ 問14へ

➡ 問13-1へ

※問13で「3. 道で会えば～」または「4. ほとんど～」とお答えの方にはうかがいます。

問13-1 その主な理由を次の中からお答えください。(〇は2つまで)

1. 仕事や家事・育児などで忙しい(時間がない)から
2. 引っ越してきて間もないから
3. 普段つきあう機会がないから
4. 同世代の人が近くにいないから
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから
6. あまりかかわりをもたたくないから
7. その他()

※全ての方におたずねします。

問14 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動にどの程度参加されていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1. よく参加している | 2. 時々参加している | ➡ 問14-1～問14-4へ |
| 3. あまり参加していない | 4. 全く参加していない | ➡ 問14-5へ |

※問14-1～問14-4は、問14で「1. よく参加している」または「2. 時々参加している」とお答えの方にうかがいます。

➡ 問14-1 どのような行事や活動に参加されていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 自治会・町内会の活動 | 2. 学校・PTA・子ども会の活動 |
| 3. 青少年の課外(学校以外の)活動 | 4. シニアクラブの活動 |
| 5. 地域団体の活動 | 6. スポーツ・レクリエーション団体の活動 |
| 7. 文化保護団体の活動 | |

➡ 問14-2 あなたがこういった活動に参加したきっかけをお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 友人・知人が活動に参加していたから |
| 2. 近所の人々が活動に参加していたから |
| 3. 親や子ども、親戚が活動に参加していたから |
| 4. 広報、ちらし、ポスターなどを見たから |
| 5. 勧誘されたから |
| 6. 自分で活動を探した、問い合わせた |
| 7. 以前から興味・関心があったから |
| 8. 関連する活動を以前経験したことがあるから |
| 9. 空いている時間があったから |
| 10. その他 () |
| 11. わからない |

➡ 問14-3 あなたがこういった活動に参加している理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 地域や社会を良くしたいから | 2. 困っている人を助けたいから |
| 3. 自分の向上になるから | 4. 楽しいから、好きだから |
| 5. 何か新しく感動できる体験をしたいから | |
| 6. 自分の能力や技能を役立てたいから | |
| 7. 関心があるから | 8. 友人が得られるから |
| 9. 友人などに誘われたから | 10. 健康によいから |
| 11. その他 () | |

問14-4 あなたが参加している活動にあたっての課題はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 専門的な研修を受ける機会がない | |
| 2. リーダーが育たない・役員が固定化している | |
| 3. 新たなメンバーが加入しない | 4. メンバー間の意思疎通が思わしくない |
| 5. メンバーがすぐ辞めてしまう | 6. 財政面で苦しくなっている |
| 7. 活動していても地域の理解がなかなか得られない | |
| 8. 自分たちの活動の効果的なPR方策がない | |
| 9. 行政の理解が得られない | 10. その他 () |
| 11. 特に課題は感じていない | |

※問14で「3. あまり参加していない」または「4. 全く参加していない」とお答えの方にうかがいます。

問14-5 参加されていない理由をお答えください。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 興味や関心がないから | 2. 特にきっかけや機会がないから |
| 3. 知り合いがいないから | 4. 必要性を感じないから |
| 5. 時間がないから | 6. 気恥ずかしいから |
| 7. 自分の生活で精一杯だから | 8. 仕事が忙しいから |
| 9. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから | 10. その他 () |
| 11. 活動の内容や参加方法がわからないから | 12. わからない |

※全ての方におたずねします。

問15 あなたは、地域活動やボランティア活動に参加する上で必要な条件は、どのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 時間的なゆとりがあること |
| 2. 家族に病人や介護が必要な人がいないこと |
| 3. 乳幼児や小さな子どもがいないこと |
| 4. 家族の理解が得られること |
| 5. 自分が健康であること |
| 6. とともに活動する仲間や友人がいること |
| 7. 活動の拠点や場所が確保できること |
| 8. 経費(活動費)の支援があること |
| 9. 活動の内容が自分の趣味や特技を活かせる場であること |
| 10. 自治会など、自分の属する団体がボランティア活動に熱心に取り組んでいること |
| 11. 自分のまわりの住民の理解や支持が得られること |
| 12. 行政が福祉活動を積極的に援助すること |
| 13. ボランティア講座など、ボランティアに関する知識や技術を学べる機会や体験の機会があること |
| 14. ボランティア活動の中で生きがいや充実感があること |
| 15. その他 () |

問16 ボランティア活動の対価としての謝礼について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

1. 謝礼は必要ない
2. 交通費等の実費程度なら良い
3. 交通費等の実費と弁当代程度なら良い
4. 一般的なサービス並みの報酬が良い
5. その他（ ）

問17 地域活動やボランティア活動の中で、現在参加しているものはありますか。また、今後参加してみたいものはありますか。

①【現在】（あてはまるものすべてに○）	②【今後】（あてはまるものすべてに○）
1. 自然保護活動	1. 自然保護活動
2. 公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動	2. 公園や近隣の清掃など美化活動やリサイクル活動
3. 地域（学校、施設、商店街、自治会など）のイベントの支援	3. 地域（学校、施設、商店街、自治会など）のイベントの支援
4. 福祉施設などでの活動	4. 福祉施設などでの活動
5. 趣味やスポーツの指導	5. 趣味やスポーツの指導
6. 交通安全や防犯・防災に関する活動	6. 交通安全や防犯・防災に関する活動
7. ご高齢の方や障がいをお持ちの方の話し相手や身の周りの世話	7. ご高齢の方や障がいをお持ちの方の話し相手や身の周りの世話
8. ご高齢の方や障がいをお持ちの方の車での送迎や手助け	8. ご高齢の方や障がいをお持ちの方の車での送迎や手助け
9. ボランティア団体等での事務	9. ボランティア団体等での事務
10. 子育ての相談や手伝い	10. 子育ての相談や手伝い
11. 外国人への支援活動	11. 外国人への支援活動
12. ご高齢の方などへの配食・会食の手伝い	12. ご高齢の方などへの配食・会食の手伝い
13. 災害救助活動	13. 災害救助活動
14. 青少年の健全育成に関する活動	14. 青少年の健全育成に関する活動
15. ホームレス（路上生活者）への支援活動	15. ホームレス（路上生活者）への支援活動
16. 寄付、募金活動	16. 寄付、募金活動
17. 食育普及・健康づくり活動	17. 食育普及・健康づくり活動
18. 道路アダプト制度*	18. 道路アダプト制度*
19. その他（ ）	19. その他（ ）
20. 参加していないものはない	20. 参加してみたいものはない

*ボランティアで行う道路の清掃や除草などを市が支援する制度

問18 あなたは、地域の人々がお互いに支え合っていくうえで大切なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 隣近所の住民同士の普段からのつきあい
2. 子どもを一時的に預かることや見守りなどの子育て支援
3. ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動
4. 障がいのある人となない人との交流
5. 地域が行う防災活動などの日常的な協力活動
6. スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり
7. その他 ()
8. よくわからない

情報入手手段や相談についておたずねします。

問19 あなたは、保健福祉サービスなどの情報をどのように入手しますか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 市や県の広報紙、ちらし | 2. 新聞・雑誌・テレビ |
| 3. インターネットのホームページ | 4. 市役所など公的施設 |
| 5. SNS | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 医療機関・医師 | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 友人・知人 | 10. 家族・親戚 |
| 11. その他 () | |
| 12. 今は福祉に関する情報を入手する必要がある | |
| 13. 福祉情報の入手先がわからない | |

問20 あなたが困ったときに相談できる身近な相談相手はどなたですか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 自治会や町内会の人 |
| 3. 近所の人 | 4. 友人・知人 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 市役所など行政機関の職員 |
| 7. 社会福祉協議会の職員 | |
| 8. ケアマネジャー（介護支援専門員）やホームヘルパーなどの福祉事業者の職員 | |
| 9. 医師や看護師などの医療機関の職員 | |
| 10. その他 () | |
| 11. 誰もいない | |

【新】問 2 1 あなたは、保健福祉に関する情報発信や相談を行っている、下記の機関をご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域包括支援センター
2. 生活困窮者自立相談支援室「そでさぽ」
3. こども家庭センター
4. 障害者相談支援事業所「えがお袖ヶ浦」
5. ガウランド（健康づくり支援センター）
6. その他（ ）
7. いずれも知らない

権利擁護についておたずねします。

権利擁護とは、認知症や知的障がい・精神障がい等のため権利侵害を受けやすい方々の権利や尊厳を守ることであり、本人らしい生活を継続できるよう行う支援です。

問 2 2 あなたは、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業・愛称「すまいる」）があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが、内容は知らない | 4. まったく知らない |

* 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）：社会福祉法に基づく事業で、判断能力に不安がある高齢者や障がい者（成年後見制度を活用するほどではない人）を対象として、福祉サービスの利用手続き、公共料金などの支払い手続き、大切な書類の管理などを社会福祉協議会がお手伝いするサービスです。

問 2 3 あなたは、成年後見制度があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが、内容は知らない | 4. まったく知らない |

* 成年後見制度（民法に基づく制度）：認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者等で、主として判断能力が十分でない方が対象。家庭裁判所に申立をして、選任された成年後見人等が財産の保全、日常生活での財産管理、各種契約等の法律行為を本人の意向に沿って代わりに行い、住み慣れた地域の中で生活できるよう支援する制度です。

【新】問 2 4 あなたが成年後見制度について相談したい場合、どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 身近な親族 | |
| 2. 弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門職 | |
| 3. 社会福祉協議会やNPO（民間非営利組織）などの団体 | |
| 4. 市民後見人 | 5. 市役所 |
| 6. その他（ ） | 7. わからない |

防災対策についておたずねします。

※全ての方におたずねします。

問25 あなたは、どのような防災対策を普段から行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 食料、水、簡易トイレ、ウェットティッシュなど備蓄品の備蓄
2. 外傷薬・常備薬・お薬手帳の写しなどの備蓄
3. 避難所で使用するペットのケージ（ペット用の檻）、リードなどの備蓄
4. 自宅など建物の耐震化
5. 大きな家具の固定
6. 近隣で発生しやすい災害の種類の確認
7. 災害時の連絡手段の確認、準備
8. 災害情報の収集手段の確認、準備
9. 家族の集合場所の確認
10. 家庭内での防災教育、知識の共有化
11. 避難先（指定緊急避難場所、指定避難所、避難経路）の確認
12. 災害時に危険な場所や区域の確認
13. 帰宅困難になった時の対処の知識の確認
14. 自治会内の防災組織や災害ボランティアの参加
15. 近隣の高齢者、障がい者など、避難に支援が必要な方への支援の取り組みへの参加
16. 近隣で開催される防災訓練への参加
17. その他（)
18. 何も行っていない

【新】問26 あなたは災害が起こった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 災害状況や避難情報の提供 | 2. 安全な場所への避難の手助け |
| 3. 食料・飲料水の助け合い | 4. 介護や手当が必要な人への支援 |
| 5. 近所の人への安否確認や声かけ | 6. 避難所の運営の協力 |
| 7. その他（) | 8. わからない |

問27 現在、災害のときに一人では避難できない方の避難を支援する人が不足しています。身近な地域の避難支援に関するボランティアについて、どう思いますか。

(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 積極的に手伝いたい |
| 2. 区や自治会、自主防災組織として活動するのであれば手伝ってもよい |
| 3. なるべくなら遠慮したい |
| 4. 手伝うことは難しい（自分の避難で精一杯、身体の一部が不自由であるなど） |
| 5. わからない |

【新】再犯防止対策についておたずねします。

様々な事情から犯罪や非行をした人たちが再び犯罪や非行をすることを防ぎ、立ち直ることを国及び地方公共団体が支援する「再犯の防止等の推進に関する法律」（再犯防止推進法）が平成 28 年に公布・施行されました。

【新】問 28 犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間」を知っていますか。
(○は 1 つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1. 両方とも知っている |
| 2. 「再犯防止啓発月間」のみ知っている |
| 3. 「社会を明るくする運動」のみ知っている |
| 4. 両方とも知らない |

【新】問 29 犯罪や非行の防止、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを応援し、社会復帰を果たすために、市が行う支援として何が重要だと考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 就労支援 | 2. 住まいの確保支援 |
| 3. 経済的支援 | 4. 地域住民の声かけ・関わり |
| 5. 非行の防止・就学支援 | 6. 民間協力者の活動促進 |
| 7. どのような支援が必要かわからない | 8. 特に必要な支援はない |
| 9. その他 (|) |

地域共生社会についておたずねします。

問 30 あなたは、これまでに、地域共生社会という言葉や意味を聞いたことがありますか。(○は 1 つだけ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 聞いたことがある | 2. 聞いたことはなかった |
|-------------|---------------|

* 地域共生社会：近年、少子高齢化・人口減少社会となり、地域・家庭・職場という人々の生活領域におけるつながり、支え合いの基盤が弱まっている中、高齢者や障がいを持つ方達、子育て世代などを地域で支え合う社会、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会が「地域共生社会」です。

問３１ 地域共生社会の実現に向けて、力を入れて取り組むべきものはどのような活動だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 見守り活動
2. 民生委員・児童委員活動の充実
3. 居場所づくり
4. 各種専門知識をもった人材育成及び配置
5. 施設等のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進 （すべての人が利用しやすいように計画・設計すること）
6. こころのバリアフリーの推進
7. 制度の狭間に位置する方への支援
8. 在宅医療と介護の連携
9. 就労支援
10. その他（ ）
11. わからない

問３２ あなた自身が行う取り組み活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 見守り活動
2. あいさつ・声かけ
3. 福祉における活動や研修等への参加
4. 福祉を必要とする方の目線で考える
5. 福祉に関する最新の情報を入手し伝達する
6. ちょっとしたお手伝い
7. その他（ ）
8. 特になし

問33 地域福祉の推進のためには、自助（一人ひとりの取組）、共助（周囲や地域のサポート）、公助（国や自治体などによる公的な支援）の連携が重要だと考えられます。あなたは地域福祉の推進のため、（1）自助、（2）共助、（3）公助において、どのようなことが重要だと考えますか。

（1）自助（あてはまるものすべてに○）

1. 地域のことに関心を持つ
2. 福祉に関する知識や技術を身につける
3. 地域での活動に積極的に参加する
4. 地域の人々と活発に交流する
5. できる範囲で地域に貢献する
6. その他（ ）

（2）共助（あてはまるものすべてに○）

1. 地域の人々の課題を共有する
2. 地域で活動できる組織体制を整備する
3. より多くの人に地域や福祉に関する情報を広める
4. 地域で活動する人材を育てる
5. 地域で活動する団体の間の連携を深める
6. 個人と市役所の間で双方の意向の調整を図る
7. その他（ ）

（3）公助（あてはまるものすべてに○）

1. 地域住民のニーズの把握を強化する
2. 地域で活動する団体や人材の育成、支援を図る
3. 公的な福祉サービスの量の充実を図る
4. 公的な福祉サービスの質の向上を図る
5. 多様なネットワークを構築して地域ぐるみで福祉を推進する仕組みをつくる
6. 地域福祉の取り組みに関する情報提供を強化する
7. 都市基盤（道路、公共施設などのまちづくり）の充実
8. その他（ ）

*1 自助：市民一人ひとりが、日常生活の中における様々な課題に取り組んでいくことです。

*2 共助（互助）：地域の人々が担い手となり、地域の様々な日常的な課題に取り組むことで、自らもその効果を受けるものです。自治会、地域で活動するNPO団体、ボランティア団体、各種サークルなどの諸団体による活動も含まれます。

*3 公助：個人や家族、地域では解決できない日常的な課題や施設などの公的なサービスの提供、地域福祉の環境を整えることなどを行います。

袖ヶ浦市の地域福祉の取組についておたずねします。

問３４ あなたは、これまでの袖ヶ浦市における福祉施策の取り組みについて、総合的にみるとどの程度満足されていますか。（○は１つだけ）

１．満足	２．やや満足	３．やや不満
４．不満	５．わからない	

問３５ 現行の「袖ヶ浦市地域福祉計画」における主要施策（以下のア～セ）に対する、①現状の満足度と②今後の地域福祉推進における重要度について、５段階の評価をおうかがいします。（各主要施策について、①と②にそれぞれ○は１つだけ）

	①満足度					②重要度				
	５ 満足	４ やや満足	３ どちらともいえない	２ やや不満	１ 不満	５ 重要	４ やや重要	３ どちらともいえない	２ あまり重要ではない	１ 重要ではない
現行計画における主な施策										
記入例 -----▶	５	④	３	２	１	５	４	③	２	１
ア．ボランティア活動の推進	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
イ．地域福祉の担い手の育成	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
ウ．福祉教育の充実	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
エ．市民同士のつながりづくり	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
オ．地域交流の場づくり	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
カ．情報の提供と共有のシステムづくり	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
キ．支え合いの仕組みづくり	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
ク．バリアフリー化の促進	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
ケ．移動手段の確保	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
コ．権利擁護の推進	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
サ．サービスの質の確保	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
シ．防犯体制の充実	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
ス．防災体制の強化	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１
セ．交通安全意識の高揚	５	４	３	２	１	５	４	３	２	１

地域福祉の推進についておたずねします。

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。

問36 地域福祉の推進において、中心的役割を担っている社会福祉協議会の活動を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが、内容は知らない | 4. まったく知らない |

問37 社会福祉協議会の主な事業・活動には、以下のようなものがあります。これらのうち、あなたが知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 広報紙「そでがうらし社協だより」・ホームページなどの地域福祉の啓発運動
2. 社会福祉協議会員（会費）の募集
3. 寄付文化の醸成（寄付金型自動販売機の設置・チャリティーゴルフ大会などのチャリティーイベントの開催）
4. 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金などの募金運動
5. 地域福祉フェスタの開催・福祉標語の募集・福祉功労者の表彰
6. 生活困窮世帯等への支援（生活福祉資金・フードバンク など）
7. 福祉団体・事業への助成
（聴覚障害者協会・子ども食堂・子どもスポーツ大会 など）
8. 車椅子や福祉カー（スロープ付き車両）の貸出
9. 地区社会福祉協議会活動（敬老会・ひとり暮らし高齢者への見守り訪問・サロン事業・ふれあいバスハイク・広報紙 など）
10. 福祉団体の事務局（民生委員児童委員協議会・シニアクラブ連合会・遺族会・ボランティア連絡協議会 など）
11. ボランティアセンターの運営（ボランティアのコーディネート・ボランティア養成講座の開催・移送サービス・声の広報・電話訪問【ほっとテレホン】・福祉施設訪問 など）
12. 災害ボランティアセンターの設置・運営
13. 生活支援体制整備事業（地域の支え合い・生活支援コーディネーターの設置 など）
14. 重層的支援体制整備事業*
（参加支援事業・生活困窮者支援等のための地域づくり事業）
15. 福祉教育の推進（車椅子体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験 など）
16. 心配ごと相談所の運営
17. 日常生活自立支援事業（すまいる）
18. 成年後見事業（法人後見事業・成年後見制度の利用促進・市民後見人の養成）
19. 知っている事業・活動はない |
|--|

*重層的支援体制整備事業:地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、①相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施するものです。

問38 社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 福祉に関する総合相談サービスの充実 |
| 2. 住民同士の助け合いのしくみづくりとその充実 |
| 3. 地域住民・児童・生徒を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実 |
| 4. 児童福祉サービス、子育て支援の充実 |
| 5. 介護保険や障がい福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実 |
| 6. 高齢者や障がいのある人などが、地域で生活するための自立支援 |
| 7. 福祉に関する情報提供の充実（インターネットなどを含む） |
| 8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施 |
| 9. 福祉関係団体への支援 |
| 10. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催 |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特に期待することはない |

問39 社会福祉協議会の活動の充実を図る上で、あなたが重要と思われることはどのようなことですか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 地域住民と交流を深め、地域の福祉ニーズを活動に反映させること |
| 2. 活動内容をもっと知ってもらうこと |
| 3. 職員の資質の向上を図ること |
| 4. 財政基盤を強化すること |
| 5. 袖ヶ浦市、県などの関係機関との連携を強化すること |
| 6. 民間企業等との連携を強化すること |
| 7. その他（ ） |
| 8. わからない・このままでよい |
| 9. 活動は縮小した方がよい |

民生委員・児童委員についておたずねします。

問40 あなたは民生委員・児童委員の活動を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが、内容は知らない | 4. まったく知らない |

問41 あなたの住んでいる地域の担当の民生委員・児童委員が、だれか知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問４２ 地域の支え合い、助け合い、地域福祉について、袖ヶ浦市へのご要望・ご意見等
がございましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

●月●日（●）までに同封の返送用封筒でご返送ください。

地域福祉に関する意識調査のお願い

貴事業所におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は市政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、袖ヶ浦市では地域福祉の充実と福祉サービスの利用促進に向けて、第4期地域福祉計画の、袖ヶ浦市社会福祉協議会では第5期地域福祉活動計画の策定準備を進めております。つきましては、福祉関係事業所の方々の地域福祉や支え合いに対するお考えやご意向を調査させていただき、その状況を踏まえ、よりよい地域福祉計画の策定を行います。お忙しいところ、大変恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、本調査にご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、調査票への記入内容について、お問い合わせや必要に応じて別途ヒアリング調査をさせていただくことがありますので、その際にはよろしくお願い申し上げます。

なお、調査票への記入内容等に関して、貴事業所のお名前が出たりご迷惑をおかけしたりすることは決してありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩
袖ヶ浦市社会福祉協議会
会長 小島 直子

《この調査票のご記入にあたって》

- ご記入は、黒または青のボールペンかサインペンをお使いください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある（○は1つだけ）（○はいくつでも）等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで（ ）内になるべく具体的にその内容も記入してください。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ

●月●日（●）までに、ポストに投函してください。

- 調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

袖ヶ浦市福祉部地域福祉課（地域福祉班）	電話 0438-62-3157
袖ヶ浦市社会福祉協議会	電話 0438-63-3888

※調査票の記入内容に関してお聞きすることがあるかもしれませんので、下記をご記入下さい。

貴事業所名	
ご記入者の役職	
ご記入者の氏名	
電話番号	
ヒアリング調査への参加意向	1. 参加しても良い 2. 参加するのは難しい

1. 貴事業所の概要について

問1 貴事業所の法人組織は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 株式会社
2. 有限会社
3. 社会福祉法人
4. 特定非営利活動法人（NPO法人）
5. その他（ ）

問2 貴事業所の活動分野は、どのようなものですか。(〇はいくつでも)

1. 高齢者福祉	2. 障がい者福祉
3. 児童福祉	4. その他（ ）

問3 貴事業所の活動年数をお答えください。(○は1つだけ)

1. 1 年未満	2. 1 ～ 3 年未満
3. 3 ～ 5 年未満	4. 5 ～ 1 0 年未満
5. 1 0 ～ 2 0 年未満	6. 2 0 年以上

問4 貴事業所の規模（従業員数・構成員数など）と従業員・構成員のおおよその平均年齢をお答えください。（○は1つだけ）

【規模（従業員数・構成員数など）】（○は１つだけ）

1. 5人未満	2. 5～10人未満	3. 10～20人未満
4. 20～30人未満	5. 30～40人未満	6. 40～50人未満
7. 50～100人未満	8. 100人以上	

【従業員・構成員のおおよその平均年齢】（○は１つだけ）

1. 40歳未満	2. 40～49歳ぐらい	3. 50～59歳ぐらい
4. 60～69歳ぐらい	5. 70～79歳ぐらい	6. 80歳以上
7. わからない		

問5 貴事業所の主な活動範囲又は利用者の範囲としては、どこまでの地区を対象にしていますか。(〇はいくつでも)

1. 昭和地区	2. 長浦地区	3. 根形地区
4. 平岡地区	5. 中川・富岡地区	
6. 近隣市（市原市、木更津市、君津市、富津市あたりまで）		
7. 千葉県内	8. その他の地域（	）

2. 事業所の運営について

問6 貴事業所の運営上の課題や困っていることは何ですか。(〇は5つまで)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. スタッフの確保 | 2. スタッフの質の向上（人材育成など） |
| 3. スタッフの待遇の改善 | 4. 運営資金の調達 |
| 5. 利用者の増加への対応 | 6. 利用者ニーズの多様化への対応 |
| 7. 制度等の改正への対応 | |
| 8. 施設・設備などへの投資（老朽化への対応など） | |
| 9. 事業内容や施設の認知度向上 | 10. 行政との連携が不十分 |
| 11. 市民への制度の内容などの周知が不十分 | |
| 12. 他の事業所・団体等と交流する機会の少なさ | |
| 13. その他（ | ） 14. 特に課題や困っていることはない |

上記で〇をつけた項目のうち、最も運営上の課題と感じていたり、困っていることはどれですか。その番号を1つだけ<記入欄>へご記入ください。

<記入欄>

※問7は、問6の最も運営上の課題と感じていたり、困っていることで回答した内容についてお答えください。

問7 運営上の課題や困っていることの原因として考えられることは何ですか。また、その解決策としてどのような方法が考えられますか。具体的にご記入ください。

原因として 考えられること	
その解決策として 考えられる方法	

※全ての方におたずねします。

問8 貴事業所では次のような支援を必要としていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 補助金など資金面での支援 | 2. 人材募集や研修制度など人材面での支援 |
| 3. 活動場所の確保への支援 | 4. 助言など専門知識の支援 |
| 5. 他機関との交流会など連携についての支援 | |
| 6. 広報活動、ニーズの把握など情報についての支援 | |
| 7. 労務管理、社会保険の手続き等の支援 | |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 特に必要な支援はない | |

問9 貴事業所では職員等が地域のボランティア活動に参加しやすくなる取組（ボランティア休暇など）を実施していますか。（○は1つだけ）

1. 実施している

2. 実施していない

※問10は、問9で「1. 実施している」を回答した方がお答えください。

問10 その取組はどういったものですか。具体的にご記入ください。

※全ての方におたずねします。

【新規】問11 今後、貴事業所においてICTを導入もしくは拡充していく予定はありますか。（○は1つだけ）

1. 導入もしくは拡充していく予定がある

2. 現状のICTの活用を継続する

3. 導入していく予定はない

【新規】問12 ICTを導入もしくは拡充するうえで課題となることは何ですか。（○はいくつでも）

1. 事業所の通信環境が整っていない

2. 利用者の通信環境が整っていない

3. 事業所の使用機器が整っていない

4. 利用者の使用機器が整っていない

5. 操作方法がわからない

6. 利用者への操作方法の説明が難しい

7. セキュリティに不安がある

8. その他（

9. 必要性を感じていない

3. 他機関との連携について

問13 貴事業所では、活動を行ううえで、他の団体や機関と連携の必要性を感じますか。（○は1つだけ）

1. 感じる

2. ときどき感じる

3. あまり感じない

4. 感じない

※問14は、問13で「1. 感じる」、「2. ときどき感じる」と回答した方がお答えください。

問14 連携の必要性を感じるのはどのようなときですか。（○はいくつでも）

1. イベントなどで人手が足りないとき

2. 課題を解決するためのスキルや情報が不足しているとき

3. 相談者が複合的な課題を抱えているとき

4. 相談者に対して専門的な支援が必要なとき

5. その他（

※全ての方におたずねします。

問15 貴事業所が活動するうえで、現在、連携・協働関係にある機関等はどこですか。また、今後の活動において、連携・協働関係を築きたいと考える機関等はどこですか。

(1)【現在】(○はいくつでも)

1. ボランティア団体・NPO	2. 民生委員児童委員
3. 地区の自治会	4. 学校・幼稚園・保育園・認定こども園
5. 医療機関	6. 福祉関連施設
7. 社会福祉協議会	8. 福祉関連団体
9. 行政機関	10. 弁護士・司法書士・社会保険労務士など
11. 司法機関	12. 民間企業
13. 地域の商店会・商店街	14. その他 ()
15. 特になし	

※(1)で「1.」～「12.」を回答した方がお答えください。

現在行っている具体的な連携・協働関係の内容は、どのようなものですか。

現在行っている 具体的な連携・協働関係 の内容	
-------------------------------	--

(2)【今後】(○はいくつでも)

1. ボランティア団体・NPO	2. 民生委員児童委員
3. 地区の自治会	4. 学校・幼稚園・保育園・認定こども園
5. 医療機関	6. 福祉関連施設
7. 社会福祉協議会	8. 福祉関連団体
9. 行政機関	10. 弁護士・司法書士・社会保険労務士など
11. 司法機関	12. 民間企業
13. 地域の商店会・商店街	14. その他 ()
15. 特になし	

※(2)で「1.」～「12.」を回答した方がお答えください。

今後行いたい具体的な連携・協働関係の内容は、どのようなものですか。

今後行いたい 具体的な連携・協働関係 の内容	
------------------------------	--

※問16は、問15の【現在】で「1. ボランティア団体・NPO」を回答した方がお答えください。

問16 貴事業所はボランティア団体との連携や支援の一環として、どのようなことを実施していますか（協働での実施なども含めてご回答ください）。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. ボランティアの受け入れ | 2. ボランティア体験の受け入れ |
| 3. ボランティア研修会の実施 | 4. ボランティア養成講座の実施 |
| 5. ボランティア団体の活動周知への協力 | |
| 6. ボランティア団体・活動へ場所の提供 | |
| 7. その他（ | ） |

※問17は、問16で「1. ボランティアの受け入れ」を回答した方がお答えください。

問17 貴事業所でボランティアを受け入れて良いと感じたことは何ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. ボランティアの受け入れ | 2. ボランティア体験の受け入れ |
| 3. ボランティア研修会の実施 | 4. ボランティア養成講座の実施 |
| 5. ボランティア団体の活動周知への協力 | |
| 6. ボランティア団体・活動へ場所の提供 | |
| 7. その他（ | ） |

※全ての方におたずねします。

問18 他機関等との連携・協働関係を築く際、課題となることは、どういったことですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 接点・交流の機会がないこと | 2. 活動への理解が得られないこと |
| 3. 財政的な問題があること | 4. 制度的な問題があること |
| 5. その他（ | 6. 特に課題はない |

※問19は、問18で「1. 」～「5. 」を回答した方がお答えください。

問19 その課題はどういった内容のものですか。具体的にご記入ください。

--

4. 地域福祉について

※全ての方におたずねします。

問20 貴事業所では施設やイベント等を地域住民に開放したり、事業所として地域行事へ参加するなど、地域や地域住民との交流を行っていますか。（〇は1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 積極的に行っている | 2. ある程度行っている |
| 3. あまり行っていない | 4. 行っていない |

※問21は、問20で「1. 積極的に行っている」、「2. ある程度行っている」と回答した方がお答えください。

問21 貴事業所は地域や地域住民とどういった交流を行っていますか。具体的にご記入ください。

対象（者）・目的	
内容	
その際の課題・問題点など	

※問15と内容が重複する場合も、お手数ですがご記入をお願いいたします。

※全ての方におたずねします。

問22 貴事業所を利用している地域の人から聞く、日常生活での困りごとや地域の問題・課題などがありますか。また、それに対して貴事業所として取り組めることはありますか。ありましたら具体的にご記入ください。

地域の方の 日常生活での困りごとや 地域の問題・課題	
内容	
その際の課題・問題点など	

問23 貴事業所では、今後、地域や地域住民との交流を行っていきたいとお考えですか。
(○は1つだけ)

1. 積極的に行いたい	2. ある程度行いたい
3. あまり行いたくない	4. 行いたくない

問24 お互いが支え合えるまちづくりを進めるにあたっては、地域の様々な課題に対して市民と連携・協働していくことが重要です。
貴事業所が市民と連携・協働する際に必要だと思うことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

【新規】問25 権利擁護とは、高齢者をはじめ支援が必要な人たちの権利や尊厳を守り、本人らしい生活を継続できるよう、必要に応じた支援を行います。

本人の意思を尊重した支援を継続する地域の仕組みは「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」と言い、この地域連携ネットワークの中核を担う「中核機関」は、本市では令和4年度に整備され、市及び社会福祉協議会によって運営されておりますが、「中核機関」を知っていますか。

1. 知っている

2. 知らない

【新規】問26 袖ヶ浦市では、複合化・複雑化する市民からの相談に対し、分野ごとまたは福祉の既存の制度を超えた対応が行えるように、「袖ヶ浦市重層的支援体制整備事業」に取り組んでいることを知っていますか。また、この事業について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

1. 知っている

2. 知らない

事業について
の意見や要望

問27 袖ヶ浦市において、今後、地域での福祉活動（ボランティア活動や助け合い活動等を含む）をさらに活性化させるためには、どのような取組が必要とお考えですか。
（〇はいくつでも）

1. 福祉関連事業所・団体間の交流機会の充実（イベントなど）
2. 福祉関連事業所・団体の情報発信と交流の場となるホームページの作成
3. 福祉関連事業所・団体の市民に向けた情報発信力の強化
4. 分野を越えた総合的なボランティアセンターの設置と活動の拡充
5. 地区ごとの福祉活動（交流）拠点の整備
6. NPO支援センター等の設置と活動の強化
7. 福祉関連事業所・団体の活動資金確保へ向けた情報提供や支援体制の充実
8. 学校などにおける福祉教育の充実
9. 成人向けの福祉教育の充実
10. 個人がいつでも参加できる仕組みづくり
11. その他（ ）
12. 特にない

問28 袖ヶ浦市で策定する「地域福祉計画」、袖ヶ浦市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」に対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

●月●日（●）までに同封の返送用封筒でご返送ください。

地域福祉に関する意識調査のお願い

貴団体等におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は市政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、袖ヶ浦市では地域福祉の充実と福祉サービスの利用促進に向けて、第3期地域福祉計画の、袖ヶ浦市社会福祉協議会では第4期地域福祉活動計画の策定準備を進めております。つきましては、福祉関係団体や民生委員児童委員の方等の地域福祉や支え合いに対するお考えやご意向を調査させていただき、その状況を踏まえ、よりよい地域福祉計画の策定を行います。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、本調査にご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、調査票への記入内容について、お問い合わせや必要に応じて別途ヒアリング調査をさせていただくことがありますので、その際にはよろしくお願い申し上げます。

なお、調査票への記入内容等に関して、貴団体等のお名前が出たりご迷惑をおかけしたりすることは決してありませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月

袖ヶ浦市長 粕谷 智浩
袖ヶ浦市社会福祉協議会
会長 小島 直子

《この調査票のご記入にあたって》

- ご記入は、黒または青のボールペンかサインペンをお使いください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある（○は1つだけ）（○はいくつでも）等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで（ ）内になるべく具体的にその内容も記入してください。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ

●月●日（●）までに、ポストに投函してください。

- 調査についてのご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

袖ヶ浦市福祉部地域福祉課（地域福祉班）	電話 0438-62-3157
袖ヶ浦市社会福祉協議会	電話 0438-63-3888

【構成員のおおよその平均年齢】（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 40歳未満 | 2. 40～49歳ぐらい | 3. 50～59歳ぐらい |
| 4. 60～69歳ぐらい | 5. 70～79歳ぐらい | 6. 80歳以上 |
| 7. わからない | | |

問5 貴団体の主な活動範囲としては、どこまでの地区を対象にしていますか。

（○はいくつでも）

- | | | |
|-------------------------------|------------|---------|
| 1. 昭和地区 | 2. 長浦地区 | 3. 根形地区 |
| 4. 平岡地区 | 5. 中川・富岡地区 | |
| 6. 近隣市（市原市、木更津市、君津市、富津市あたりまで） | | |
| 7. 千葉県内 | 8. その他の地域（ | ） |

2. 団体等の活動について

問6 貴団体の活動を行う中で、今困っていることは何ですか。（○は5つまで）

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. スタッフ（担い手）が高齢化している | |
| 2. 新たなスタッフ（担い手）が確保できない | |
| 3. 活動のリーダー的人材が不足している | |
| 4. スタッフ（担い手）の意識が乏しい | |
| 5. スタッフ（担い手）の世代や性別に偏りがある | 6. 活動資金が不足している |
| 7. 個人の持ち出しが多い | 8. 活動拠点が確保できない |
| 9. 活動がマンネリ化してきている | 10. 活動に必要な情報が得られない |
| 11. 活動の依頼に対応しきれない | |
| 12. 専門知識や技術などの情報や研修の機会が少ない | |
| 13. 活動が市民に認知されていない | 14. 地域住民と馴染めていない |
| 15. 他の事業所・団体等と交流する機会がない | |
| 16. 行政との連携がうまくとれていない | |
| 17. その他（ | 18. 特に困っていることはない |

上記で○をつけた項目のうち、最も運営上の課題と感じていたり、困っていることはどれですか。その番号を1つだけ＜記入欄＞へご記入ください。

＜記入欄＞

--

※問7は、問6の最も困っていることで回答した内容についてお答えください。

問7 活動を行う中で困っていることの原因として考えられることは何ですか。また、その解決策としてどのような方法が考えられますか。具体的にご記入ください。

原因として 考えられること	
その解決策として 考えられる方法	

※全ての方におたずねします。

問8 貴団体では次のような支援を必要としていますか。(○はいくつでも)

1. 補助金など資金面での支援	2. 人材募集や研修制度など人材面での支援
3. 活動場所の確保への支援	4. 助言など専門知識の支援
5. 他機関との交流会など連携についての支援	
6. 広報活動、ニーズの把握など情報についての支援	
7. その他 (	)
8. 特に必要な支援はない	

問9 貴団体は、今後どのように活動していく予定ですか。(○は1つだけ)

1. 新たな活動を取り入れるなどして活動を活性化していきたい
2. 今の活動を維持していきたい、維持することで精一杯
3. 活動を縮小していきたい
4. 活動をやめたい、やめざるを得ない

問10 その理由は何ですか。具体的にご記入ください。

--

3. 他機関との連携について

問11 貴団体では、活動を行ううえで、他の団体や機関と連携の必要性を感じますか。
(○は1つだけ)

1. 感じる	2. ときどき感じる
3. あまり感じない	4. 感じない

※問12は、問11で「1. 感じる」、「2. ときどき感じる」と回答した方がお答えください。

問12 連携の必要性を感じるのはどのようなときですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. イベントなどで人手が足りないとき
2. 課題を解決するためのスキルや情報が不足しているとき
3. 相談者が複合的な課題を抱えているとき
4. 相談者に対して専門的な支援が必要なとき
5. その他 () |
|--|

※全ての方におたずねします。

問13 貴団体が活動するうえで、現在、連携・協働関係にある機関等はどこですか。また、今後の活動において、連携・協働関係を築きたいと考える機関等はどこですか。

(1) 【現在】 (〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. ボランティア団体・NPO
3. 地区の自治会
5. 医療機関
7. 社会福祉協議会
9. 行政機関
11. 司法機関
13. 地域の商店会・商店街
15. 特にない | 2. 民生委員児童委員
4. 学校・幼稚園・保育園・認定こども園
6. 福祉関連施設
8. 福祉関連団体
10. 弁護士・司法書士・社会保険労務士など
12. 民間企業
14. その他 () |
|--|--|

※(1)で「1.」～「13.」を回答した方がお答えください。

現在行っている具体的な連携・協働関係の内容は、どのようなものですか。

現在行っている 具体的な連携・協働関係 の内容	
-------------------------------	--

(2) 【今後】 (〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1. ボランティア団体・NPO
3. 地区の自治会
5. 医療機関
7. 社会福祉協議会
9. 行政機関
11. 司法機関
13. 地域の商店会・商店街
15. 特にない | 2. 民生委員児童委員
4. 学校・幼稚園・保育園・認定こども園
6. 福祉関連施設
8. 福祉関連団体
10. 弁護士・司法書士・社会保険労務士など
12. 民間企業
14. その他 () |
|--|--|

※(2)で「1.」～「13.」を回答した方がお答えください。

今後行いたい具体的な連携・協働関係の内容は、どのようなものですか。

今後行いたい 具体的な連携・協働関係 の内容	
------------------------------	--

※全ての方におたずねします。

問14 他機関等との連携・協働関係を築く際、課題となることは、こういったことですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 接点・交流の機会がないこと | 2. 活動への理解が得られないこと |
| 3. 財政的な問題があること | 4. 制度的な問題があること |
| 5. その他 () | 6. 特に課題はない |

※問15は、問14で「1.」～「5.」を回答した方がお答えください。

問15 その課題はこういった内容のものです。具体的にご記入ください。

--

4. 地域福祉について

※全ての方におたずねします。

問16 貴団体では、団体として地域行事へ参加するなど、地域や地域住民との交流を行っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 積極的に行っている | 2. ある程度行っている |
| 3. あまり行っていない | 4. 行っていない |

※問17は、問16で「1. 積極的に行っている」、「2. ある程度行っている」と回答した方がお答えください。

問17 貴団体は地域や地域住民とこういった交流を行っていますか。具体的にご記入ください。

対象(者)・目的	
内容	
その際の課題・問題点など	

※問13と内容が重複する場合も、お手数ですがご記入をお願いいたします。

※全ての方におたずねします。

問１８ 貴団体を利用している地域の人から聞く、日常生活での困りごとや地域の問題・課題などがありますか。また、それに対して貴団体として取り組めることはありますか。ありましたら具体的にご記入ください。

地域の方の 日常生活での困りごとや 地域の問題・課題	
貴団体として 取り組めること	

問１９ 貴団体では、今後、地域や地域住民との交流を行っていきたいとお考えですか。
(○は１つだけ)

1. 積極的に行いたい	2. ある程度行いたい
3. あまり行いたくない	4. 行いたくない

問２０ お互いが支え合えるまちづくりを進めるにあたっては、地域の様々な課題に対して市民と連携・協働していくことが重要です。
貴団体が市民と連携・協働する際に必要だと思うことは何ですか。具体的にご記入ください。

--

【新規】問２１ 袖ヶ浦市では、複合化・複雑化した地域の課題が増加する中で、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民・地域団体・行政などのさまざまな主体が地域の課題を「我が事」として捉え、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを大切に、地域をともに創っていく「地域共生社会」を目指しています。この地域共生社会の実現に向けて、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

--

